

解体工事特記仕様書

- I. 工事名 津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事
- II. 工事概要
- 1 工事場所 津市 新家町 地内
- 2 工事内容 棟名称 給食棟、渡り廊下棟  
構造 給食棟（鉄筋コンクリート造）、渡り廊下棟（鉄骨造）  
建築面積 142.20㎡  
延べ面積 142.20㎡  
工事項目 解体工事
- III. 解体工事仕様
- 1 共通仕様  
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、最新版）による。
- 2 特記仕様
- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
  - 特記事項は、○の付いたものを適用する。
  - 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																		
1 一般 共通 事項	① 適用基準  ② 発生材の処理等 (1.3.10) (4.4.1) (5.4.1)	<p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（平成31年版）</li> <li>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（平成31年版）</li> <li>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版）</li> <li>○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（平成28年版）</li> <li>○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律</li> <li>○その他関係法令</li> </ul> <p>○ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築設備・内装材等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根ふき材</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>外装材・上部構造部分</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他 (7777舗装等)</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・手作業 ○手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>引き渡しを要するもの ○ 無 ・ 金属類 ・ PCB含有物 ・ ( ) 特別管理産業廃棄物 ・ 有( ) 処理方法 ( ) 木材の縮減 ・ 実施する (最も近い再資源化施設までの距離が50Kmを超える場合に限り) 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・ ( ) 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ・ 金属類 ・ 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ・ 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ・ 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用	その他 (7777舗装等)	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
工程	作業の有無	分別解体等の方法																		
建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																		
屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																		
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																		
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																		
その他 (7777舗装等)	○ 有 ・ 無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用																		

- ③ 建設副産物情報交換システムの利用
- ④ 三重県 産業廃棄物税
- ⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)
- 6 電気保安技術者 (1.3.3)
- ⑦ 技能士 (1.5.2)
- ⑧ 疑義
- ⑨ 施工条件 (1.3.5)
- ⑩ 官公庁手続
- ⑪ 危険災害の防止
- ⑫ 工事進入路
- ⑬ 工事写真
- ⑭ 完成写真
- ⑮ 事故報告
- ⑯ 提出書類
- ⑰ 産業廃棄物
- 引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。
- 受注者は受注時において延べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACIGが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
- 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。
- なお、この期間を超えて請求することはできない。
- また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
- 適用する（請負金額が500万円以上の場合）  
受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督員に提出すること。
- ・ 配置する
- 職種別に可能なものについては積極的に活用すること
- 設計図面に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。
- ・ 監督員と協議し決定する。 ○ 新営特記による  
施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり  
施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時  
部位別の施工順序 ・ 指定なし ・ ( )  
工事車両の駐車場 ・ 指定なし ・ 図示（図面番号： ）  
資機材置場 ・ 指定なし ・ 図示（図面番号： ）
- 工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。
- 1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。  
なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。
- 2) 重機搬出時、発生材搬出時、仮設材搬出時には、交通整理のための誘導員を配置すること。
- 重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。
- 1) 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。  
2) 工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。
- 写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なしで撮影すること。
- 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。  
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
- 施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、その他市監督員の指示するものとする。
- 施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他市監督員の指示するものを添付すること。
- 施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。

- ⑱ 不正軽油の使用の禁止
- ⑲ 地下埋設物の確認
- 1) 一般事項  
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
- 2) 調査の協力  
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
- 3) 是正措置  
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は、下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。
- 中間検査又は完成検査において、地下埋設物の確認を受けること。  
確認時期は、監督員と協議し決定する。

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. D-01 **
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計			解体特記仕様書（1）	
			登録番号（1）第2118号	内田 貴之					

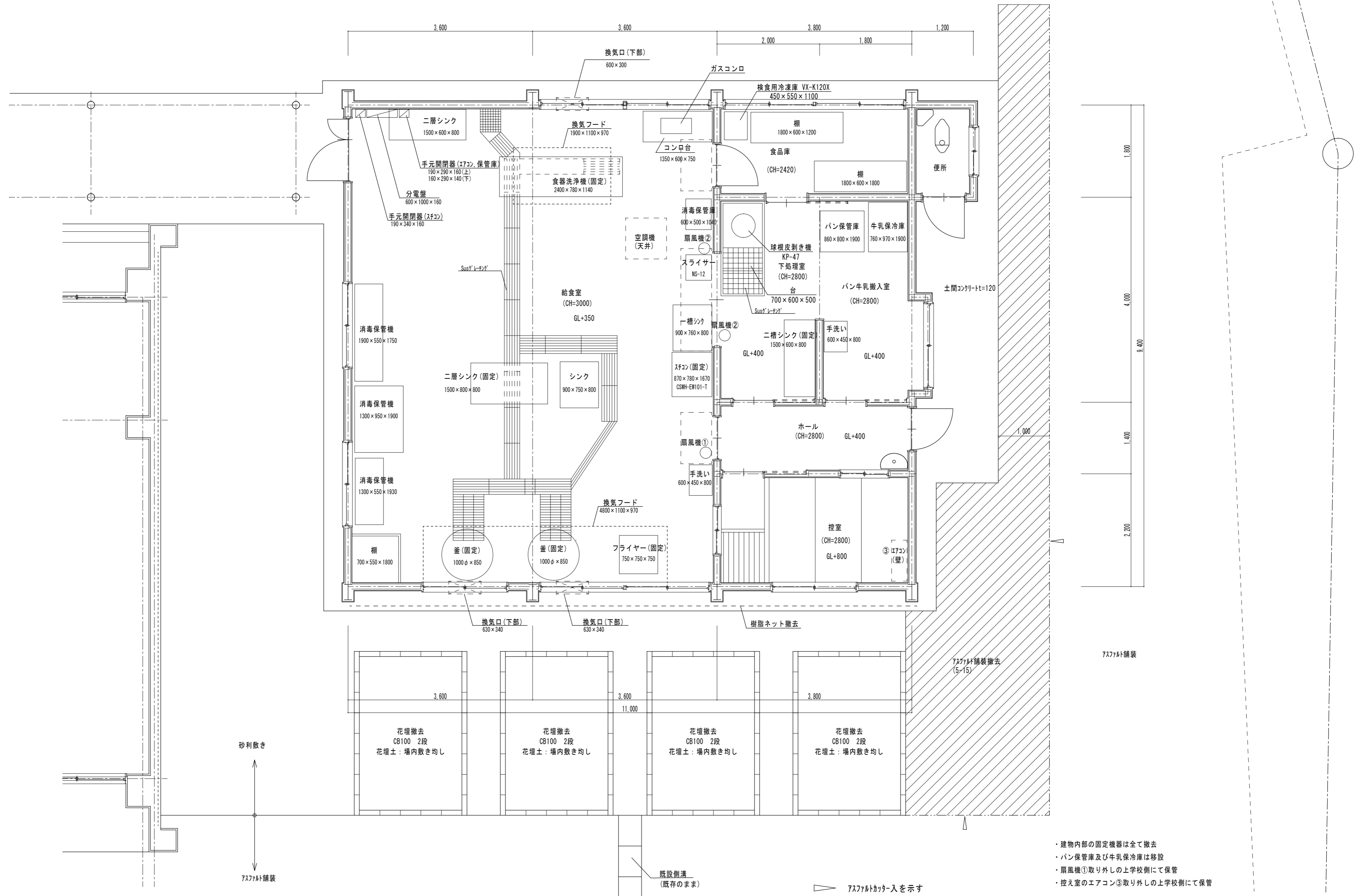


設計概要			
工事名称	津市立桃園小学校普通教室棟増築その他工事	敷地面積	13,349.95 m <sup>2</sup>
建築場所	三重県津市新家町地内	建築面積	給食棟 106.40m <sup>2</sup> 渡り廊下 35.80m <sup>2</sup>
用途地域	市街化調整区域 60/200	延床面積	給食棟 106.40m <sup>2</sup> 渡り廊下 35.80m <sup>2</sup>
防火指定	指定なし 第22条指定地域		
主要用途	給食棟		
構造	鉄骨造、平屋建	工事範囲	解体工事（建築工事、電気設備工事、機械設備工事）

外部仕上表			
屋根	ルーフ勾配=0.8 H=80（タイトフレーム）※リフレク断熱材	基礎	立上り：モルタル刷毛引仕上
外壁	防火サイディング t=11（エボス模様無塗装タイプ）7カリリシ吹付	犬走	モルタル金鍍押え（側溝含む）
軒鼻	同上 吹付タイル	腰	モルタル刷毛引仕上 7カリリシ吹付（粒子なし）
軒裏	大平板 t=4 AVP目スカシ	柱型	同上

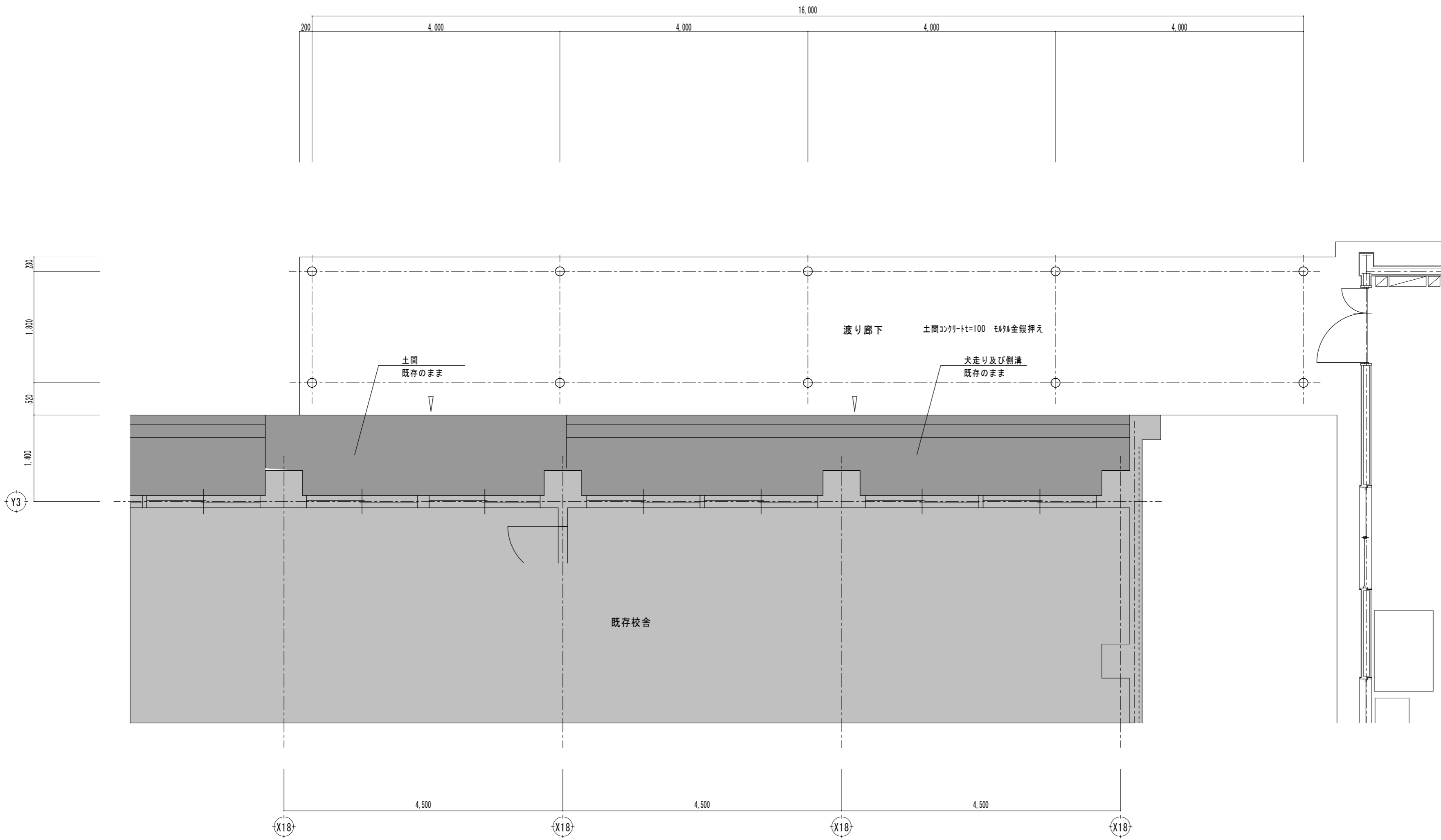
内部仕上表														
階	室名	床		巾木		腰		壁		天井			廻縁	備考
		下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	天井高		
1階	給食室	土間コン t100	モルタル金鍍押え					モルタル金鍍押えVP塗	★ケイカル板 t=6AVP	LGS	★大平板 t=4VP目スカシ	(CH=3000)	塩ビ製	下足箱（別途） グラインド 15
	食品庫	土間コン t100	モルタル金鍍押え					モルタル金鍍押えVP塗	★ケイカル板 t=6AVP	LGS	★大平板 t=4VP目スカシ	(CH=2420)	塩ビ製	グラインド 15
	下処理室	土間コン t100	モルタル金鍍押え					モルタル金鍍押えVP塗	★ケイカル板 t=6AVP	LGS	★大平板 t=4VP目スカシ	(CH=2800)	塩ビ製	グラインド 15
	パン牛乳搬入室	土間コン t100	モルタル金鍍押え					モルタル金鍍押えVP塗	★ケイカル板 t=6AVP	LGS	★大平板 t=4VP目スカシ	(CH=2800)	塩ビ製	ステンレス上り框、下足箱（別途） グラインド 15
	ホール	土間コン t100	モルタル金鍍押え					モルタル金鍍押えVP塗	★ケイカル板 t=6AVP	LGS	★大平板 t=4VP目スカシ	(CH=2800)	塩ビ製	グラインド 15
	控室	土間コン t100	木床組、タタミ、縁甲板貼、モルタル金鍍押え	タタミ寄せ				PB t=9シ ユラケシン吹付	PB t=9シ ユラケシン吹付	LGS	杉証合板目スカシ	(CH=2800)	塩ビ製	配管パック：ステンレス t=1.2 SUS304 D=120
	便所	土間コン t100	25角モザイクタイル貼					75角タイル貼	★ケイカル板 t=6AVP	LGS	★大平板 t=4VP目スカシ		塩ビ製	流し台、ガス台、吊り戸棚 縦型グラインド
	渡り廊下	土間コン t100	モルタル金鍍押え 目地切り仕上											

特記		月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	No. D-03		
				三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100			概要・仕上表	給食棟解体
				一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計						
				登録番号(1)第2118号	内田 貴之					原図:A2		



- ・建物内部の固定機器は全て撤去
- ・パン保管庫及び牛乳保管庫は移設
- ・扇風機①取り外しの上学校側にて保管
- ・控室のエアコン③取り外しの上学校側にて保管

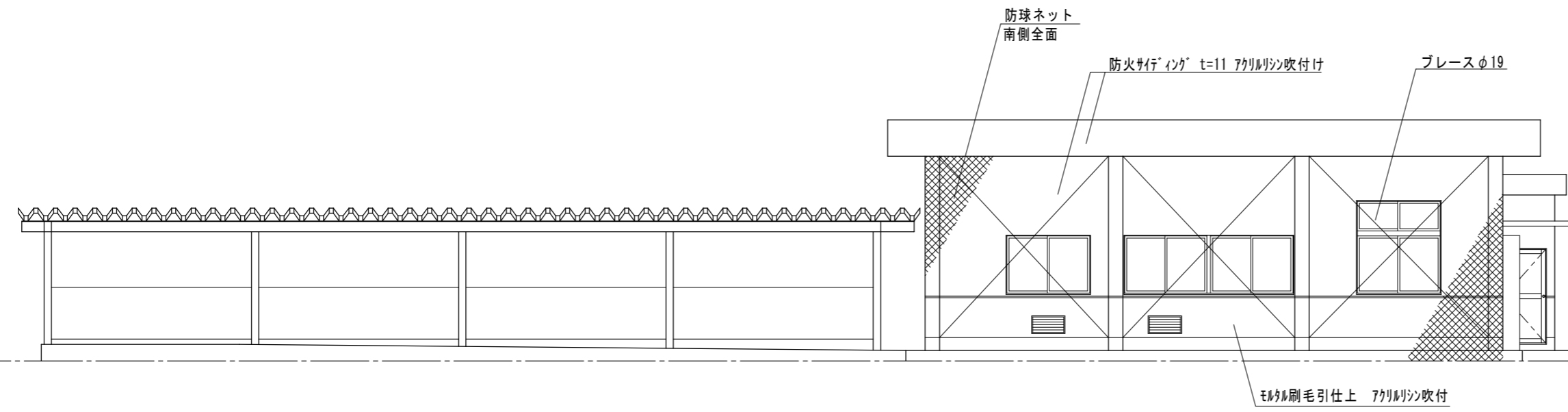
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. D-04 **
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				



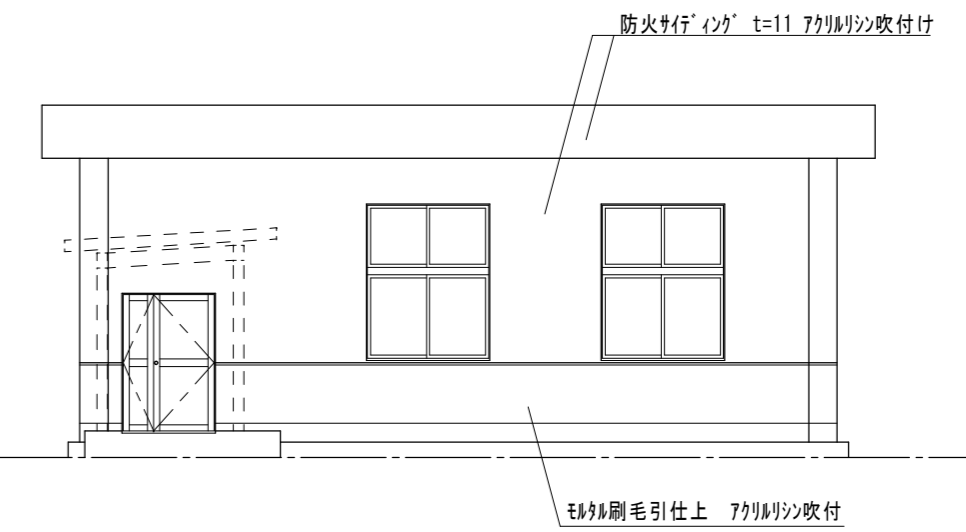
1階 平面図 1/50

カッター入を示す

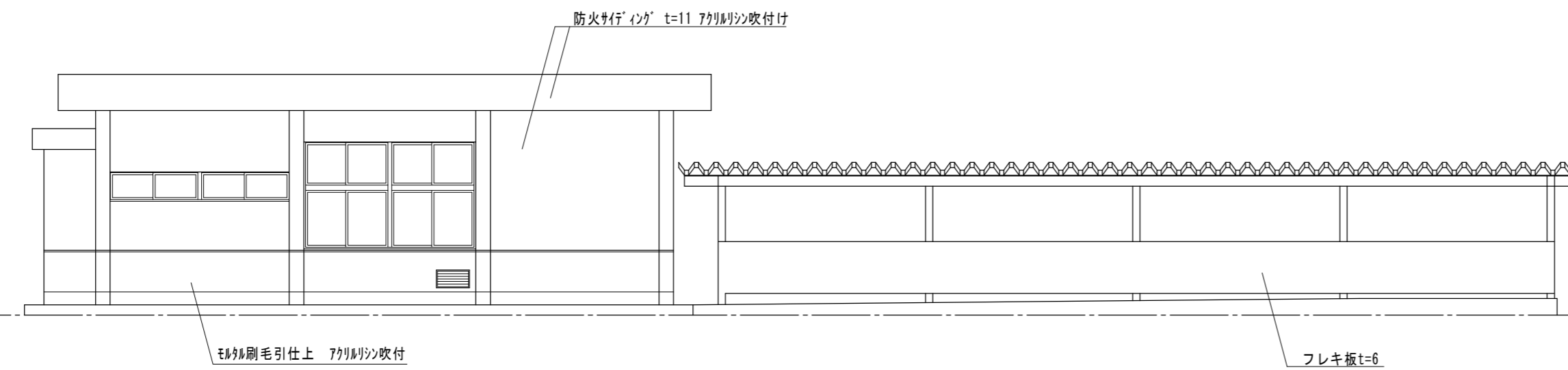
特記	月 日		U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. D-05 **
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計			1階 平面図(2)	(参考) 給食棟解体
			登録番号(1) 第2118号	内田 貴之					原図:A2



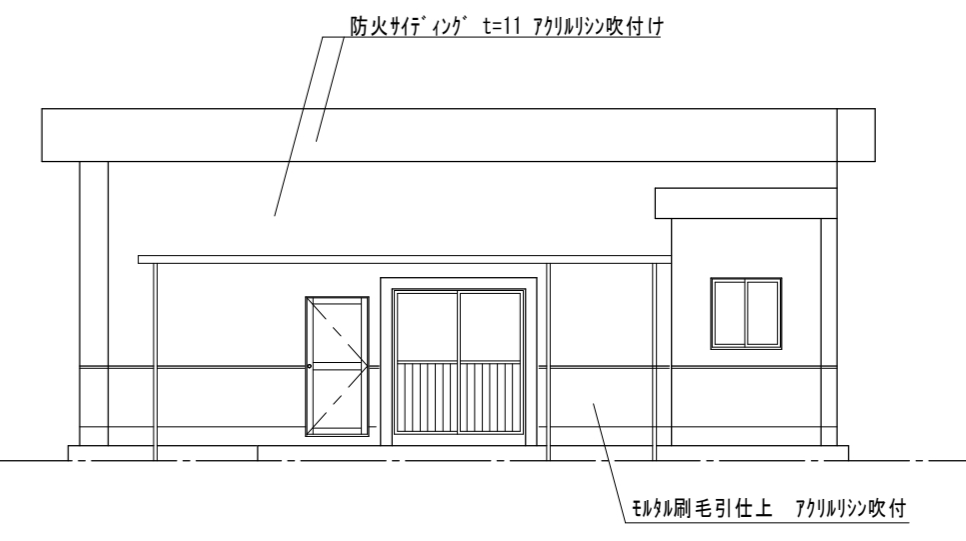
南立面図 1/100



西立面図 1/100



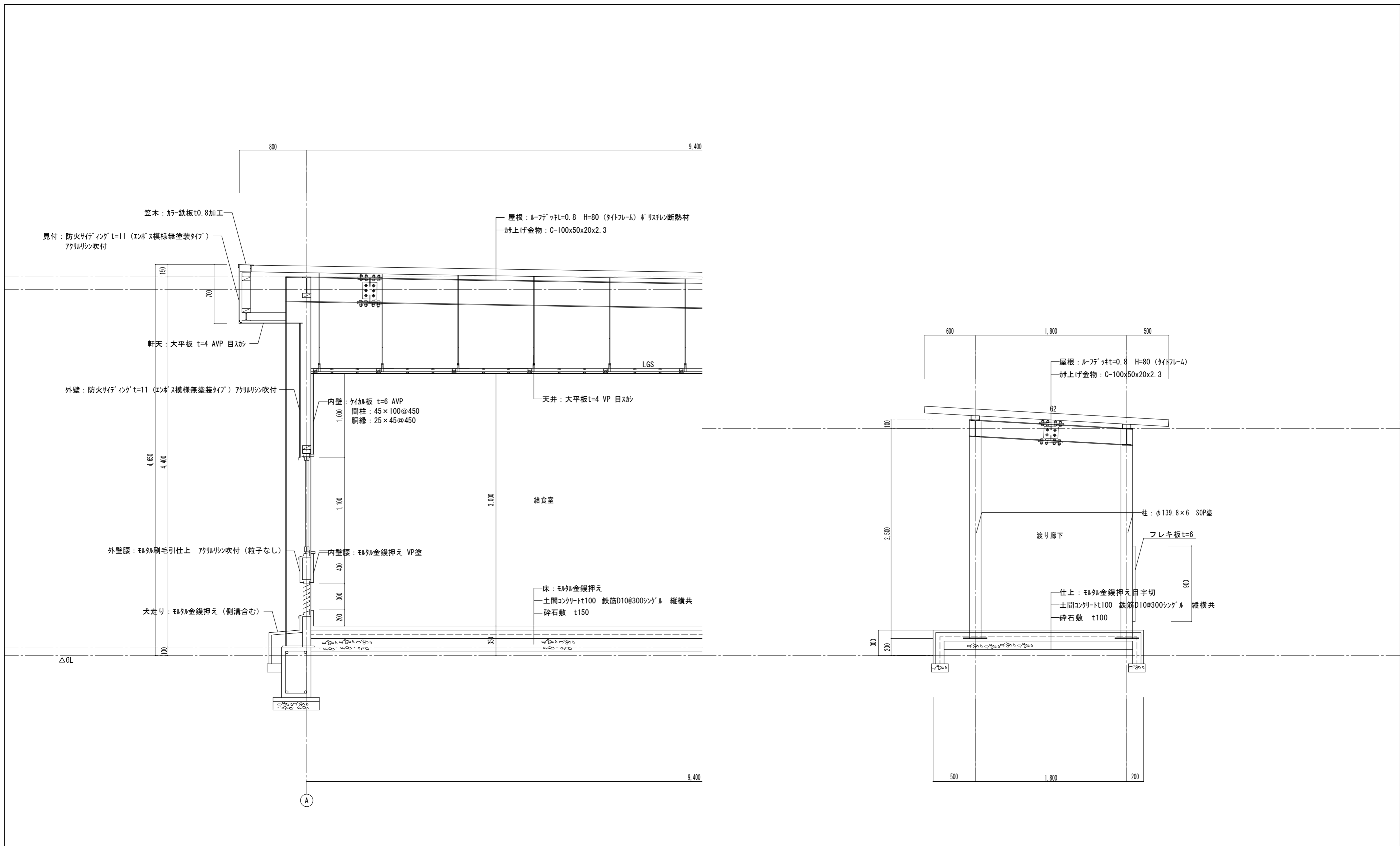
北立面図 1/100



東立面図 1/100

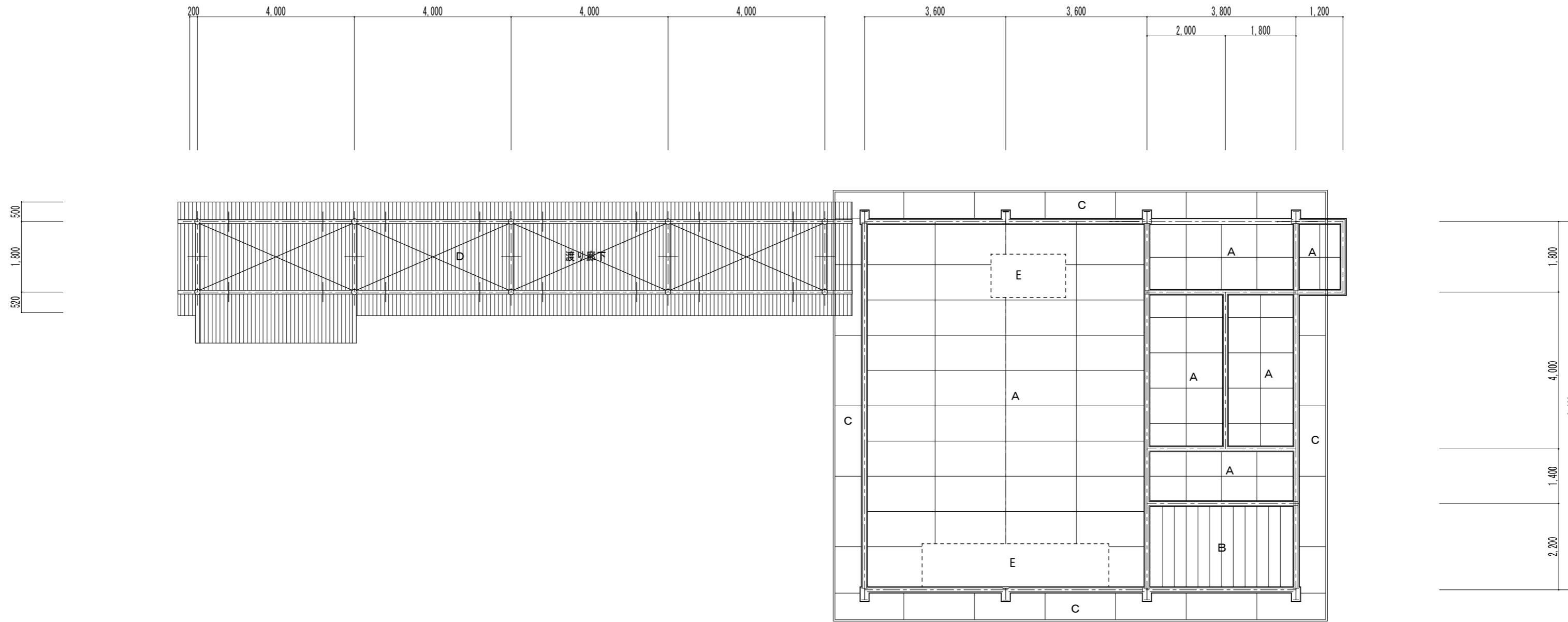
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N.O. D-06 ** 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

立面図 (参考図) 給食棟解体



断面詳細図 1/30

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N.O. D-07 ** 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/30		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				短計図 (参考図) 給食棟解体	

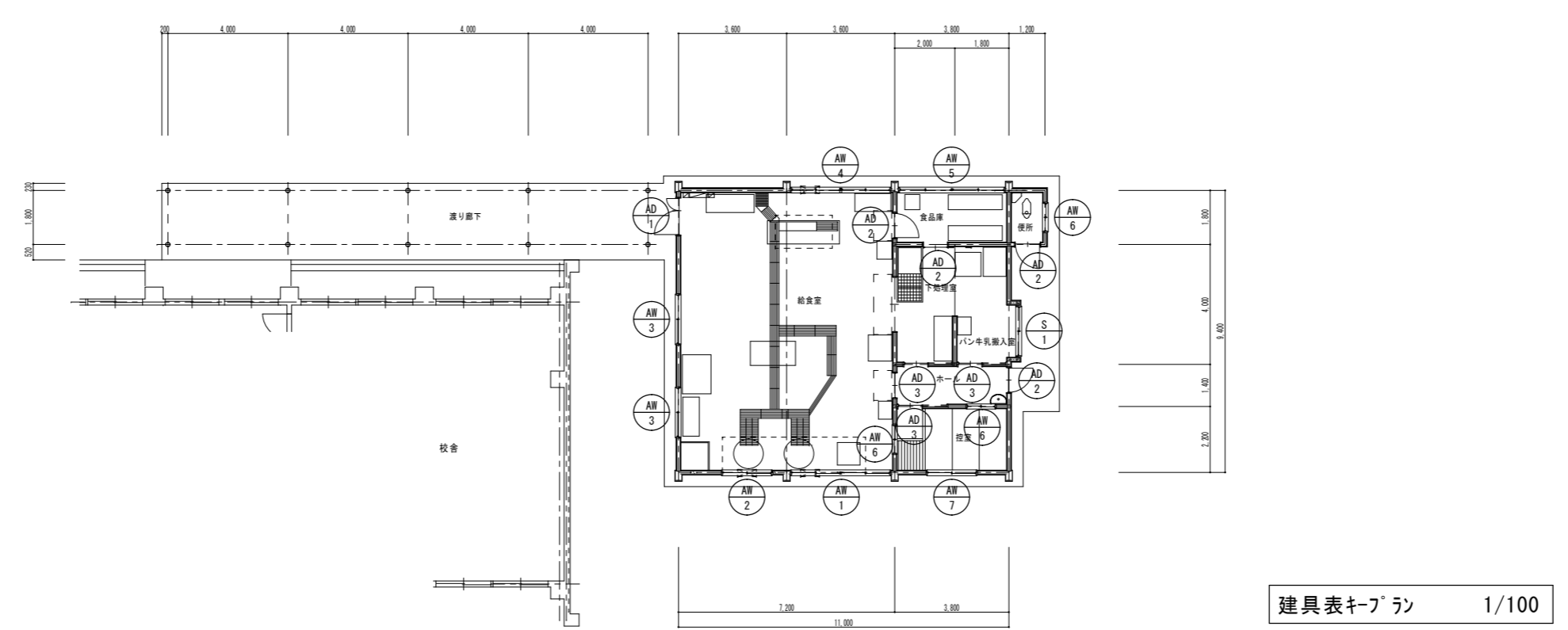


天井仕上表	
A	大平板t=4VP目スリ
B	杉証合板目スリ
C	大平板t=4 AVP目スリ
D	ルーフィングt=0.8 H=80 (タイフレーム)
E	SUS換気フード

天井伏図 1/100

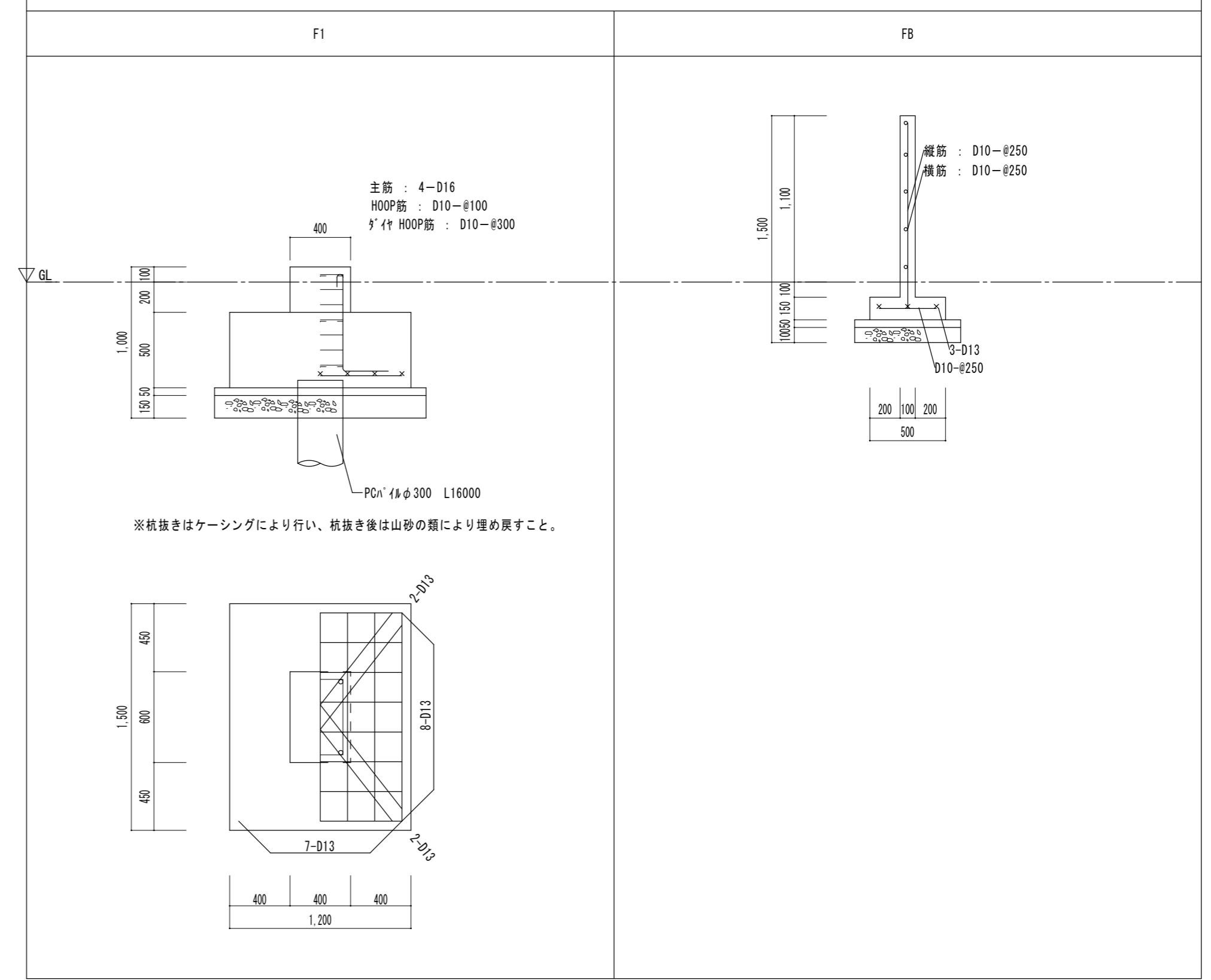


記号・数量	AW1 × 1	AW2 × 1	AW3 × 2	AW4 × 1	AW5 × 1	AW6 × 3
形状						
場所	給食室	給食室	給食室	給食室	食品庫	控室、便所
形式	アルミ2連引違いがらす戸	アルミ2連引違いがらす戸	アルミ2連引違いがらす戸	アルミ2連2段引違いがらす戸	アルミ2連引違いがらす戸	アルミ引違いがらす戸
見込	70	70	70	70	70	70
材質・仕上	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー
硝子	透明がらすt3	透明がらすt3	網入透明がらすt6.8	透明がらすt3	透明がらすt3	透明がらすt3、型がらすt4 (便所のみ)
金物	網戸付 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式	網戸付 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式	網戸付 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式	網戸付 換気バル 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式	網戸付 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式	網戸付 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式
備考						
記号・数量	AW7 × 1	AD1 × 1	AD2 × 4	AD3 × 3	S1 × 1	
形状						
場所	控室	給食室	便所、食品庫、下処理室、ホール、給食室	控室、下処理室、パン牛乳搬入室	パン牛乳搬入室	
形式	アルミ2段引違いがらす戸	アルミ親子両開きバル	アルミ片開きバル	アルミ片引きバル	軽量スプリングシャッター	
見込	70	70	70	70		
材質・仕上	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	スチール、カラー鋼板t0.8	
硝子	透明がらすt3	網入透明がらすt6.8 腰アルミバルt3	透明がらすt3、型がらすt4 (便所、ホールのみ) 腰アルミバルt3	透明がらすt3 腰アルミバルt3		
金物	網戸付 引手、クレセント、アングルヒース、その他一式	シングル-錠付握玉、丁番、ドアチェック、その他一式	シングル-錠付握玉、丁番、ドアチェック、その他一式	引手、クレセント、その他一式	ガイドレール、シャッターボックス、その他一式	
備考						



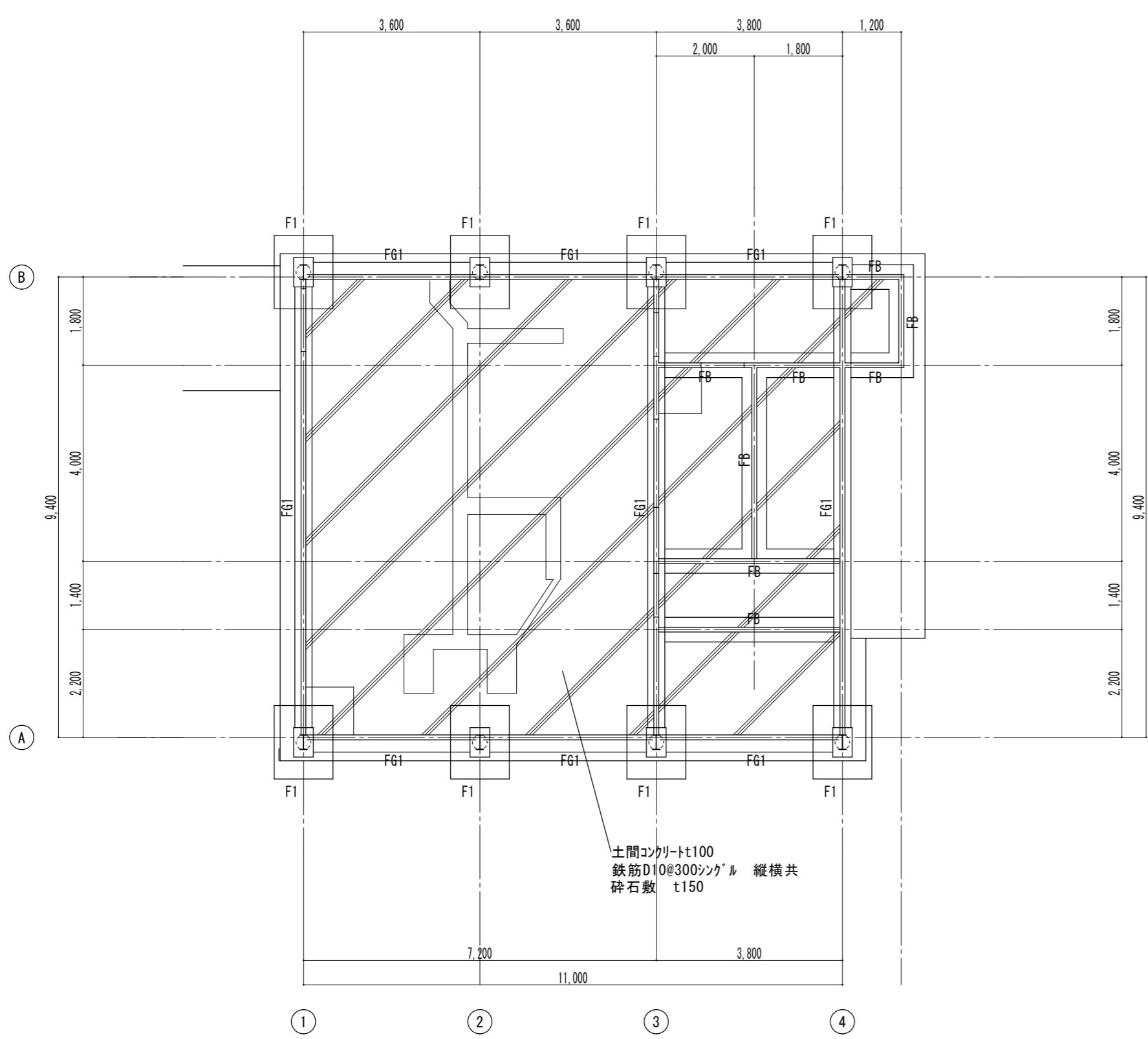
特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 建具表、建具キープラン (参考図) 給食棟解体	N0. D-09 ** 原図:A2
				設計		1/100		

基礎詳細図 S=1:30

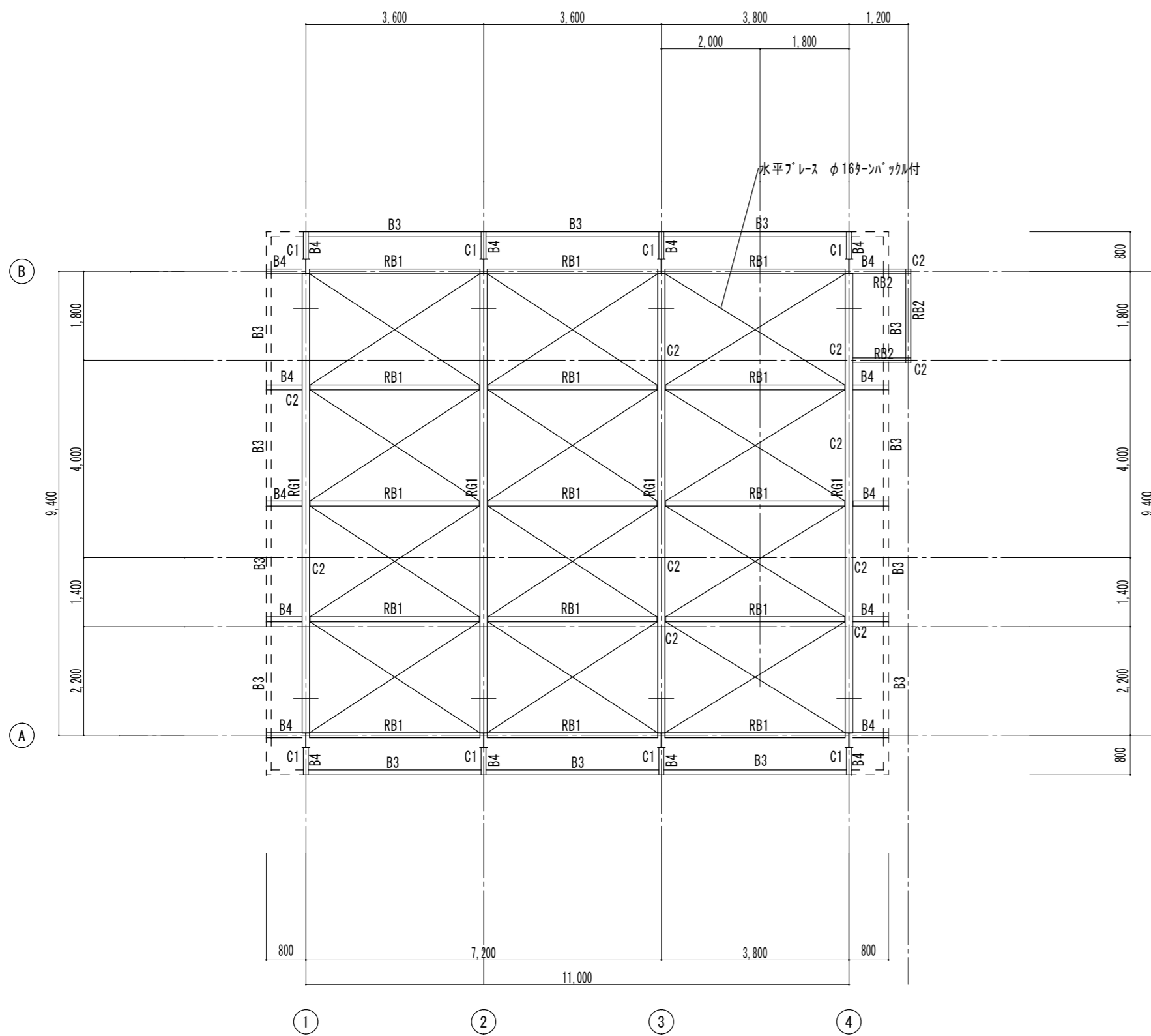


基礎梁断面リスト S=1:30

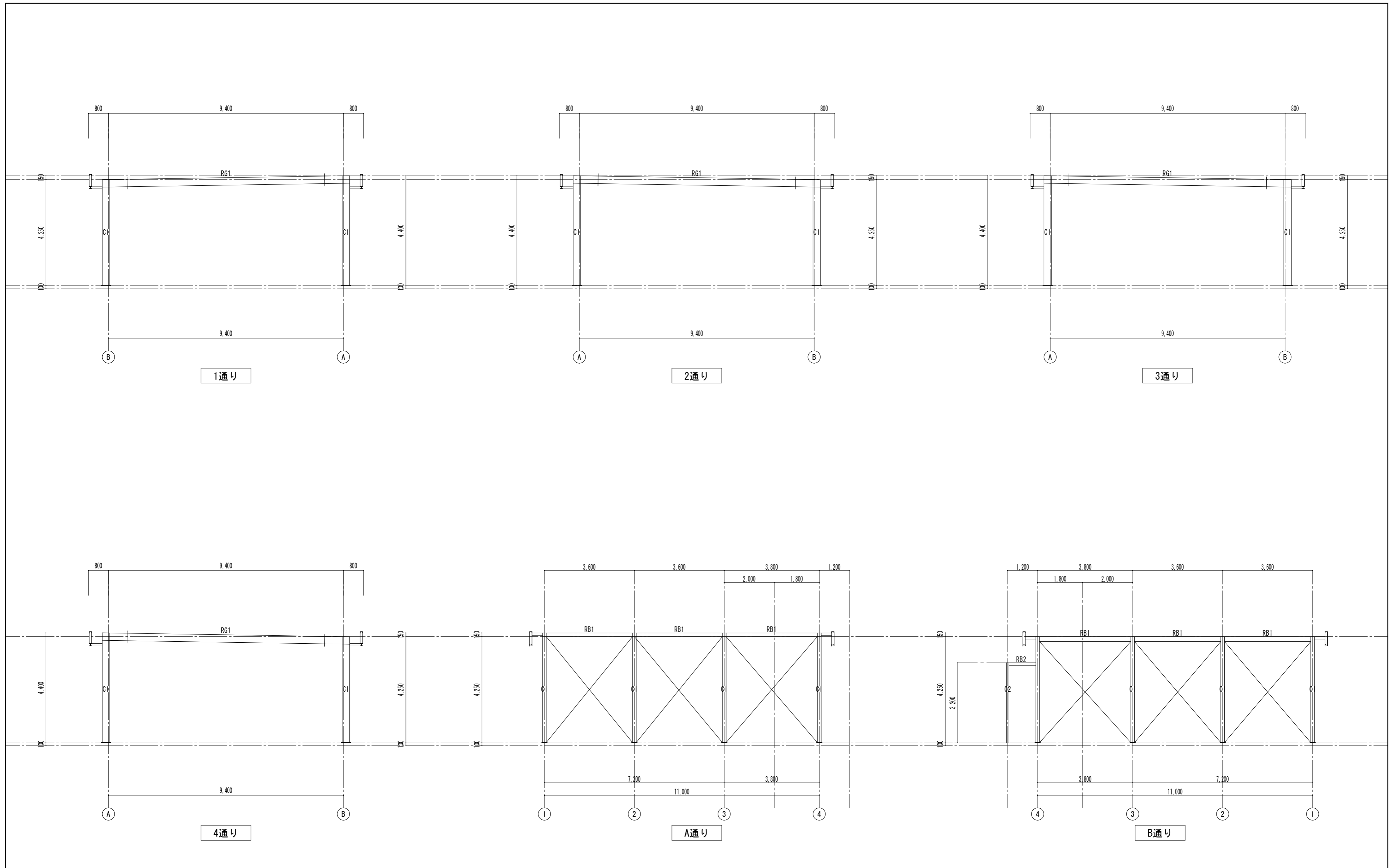
符号	FG1		
BxD	350X600		
位置	全断面		
断面			
上筋	2-D16		
下筋	2-D16		
スリット	D10@150		
腹筋			
幅止筋			



基礎伏図 1/100

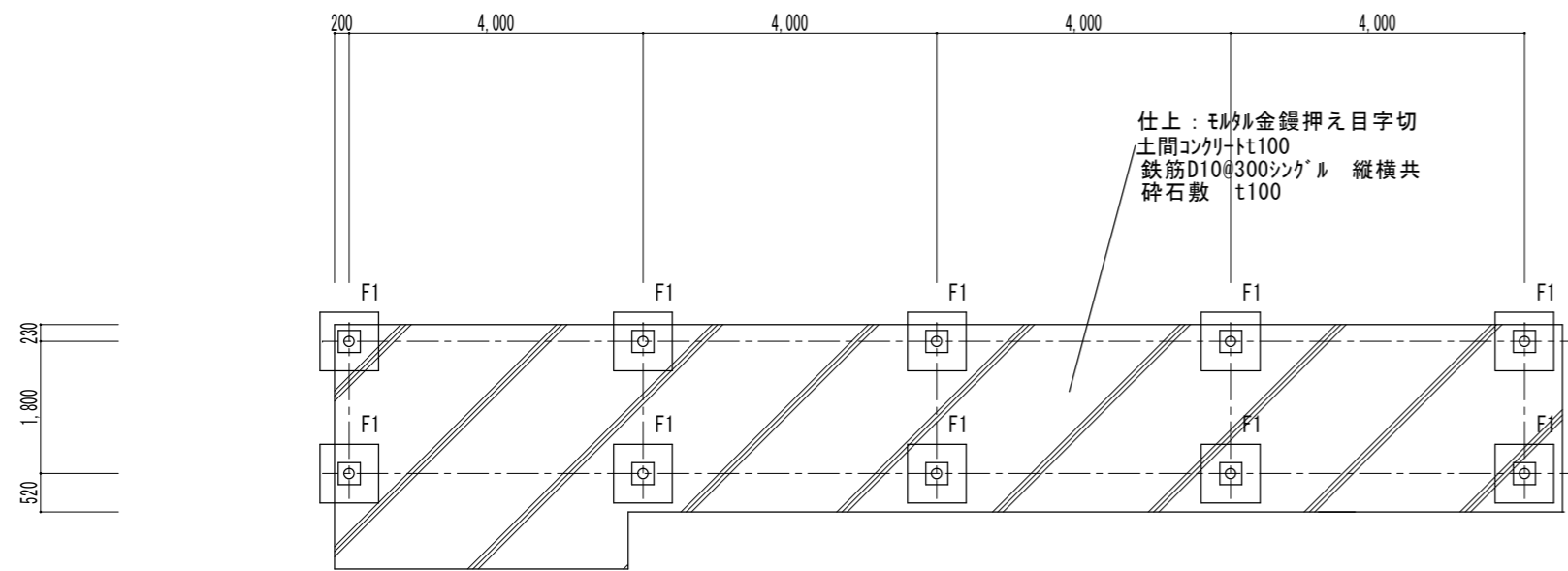


部材リスト	
C1	H-300×150×6.5×9
C2	H-100×100×6×8
RG1	H-300×150×6.5×9
RB1	H-200×100×5.5×8
RB2	H-100×100×6×8
B3	H-100×100×6×8
B4	H-100×100×6×8
水平ブレース	φ169mmハッチ付
垂直ブレース	φ199mmハッチ付
間柱	C-100*50*20*2.3 @900
胴縁	C-100*50*20*2.3 @450

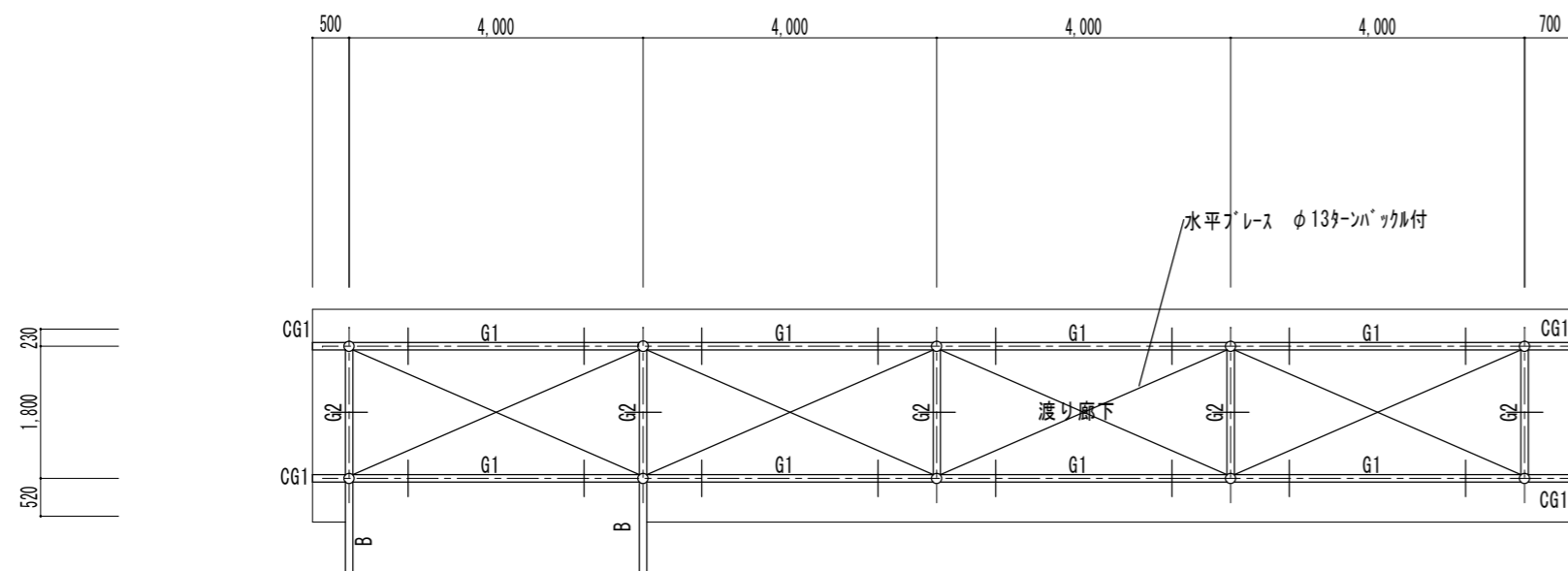


鉄骨軸組図 1/100

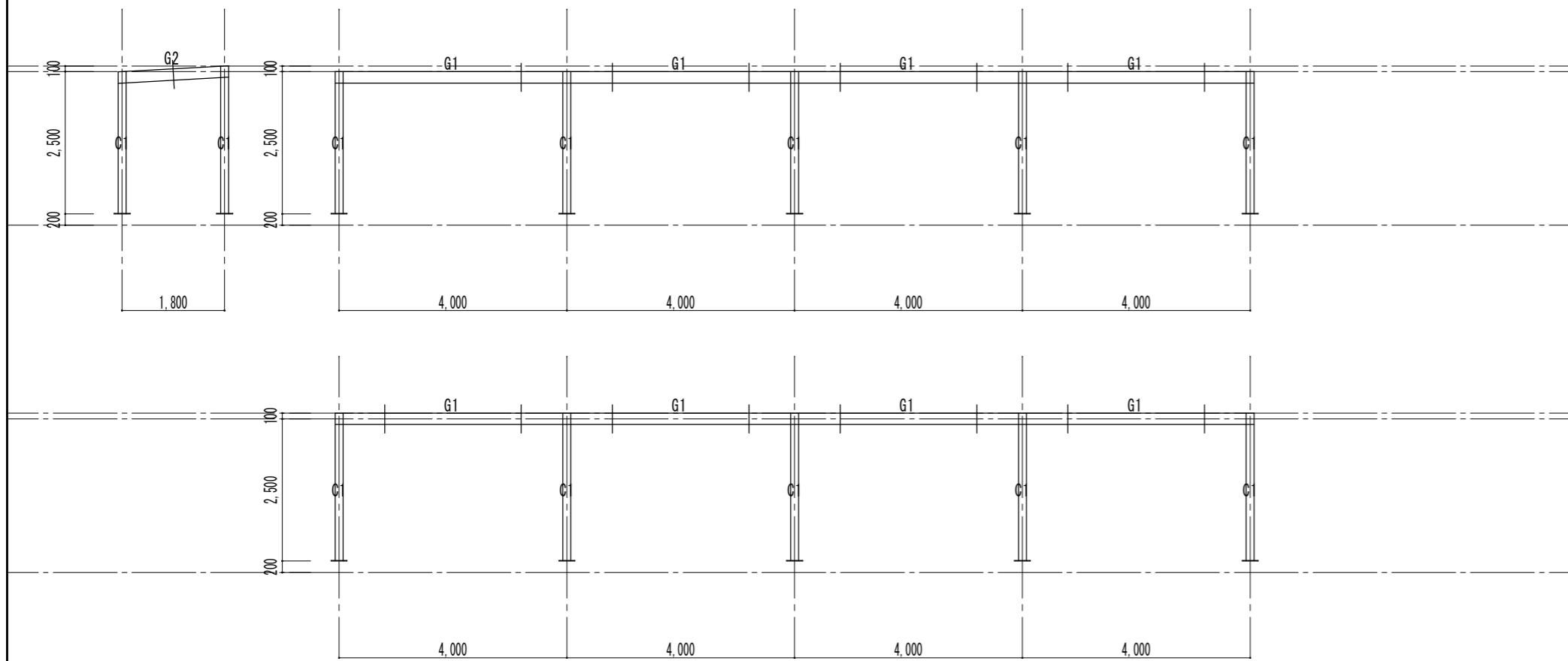
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. D-12 ** 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				(参考図) 給食棟解体	



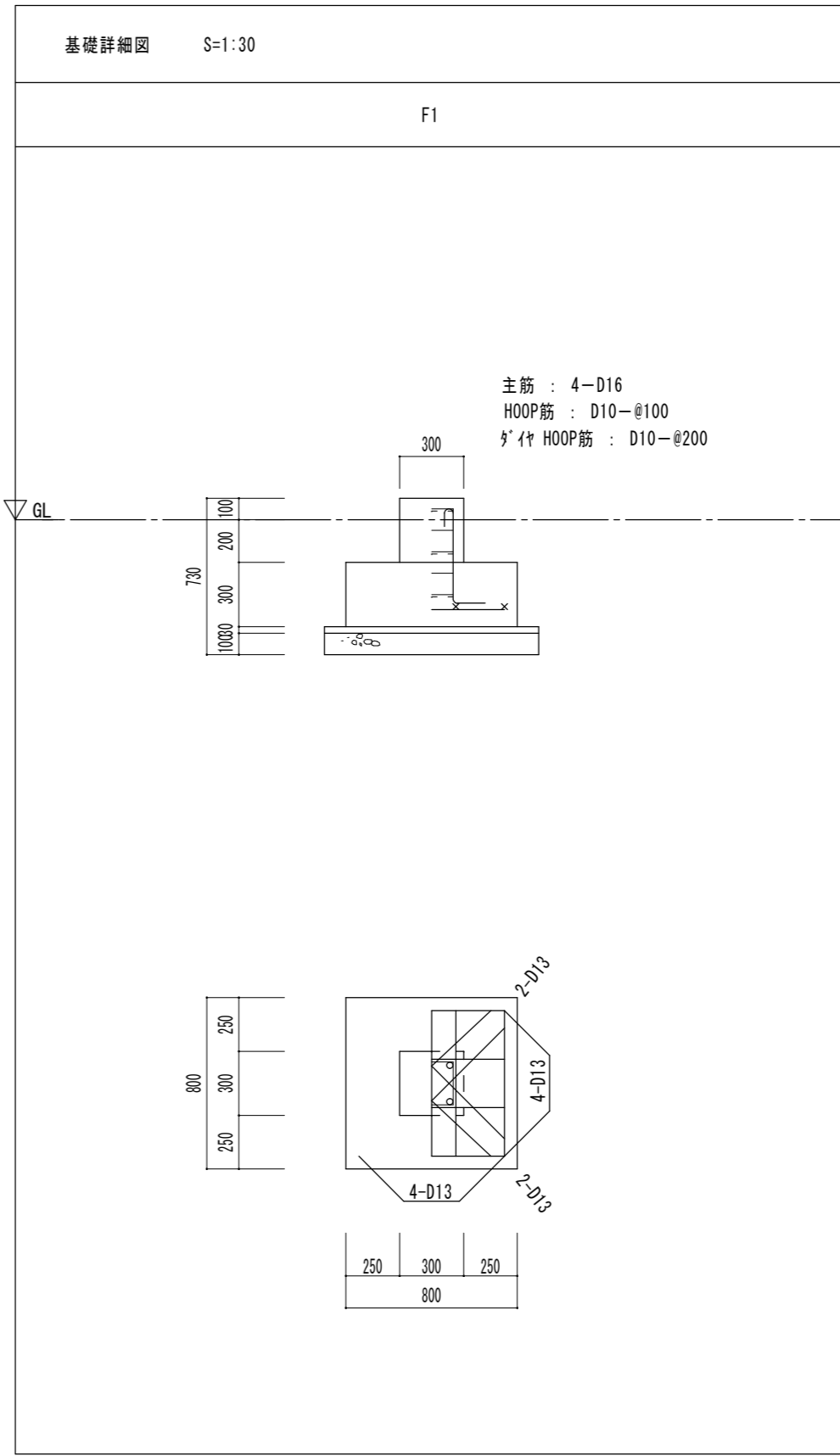
基礎伏図 1/100



鉄骨梁伏図 1/100



鉄骨軸組図 1/100



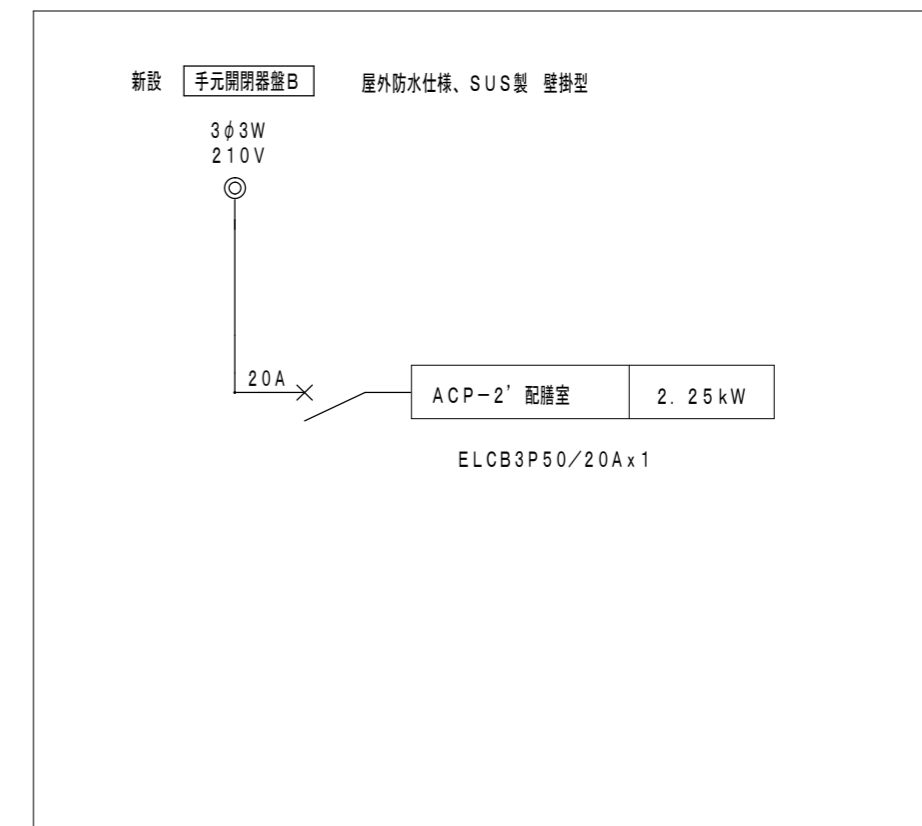
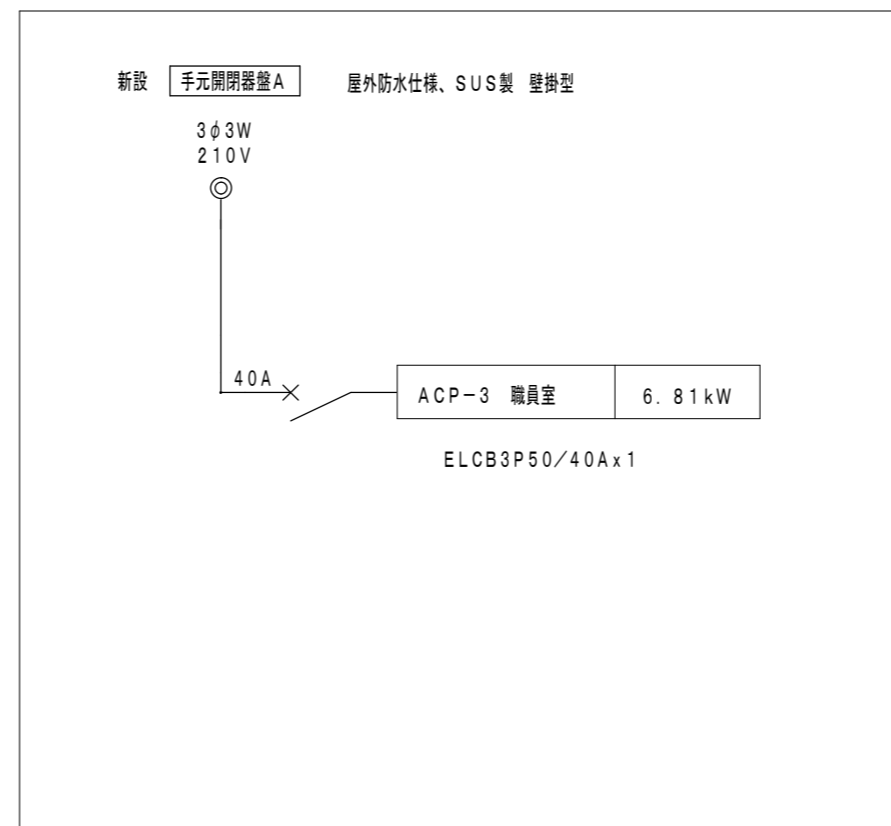
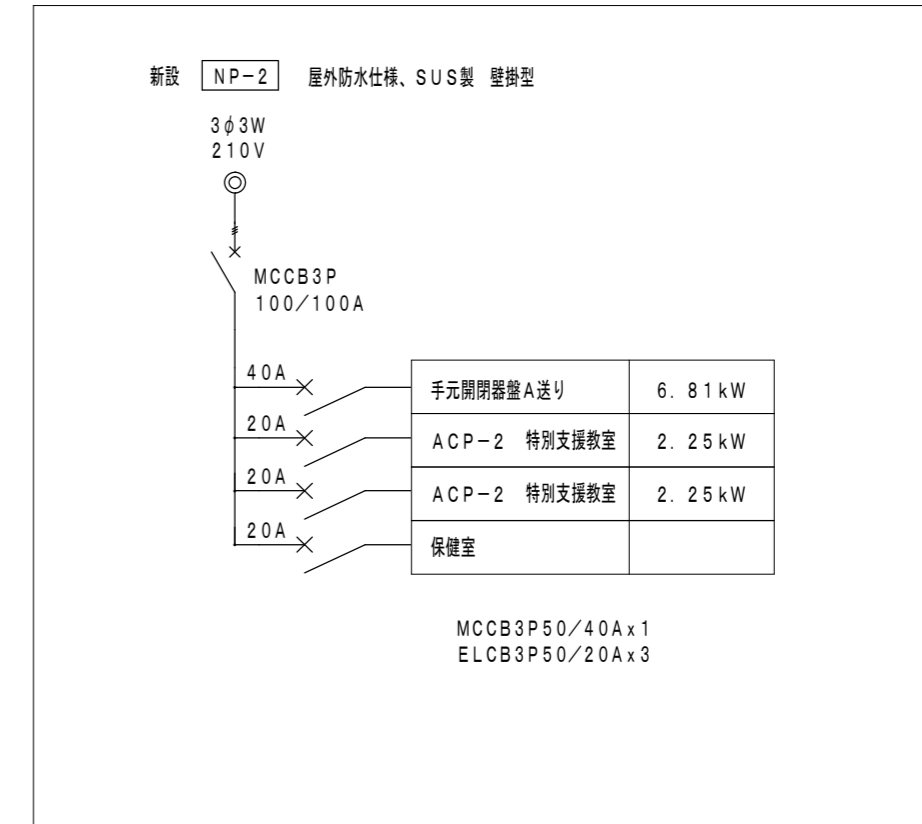
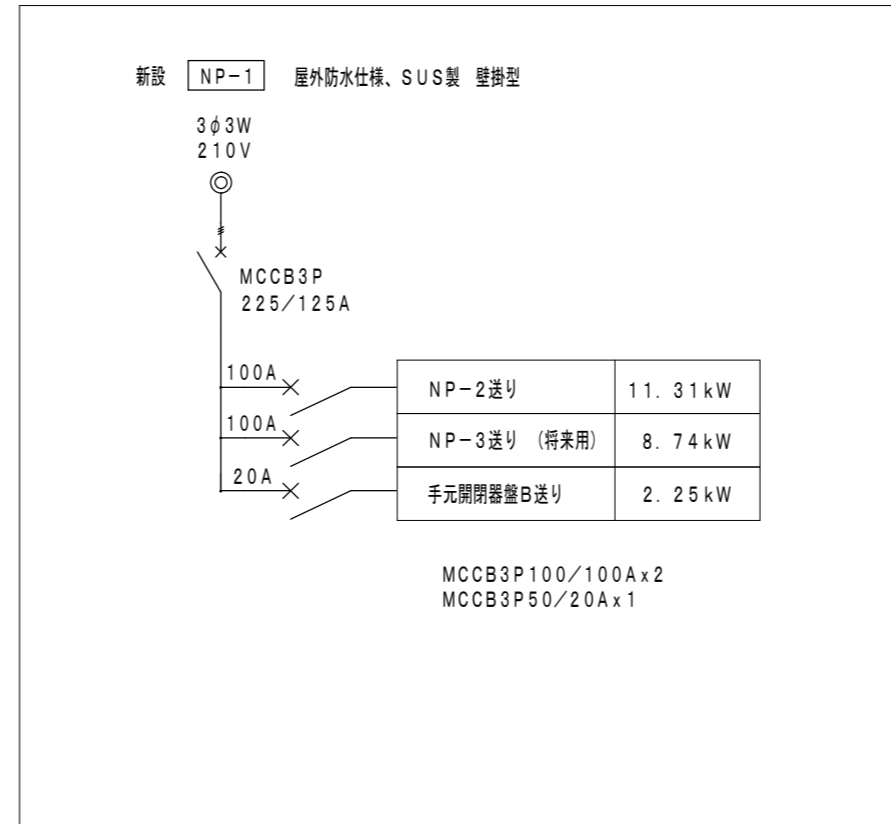
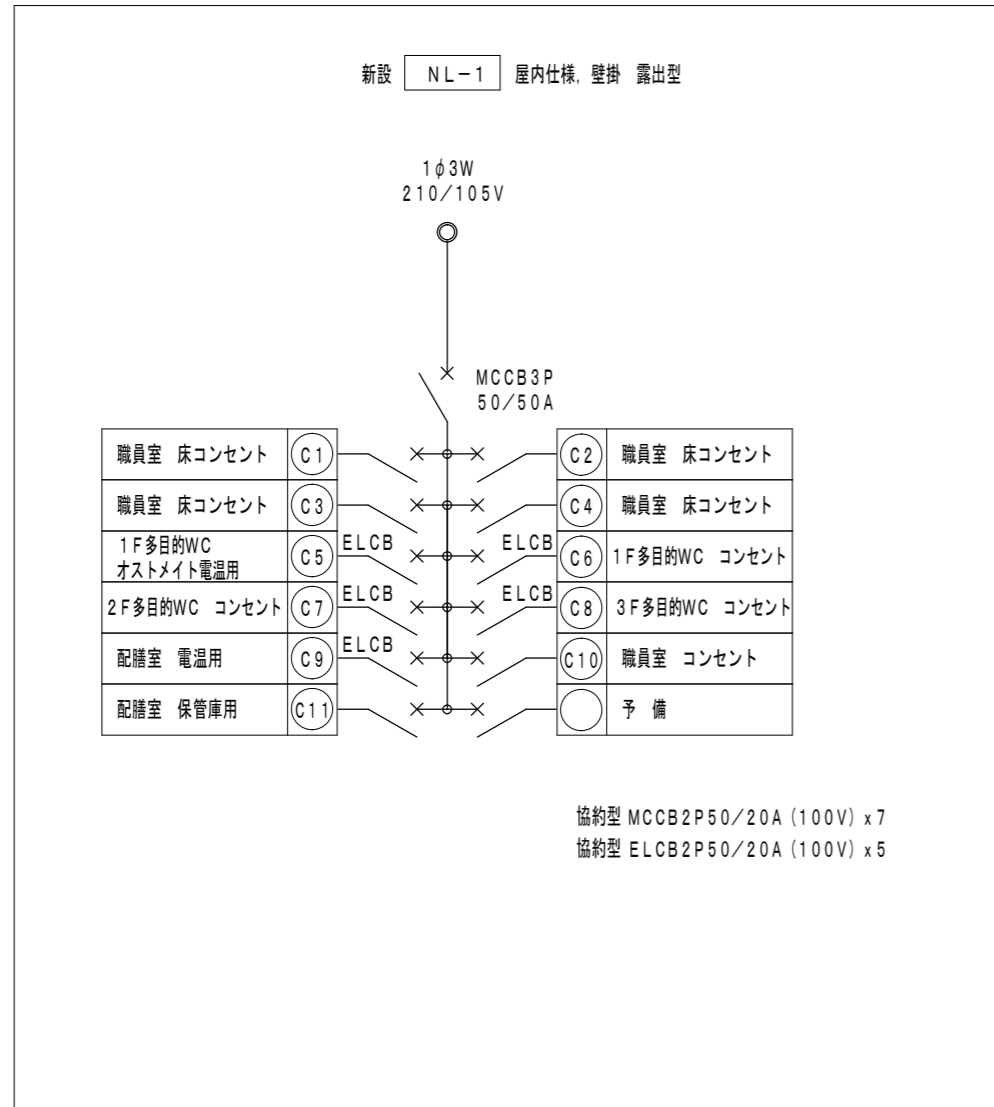
部材リスト	
C1	φ139.8×6
G1	H-200×100×5.5×8
G2	H-200×100×5.5×8
CG1	H-200×100×5.5×8
B	H-200×100×5.5×8
水平ブレース	φ133-ソパ'クル付

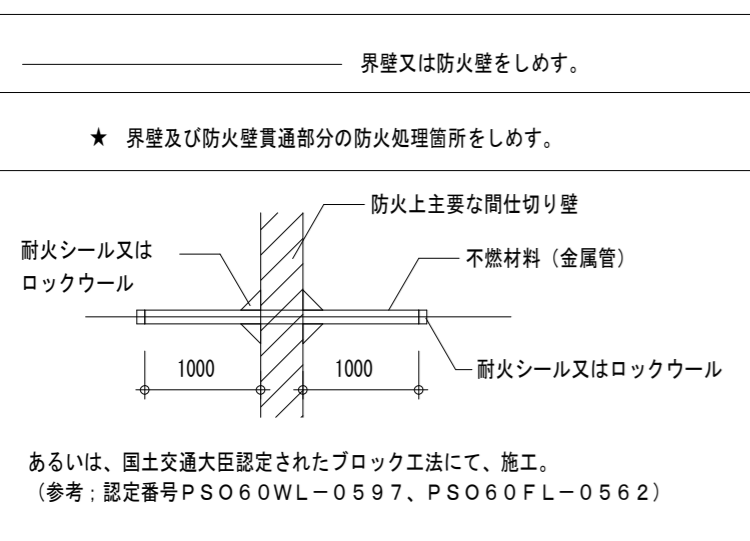


<p>20. ケーブル及び配線  (1)表示  下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先等を表示。）を取り付ける。  ① ケーブルがスラブを貫通する部分  ② ケーブル分岐部分  ③ 変電所内のケーブル引出し部分  ④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分  ⑤ プルボックス内  ⑥ 屋外の共同溝等の直線部分は、5.0mごと  ⑦ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分  ⑧ マンホール及びハンドホールごと  (2)ケーブル余長  1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数  ●2箇所 ・4箇所 ・( )箇所  2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数  ・2箇所 ・4箇所 ・( )箇所</p> <p>21. 配線器具の設置  (1)特殊コンセントはプラグ付とする。  (2)電源の種類により色を区別する。  (3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁枠を使用する。  (4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。  (5)カバープレートは、原則として新金属製とする。  なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。  (6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。</p> <p>22. 照明器具の設置  (1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。  (2)天井下地利より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。</p> <p>23. 照明改修の際の測定  対象室の改修前後の照度等の測定を次のとおり行うこと。  測定箇所 ( ) 測定回数 前後各( )回</p> <p>24. 分電盤、制御盤、キュービクル等  (1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>25. 受変電設備、発電設備の設置場所  (1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。  (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。  (3)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>26. 発電設備の燃料配管  (1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。  (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>27. 非常放送設備のスピーカ設置  (1)放送区域の各部分からスピーカまでの水平距離は1.0m以内とする。  (2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1.5m以内とする。</p> <p>28. 土工事  (1)埋戻しの材料及び工法  ●B種 (材料：根切り土中の良質土 / 工法：機器による締固め) ・その他 ( )  ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。  (2)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。  (3)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭  下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。  ① 建物への引込口及び送出口付近  ② マンホール・ハンドホール付近  ③ 地中線路の曲折箇所  ④ 直線部分では3.0m程度に1個（3.0mに満たない部分はその間に1個）</p>	<p>3. 機器仕様  下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。  なお、詳細については図面による。</p> <p>【電力設備】</p> <p>1. 電灯設備  (1)既設等との取り合い  (2)機器類  (3)一般照明器具  (4)照明制御器  (5)外灯 (単独設置)  (6)コンセント等  (7)分電盤、制御盤等</p> <p>2. 動力設備  (1)既設との取り合い  (2)機器類  (3)負荷設備  (4)負荷設備への接続  (5)電動機等の接地  (6)分電盤、制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備  (1)避雷針  (2)雷サージ保護  (3)電源回路保護  (4)通信回線保護  (5)接地設備  (1)接地工事  (2)接地抵抗測定  (3)接地極埋設標</p> <p>●無し ・盤改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他 ( )  ●分電盤、制御盤等 ・その他 ( )  1) 形式 ●公共型 ・一般型  2) 灯具 ●LED灯 ・その他 ( )  3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ・防災用  4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域  5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。  1) センサ類 ・明るさセンサ ●人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ  ・その他 ( )  2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ●ON/OFF制御  ・その他 ( )  3) 制御方式 ・有線 ・無線通信  1) 照明用ポール  ①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ  ・その他 ( )  ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。  2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ( )  3) 灯具 ・LED灯 ・その他 ( )  4) 電源 ・商用電源(60Hz) (・200V ・100V) ・その他 ( )  5) 制御 ・Eスイッチ ・タイマ ・その他 ( )  6) 接地 ・単独接地 (・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用  ・その他 ( )  ●一般型 ・防水型  ・ハフションアット (・固定型 ・上下動型(アップ式を含む))  1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、受注者名、施工者名を記載する。  2) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。  3) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。  4) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。  ●無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他 ( )  ●分電盤、制御盤等 ・その他 ( )  ・給水 ・排水 ・消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機  ・その他 ( )  図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。  ●専用接地 ・金属管接地 (7.5kW以下)  1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、受注者名、施工者名を記載する。  2) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。  3) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。  4) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。  5) 電流計は赤指針計（定格電流指示）とする。</p> <p>1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物  2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用  3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極  4) 接地抵抗の測定  ①測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法  ②測定回数 ・3回 ・( )回  5) 接地極埋設標を設置する。  1) 耐雷トランス ・設置 (・単相用 ・動力用) ・設置しない  2) SPD ・低圧用 (・クラスⅠ ・クラスⅡ)  ・通信用 (・カテゴリC2 ・カテゴリD1)  3) SPDの性能仕様は別図による  1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。  2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。  電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</p> <p>1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種  2) 施工 ・各種単独 ・共有有り ( )  1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法  2) 測定回数 ・3回 ・( )回  接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>	<p>【受変電設備】</p> <p>5. 受変電設備  (1)既設との取り合い  (2)機器類  (3)盤類  (4)交流遮断器  (5)断路器  (6)負荷開閉器  (7)変圧器  (8)進相コンデンサ  (9)直列リアクトル (進相コンデンサ用)  (10)キュービクル等  (11)基礎  (12)配線ピット及び蓋  (13)設置場所</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備  (1)用途  (2)容量  (3)整流装置  (4)蓄電池  ( ) ( ) kVA  1) 出力電圧 直流 (・1.2V ・2.4V ・4.8V ・( )V)  2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。  1) 種類 ・鉛蓄電池 (・HS ・MSE ・長寿命形MSE)  ・アルカリ蓄電池 (・AH ・AMH)  ・その他 ( )  2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・( )℃  ( ) ( ) kVA  ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式  ・常時商用給電方式 ・その他 ( )  整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。  1) 種類 ・鉛蓄電池 (・HS ・MSE ・長寿命形MSE)  ・アルカリ蓄電池 (・AH ・AMH)  ・その他 ( )  2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・( )℃  停電補償時間 ( )  ・仕様詳細は別図による。  ・仕様詳細は別図による。</p> <p>7. 交流無停電電源設備  ( ) ( ) kVA  ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式  ・常時商用給電方式 ・その他 ( )  整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。  1) 種類 ・鉛蓄電池 (・HS ・MSE ・長寿命形MSE)  ・アルカリ蓄電池 (・AH ・AMH)  ・その他 ( )  2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・( )℃  停電補償時間 ( )  ・仕様詳細は別図による。  ・仕様詳細は別図による。</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備  ・仕様詳細は別図による。</p> <p>9. 分散電源エネルギーマネージメントシステム  ・仕様詳細は別図による。</p>	<p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料式発電設備  (1)用途  (2)設置場所  (3)機器  (4)発電装置  (5)燃料  (6)燃料槽  (7)給油ボックス  (8)燃料移送ポンプ  (9)基礎  11. その他発電設備  【通信・情報設備】  12. 構内情報通信網設備  13. 構内交換設備  (1)機器  (2)交換装置  (3)電話機  (4)端子盤類  (5)アウトレット  14. 情報表示設備  (1)設備  (2)マルチ装置  (3)出退表示装置  (4)時刻表示装置  (5)警報等表示装置  15. 映像音響設備</p> <p>1) 用途 ・防災電源専用（防災認定品） ・防災電源兼用（防災認定品）  ・一般用  2) 区分 ・常用 ・非常用  ・屋内 ・屋外 (・普通地域 ・塩害地域)  (2)設置場所 ・発電装置  (3)機器 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ  (4)発電装置  1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスタービン発電装置  ・ガスタービン発電装置  ・簡易形・オープン式  ・キュービクル式 (・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m)  3) 始動時間 (停電検出後) ・1.0秒以内 ・4.0秒以内  ・( )秒以内  4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・1.0時間以上 ・2.4時間以上  ・7.2時間以上 ・その他 ( )  5) 発電機  ①電気方式 ・三相3線式 (・6.6kV ・200V ・( )V)  ・三相3線式 (200/100V)  ・単相2線式 (・200V ・100V ・( )V)  60Hz  ②定格周波数  ③定格出力 ( ) kVA  6) 原動機  ①定格出力 ( ) kW以上 ( ) ps以上  ②冷却方式 ・ラジエータ方式 ・その他 ( )  1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他 ( )  2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他 ( )  (6)燃料槽  1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク ( ) リットル  ・燃料小出槽 ( ) リットル  ・主燃料槽 ( ) リットル  ・屋外型 (・ステンレス製 ・鋼製)  2) 燃料小出槽  ①設置場所 ・屋内 ・屋外(地上)  ・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設)  ②形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク  ・その他 ( )  ③設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他 ( )  ④タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ( )  1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他 ( )  2) 油量指示計 ・有 ・無  1) 電動ポンプ ・歯車ポンプ ・油中ポンプ  2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ・有 ・無  3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無  (9)基礎  ・本工事 (・2.1N/mm<sup>2</sup> ・1.8N/mm<sup>2</sup>) ・別途工事 ・既設利用  ・その他 ( )  ・ ( ) の仕様詳細は別図による。  【通信・情報設備】  12. 構内情報通信網設備  ・仕様詳細は別図による。  13. 構内交換設備  (1)機器  (2)交換装置  1) 種別 ・構内交換装置 (・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ)  ・ポータ電話装置  ・その他 ( )  2) 局線応答方式 ・局線中継台 ・分散中継台 ・ダイヤルイン  ・ダイレクトインダイヤル ・ダイレクトインライン  ・その他 ( )  3) 保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用  ・その他 ( )  4) 本配電盤(MDF) ・自立フルーム (・片面形 ・両面形) ・交換機一体型  ・壁掛型 ・その他 ( )  5) 電源装置 ①形式・別置型 ・一体形 ・その他 ( )  ②停電補償時間 ・3.0分以上 ・( )以上  (3)電話機  ・一般電話機 ・多機能電話機 ・IP電話機  ・デジタルコードレス電話機 (PHS方式) ・IPコードレス電話機 (無線LAN方式)  ・その他 ( )  (4)端子盤類  1) 端子盤 ・中継端子盤 (IDF) ・室内端子盤  2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。  (5)アウトレット  ・ローテーションアウトレット (・固定型 ・上下動型(アップ式を含む))  ・壁コンセント ・その他 ( )  14. 情報表示設備  (1)設備  (2)マルチ装置  (3)出退表示装置  (4)時刻表示装置  (5)警報等表示装置  1) 機器 ・表示盤 ・検出装置 ・その他 ( )  2) 表示盤 ①表示方式 ・表示窓式 ・その他 ( )  ②施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用  ・その他 ( )  3) 検出装置 ①検出方式 ・電極 ・無電圧接点 ・その他 ( )  ②施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用  ・その他 ( )  4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。  15. 映像音響設備  ・仕様詳細は別図による。</p>				
特記	月: 日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0.
		一級建築士事務所 一級建築士第248160号	設計		NS		E-02
		登録番号(1)第2118号 内田 貴之				電気設備工事 特記仕様書(2)	**
							原図: A2

<p>16. 拡声設備 (1) 機器 (2) 増幅器 (3) 付属機器 (4) 操作装置 (5) スピーカ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>増幅器 ・ 付属機器 ・ 操作装置 ● スピーカ ・ その他 ( )</li> <li>非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照)</li> <li>専用出力 ( ) W</li> <li>出力インピーダンス ・ Lo形 ・ Hi形</li> <li>オーディオミキサー ・ リモコンマイク ・ 電源制御器</li> <li>録音再生装置 (・ CD ・ メモリオーディオ ・ その他 ( ))</li> <li>アナウンスレコーダ (・ チャイム ・ 独自メッセージ ・ プログラムタイマ ・ その他 ( ))</li> <li>有線マイクロホン</li> <li>無線マイクロホン (・ 電波式 (・ アナログ ・ デジタル) ・ 赤外線式)</li> <li>ラジオチューナー (・ FM ・ AM ・ その他 ( ))</li> <li>スピーカ切替装置 ・ その他の機器 ( )</li> <li>卓型 ・ キャビネットラック型 ・ 壁掛型 ・ その他 ( )</li> <li>非常放送兼用 (仕様は非常放送装置を参照)</li> <li>専用結線 ● 1W ・ 3W ・ ( ) W</li> <li>インピーダンス ・ Lo形 ・ Hi形</li> <li>設置場所 ● 屋内 ・ 屋外 ・ その他 ( )</li> </ul>	<p>23. 自動閉鎖設備 (1) 機器 (2) 連動制御器 (3) 感知器 (4) 自動閉鎖装置 (5) 自動閉鎖装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連動制御器 ・ 感知器 ・ 自動閉鎖装置 ・ 自動閉鎖装置</li> <li>その他 ( )</li> <li>制御対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>防火戸 ・ 防火シャッター ・ 防排煙ダンパー</li> <li>非常口等の扉 ・ その他 ( )</li> </ul> </li> <li>回線数 ( ) 回線 (遠方復帰機構 ( ) 回路)</li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独 (・ 壁掛形 ・ 自立形) ・ 火災受信機等との複合盤</li> </ul> </li> <li>1) 型式 ・ アドレス付 ・ 一般型</li> <li>2) 種類 煙感知器 (・ 2種 ・ 3種)</li> <li>3) 試験機能 ・ 自動試験機能 ・ 遠隔試験機能</li> <li>4) 機器仕様 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般 ・ 防水 ・ 防爆 ・ 防食 ・ その他 ( )</li> </ul> </li> <li>1) 方式 ・ 電磁式 ・ ラッチ式 ・ その他 ( )</li> <li>2) 施工 ・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事) ・ 別途工事</li> <li>既設利用 ・ その他 ( )</li> <li>1) 方式 ・ 電磁式 ・ その他 ( )</li> <li>2) 施工 ・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事) ・ 別途工事</li> <li>既設利用 ・ その他 ( )</li> </ul>
<p>17. 誘導支援設備 (1) 設備 (2) 音声誘導装置 (3) インターホン (4) トイレ等呼出装置</p>	<p>24. 非常警報設備 (1) 設備 (2) 非常放送装置 (3) 増幅器 (4) スピーカ (5) 非常ベル (自動サイレンを含む)</p> <p>25. ガス漏れ火災警報設備 (1) 機器 (2) 受信機 (3) 副受信機 (4) 検知器</p> <p>【中央監視制御設備】 ・ 仕様詳細は別紙による。</p> <p>【医療関係設備】 ・ 仕様詳細は別紙による。</p> <p>【構内配電線路】</p>	<p>27. 構内通信線路 (1) 用途 (2) 配線方式 (3) 建柱 (4) ハンドホールマンホール (5) 錆鉄蓋 (6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>28. 消火器</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話 ・ 拡声 ・ 時刻表示 ・ 火災報知 ・ 非常警報 ・ インターホン</li> <li>テレビ共同受信 ・ 防犯 ・ 制御 ・ その他 ( )</li> <li>地中線式 (・ 直埋 ・ 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>建築物等添架式 (・ 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>その他 ( )</li> <li>1) 施工 ・ 本工事 ・ 既設柱利用 ・ 構内配電線柱に添架</li> <li>その他 ( )</li> <li>2) 電柱 ・ コンクリート柱 ・ 鋼管柱 ・ パンザマスト</li> <li>その他 ( )</li> <li>3) 支持材 ・ 根かせ ・ 根はじき ・ 根巻き ・ 底板</li> <li>支線 (保護ガード ・ 有 ・ 無)</li> <li>4) 装柱材料 ・ 有 ・ 無</li> <li>5) 銘板 ・ 有 ・ 無</li> <li>1) 形式 ・ ブロック式 ・ 現場打ち</li> <li>2) 施工 ・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事) ・ 別途工事</li> <li>既設利用 ・ その他 ( )</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ ( ) 箇所</li> <li>4) 車両の通行 <ul style="list-style-type: none"> <li>有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・ 無</li> </ul> </li> <li>1) 錆鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。</li> <li>2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。</li> <li>1) 種類 ・ FEP ・ GLT (PEライニング管) ・ VE ・ HIVE ・ SGP</li> <li>厚鋼電線管 ・ その他 ( )</li> <li>2) 標示杭埋設 ・ コンクリート製 ・ 鉄製 (アスファルト部分)</li> <li>3) 埋設標識シート ・ 2倍長 ・ その他 ( )</li> <li>4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。</li> </ul> <p>【その他】</p> <p>28. 消火器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 設置 ● 本工事 (● 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ・ 別途工事</li> <li>2) 消火器 種別 ( )、数量 ( ) 本</li> <li>3) 消火器収納箱 材質 ( )、数量 ( ) 面</li> </ul>
<p>18. テレビ共同受信設備 (1) 受信放送 (2) 機器 (3) アンテナ (4) 自立用基礎</p>	<p>(3) 非常ベル (自動サイレンを含む)</p> <p>25. ガス漏れ火災警報設備 (1) 機器 (2) 受信機 (3) 副受信機 (4) 検知器</p> <p>【中央監視制御設備】 ・ 仕様詳細は別紙による。</p> <p>【医療関係設備】 ・ 仕様詳細は別紙による。</p> <p>【構内配電線路】</p>	<p>5. 使用資機材の適用規格 (1) 以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格 (JIS規格) 適合品の使用を原則とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品</li> <li>電気用品安全法適合品</li> <li>耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル</li> <li>消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの</li> <li>第三者認証機関として(一社)日本電線工業規格 (JCS規格) への適合性検査を行い合格したもの</li> <li>非常用照明器具 <ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法に定める国土交通大臣認定品</li> <li>(一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>誘導灯 <ul style="list-style-type: none"> <li>登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA誘導灯認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>制御盤 <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社)日本配電制御システム工業規格 (JSIA規格) 適合品</li> </ul> </li> <li>消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品</li> <li>登録認定機関 ((一財)日本消防設備安全センター (消防用設備等認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> <li>不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評価対象品</li> <li>(一財)日本消防設備安全センターの性能評価を受け、評価証票が貼付されたもの</li> <li>金属閉鎖形スイッチギア <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社)日本電機工業規格 (JEM規格) 適合品</li> </ul> </li> <li>高圧機器 (遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器) <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品</li> </ul> </li> <li>直流電源装置 (防災電源用) <ul style="list-style-type: none"> <li>登録認定機関 ((一社)日本電気協会 (JEA蓄電池設備認定委員会)) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>交流無停電電源装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社)電気学会電気規格調査会規格 (JEC規格) 適合品</li> </ul> </li> <li>自家発電装置 (防災電源用) <ul style="list-style-type: none"> <li>登録認定機関 ((一社)日本内燃力発電設備協会) の認定を受け、認定証票 (長時間形) が貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>自家発電装置 (防災電源用でないもの) <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社)日本電機工業規格 (JEM規格) 適合品</li> </ul> </li> <li>太陽電池モジュールの支持物 <ul style="list-style-type: none"> <li>電気設備の技術基準の解釈第4.6条第2項又は第3項の規定に適合するもの</li> </ul> </li> <li>電話用設備 (電話交換機、電話機等) <ul style="list-style-type: none"> <li>登録認定機関 ((一財)電気通信端末機器審査協会 (JATE) 等) の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>非常用放送設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>テレビ共同受信機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>優良住宅部品 (BL部品) の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの</li> <li>(一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの</li> </ul> </li> <li>自動火災報知設備 <ul style="list-style-type: none"> <li>登録認定機関 (日本消防検定協会) の認定を受け、認定証票が貼付されたもの</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。</p>	
<p>19. 監視カメラ設備 ・ 仕様詳細は別図による。</p> <p>20. 駐車場管制設備 ・ 仕様詳細は別図による。</p> <p>21. 防犯・入退室管理設備 ・ 仕様詳細は別図による。</p> <p>22. 自動火災報知設備 (1) 機器 (2) 受信機 (3) 副受信機 (表示装置) (4) 中継器 (5) 発信機 (6) 感知器 (7) 光警報装置</p>	<p>26. 構内配電線路 (1) 配線方式 (2) 建柱 (3) 装柱機器 (高圧用) (4) 装柱機器 (低圧用) (5) ハンドホールマンホール (6) 錆鉄蓋 (7) 地中ケーブル保護材料</p>	<p>【構内配電線路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中線式 (・ 直埋 ● 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちょう架線添架)</li> <li>建築物等添架式 (● 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ( ))</li> <li>その他 ( )</li> <li>1) 施工 ・ 本工事 ・ 既設柱利用 ・ その他 ( )</li> <li>2) 電柱 ● コンクリート柱 ・ 鋼管柱 ・ パンザマスト</li> <li>その他 ( )</li> <li>3) 支持材 ・ 根かせ ・ 根はじき ・ 根巻き ・ 底板</li> <li>支線 (保護ガード ・ 有 ・ 無)</li> <li>4) 装柱材料 ・ 有 (電力仕様) ・ 無</li> <li>5) 銘板 ・ 有 ・ 無</li> <li>1) 機器 ・ 開閉器 ・ 避雷器 ・ カットアウト ・ 碍子</li> <li>その他 ( )</li> <li>2) 耐環境性 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般用 ・ 耐塩用</li> </ul> </li> <li>3) 開閉器 仕様は 5. 変電設備 (6) 負荷開閉器 による。</li> <li>1) 機器 ・ 開閉器 ・ 開閉器箱 ・ 避雷器 ・ カットアウト ・ 碍子</li> <li>その他 ( )</li> <li>2) 耐環境性 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般用 ・ 耐塩用</li> </ul> </li> <li>1) 形式 ・ ブロック式 ・ 現場打ち</li> <li>2) 施工 ・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事) ・ 別途工事</li> <li>既設利用 ・ その他 ( )</li> <li>3) ケーブル支持金物の取付 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ ( ) 箇所</li> <li>4) 車両の通行 <ul style="list-style-type: none"> <li>有 (破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・ 無</li> </ul> </li> <li>1) 錆鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。</li> <li>2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。</li> <li>1) 種類 ● FEP ・ GLT (PEライニング管) ・ VE ・ HIVE ・ SGP</li> <li>厚鋼電線管 ・ その他 ( )</li> <li>2) 標示杭埋設 ● コンクリート製 ● 鉄製 (アスファルト部分)</li> <li>3) 埋設標識シート ● 2倍長 ・ その他 ( )</li> <li>4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。</li> </ul>	<p>津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事</p> <p>電気設備工事 特記仕様書 (3)</p>
<p>特記</p>	<p>月 日</p> <p>U 建築設計</p> <p>三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897</p> <p>一級建築士事務所 一級建築士第248160号</p> <p>設計</p> <p>登録番号(1) 第2118号 内田 貴之</p>	<p>設計番号</p> <p>年月日</p> <p>縮尺</p> <p>NS</p>	<p>N0.</p> <p>E-03</p> <p>**</p> <p>原図: A2</p>







CVT60°E22' (FEP65) 3φ3W 新設NP-1用  
CV8°-3C, E5.5' (FEP40) 3φ3W ELV用  
CVT100°E22' (FEP100) 3φ3W 既設普通教室2F空調用  
CVT100° (FEP100) 3φ3W 既設普通教室3F空調用  
CVT14°E5.5' (FEP50) 1φ3W 新設NL-1用  
CV8°-3C (FEP40) 3φ3W リフト電源  
HP1. 2-3P (FEP30) 消火栓起動

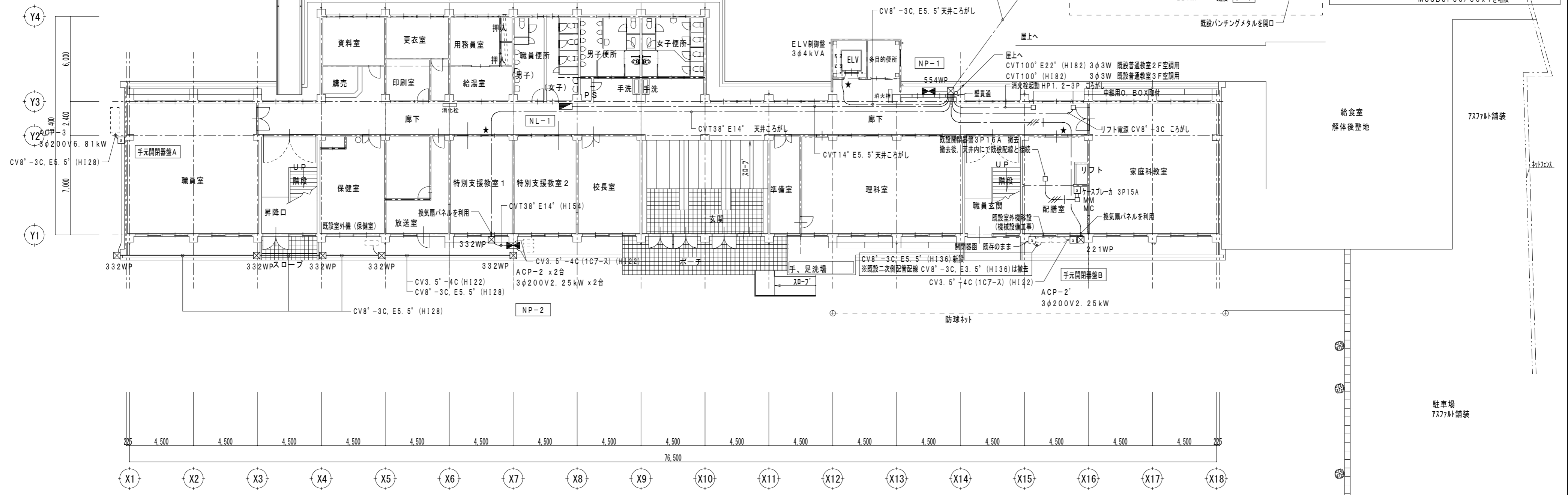
CR=W400 (Z35) セパレータ取付 上下にケーブルラックカバー取付  
下配配線をCR内に入線

CVT60°E22' 3φ3W 新設NP-1用  
CV8°-3C, E5.5' 3φ3W ELV用  
CVT100°E22' 3φ3W 既設普通教室2F空調用  
CVT100° 3φ3W 既設普通教室3F空調用  
CVT14°E5.5' 1φ3W 新設NL-1用  
CV8°-3C 3φ3W リフト電源  
HP1. 2-3P 消火栓起動

※CR及びプルボックス用ブロックにて支持を行う

既設キュービクル 改造

3φ3W 既設給食室用 MCCB3P100/100A x1を予備に変更  
既設職員室エアコン MCCB3P100/60A x1を予備に変更  
新設NP-1用 MCCB3P225/125A x1を増設  
新設ELV用 MCCB3P50/50A x1を増設  
既設給食室用 MCCB3P50/50A x1を予備に変更  
新設NL-1用 既設MCCB3P100/100A x1を撤去し、MCCB3P50/50A x1を増設



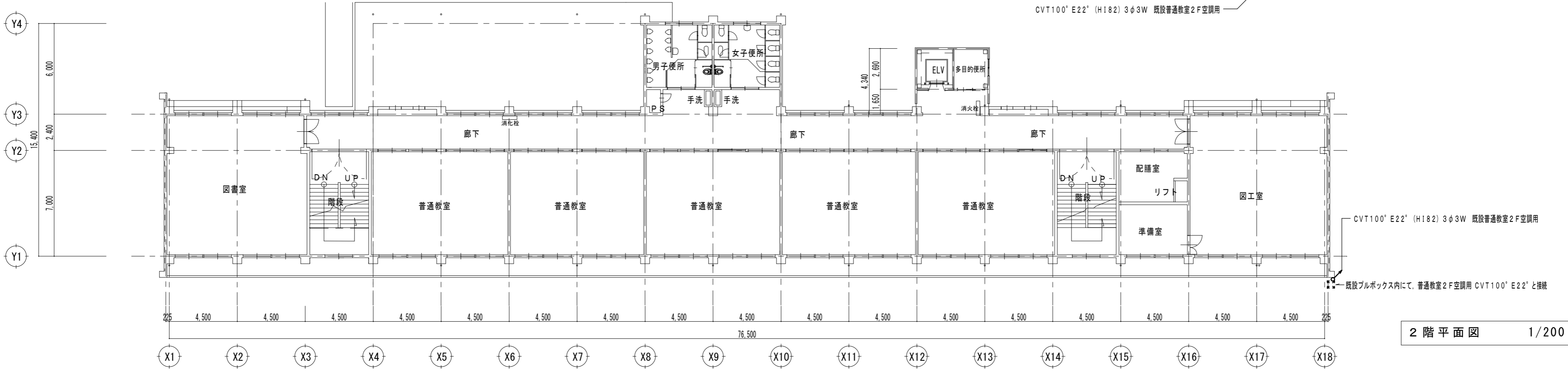
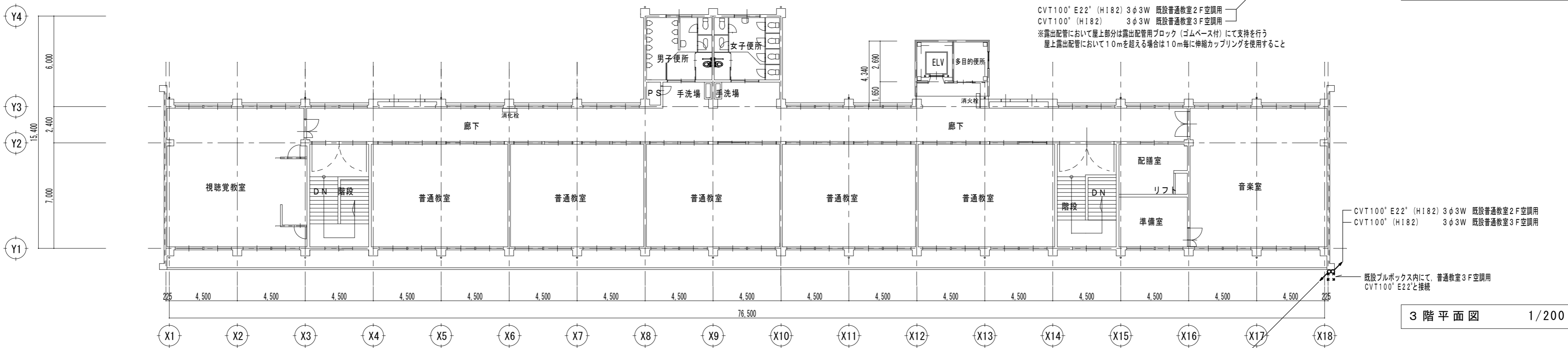
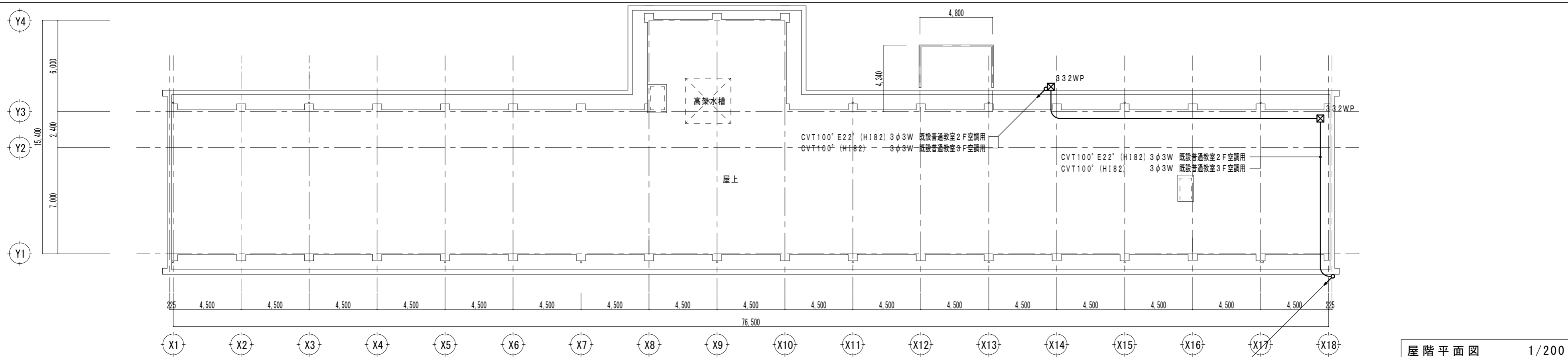
1階平面図 1/200

特記事項

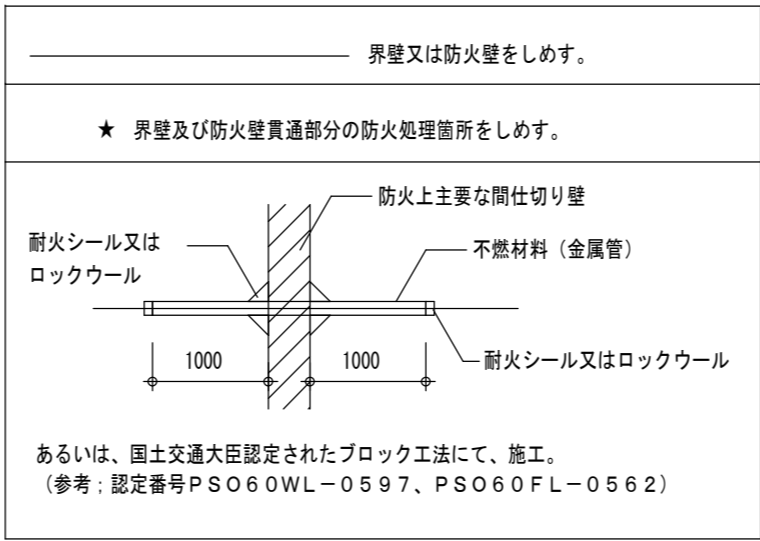
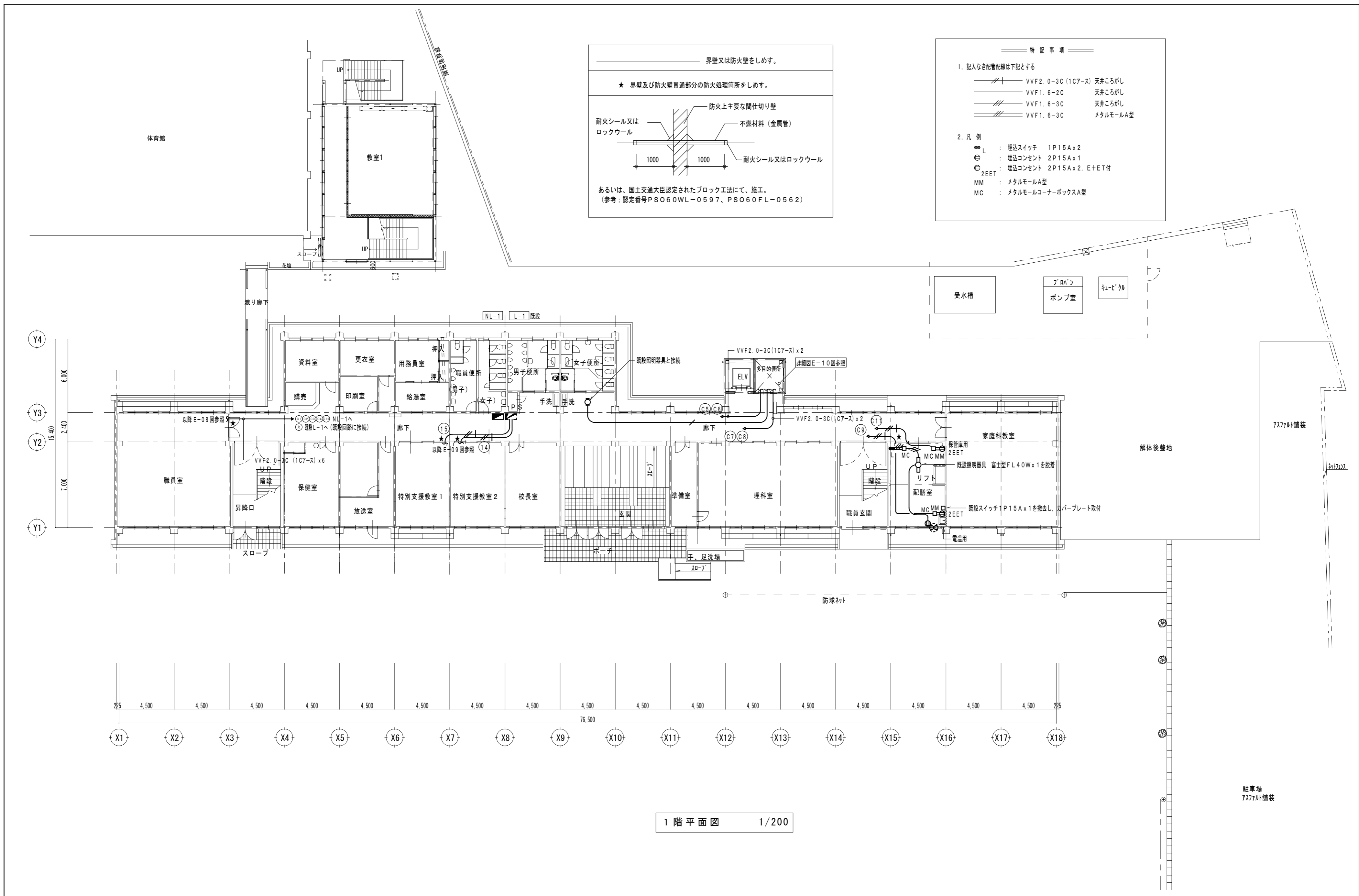
1. 配入なき配管配線は下記とする  
CV3.5°-4C (1C7-ス) 天井ころがし  
※盤・機器等の接続は金属製可とう電線管、ビニル被覆、防水型を使用する

2. 凡例  
221WP : 防水プルボックス SUS製 200x200x100  
332WP : 防水プルボックス SUS製 300x300x200  
554WP : 防水プルボックス SUS製 500x500x400 セパレータ付

特記	月		U 建築設計			設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 幹線・空調電源設備 1階平面図 改修後	N0. E-05 ** 原図:A2
	日		三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897			年	月	A2:1/200		
	一級建築士事務所			一級建築士第248160号			設計	A3:1/283		
	登録番号(1)第2118号			内田 貴之						



特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事		N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897					幹線設備 2階・3階・屋階平面図		E-06
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計		A2:1/200 A3:1/283	改修後		**
			登録番号(1)第2118号 内田 貴之					原図:A2		



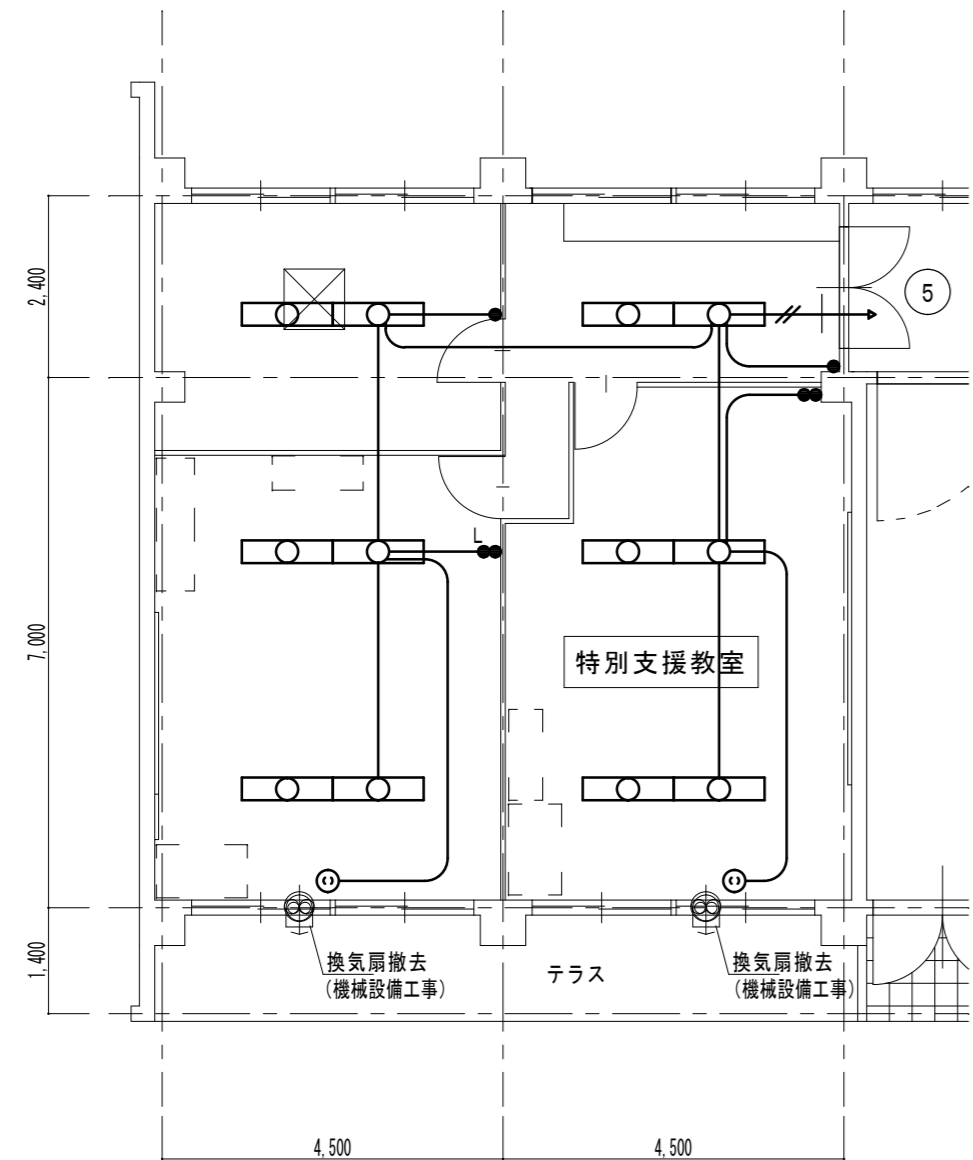
- 特記事項
1. 記入なき配管配線は下記とする
- VVF2. 0-3C (1C7-ス) 天井こがし
  - VVF1. 6-2C 天井こがし
  - VVF1. 6-3C 天井こがし
  - VVF1. 6-3C メタルモール型
2. 凡例
- ⊙ L : 埋込スイッチ 1P15A x 2
  - ⊙ E : 埋込コンセント 2P15A x 1
  - ⊙ E : 埋込コンセント 2P15A x 2, E+ET付
  - 2EET
  - MM : メタルモール型
  - MC : メタルモールコーナーボックスA型

1階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. E-07 **
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		A2:1/200 A3:1/283		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				電灯・コンセント設備 1階平面図 改修後	原図:A2

改修前

改修後



凡 例		
記号	名称	備考
○	FL40Wx2	撤去
●	1P15Ax1	撤去
⊖	1P15Ax2	撤去
⊖L	1P15Ax1+Lx1	撤去
⊖	2P15Ax1 天井嵌止	撤去

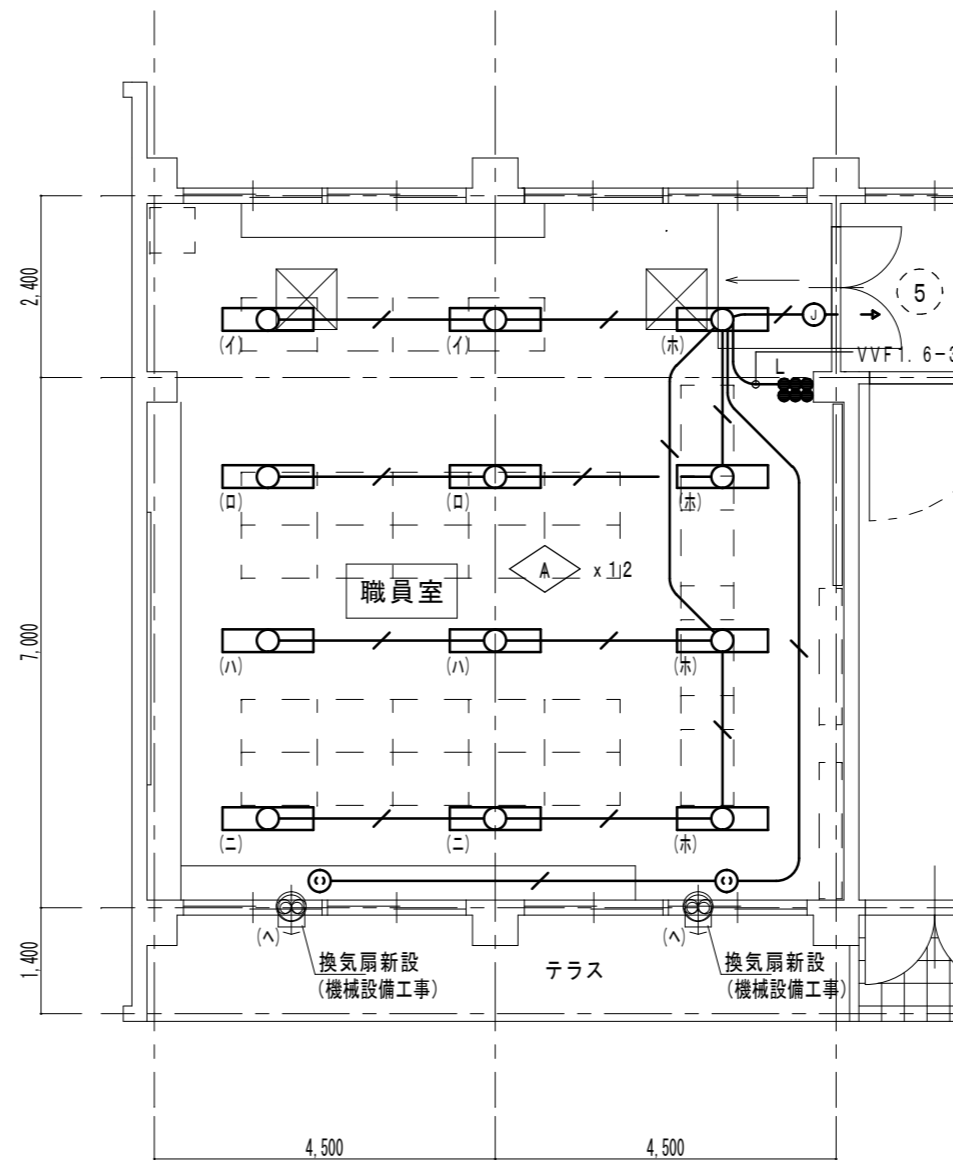
特記事項

1. 図中記入なき配線は下記とする

— / — IV2.0x2(19) 配線のみ撤去

— / — IV1.6x2(19) 配線のみ撤去

電灯設備平面図（改修前） 1/100



凡 例		
記号	名称	備考
⊖L	1P15Ax5+Lx1	新設
⊖	VVF接続用ジョイントボックス	新設
⊖	2P15Ax1 天井嵌止	新設

特記事項

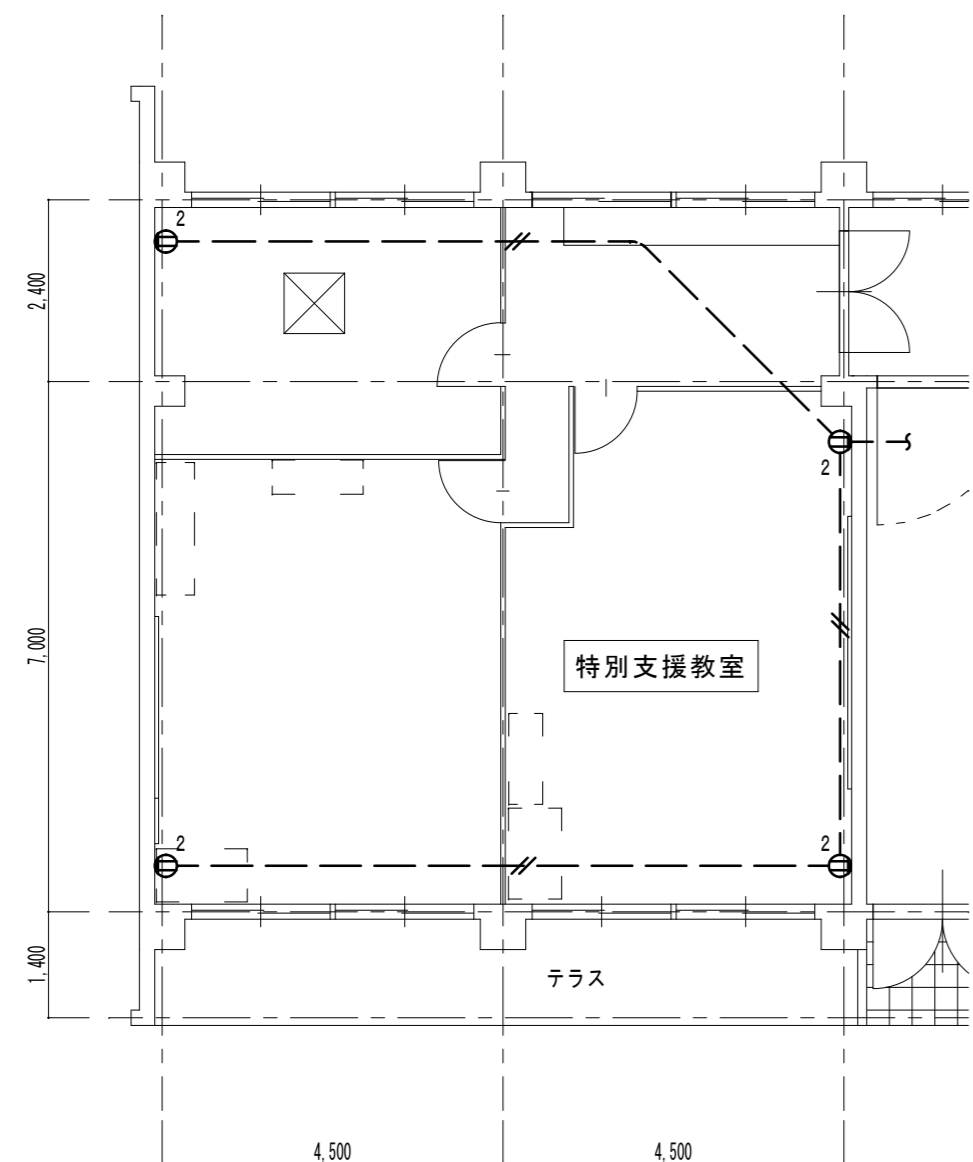
1. 図中記入なき配線は下記とする

— / — VVF1.6-3C(107-ス) 天井転がし

△ A	一体型LEDベースライト 直付型 消費電力43.1W FHF32Wx2 高出力相当
-----	---

LSS9-4-65

電灯設備平面図（改修後） 1/100



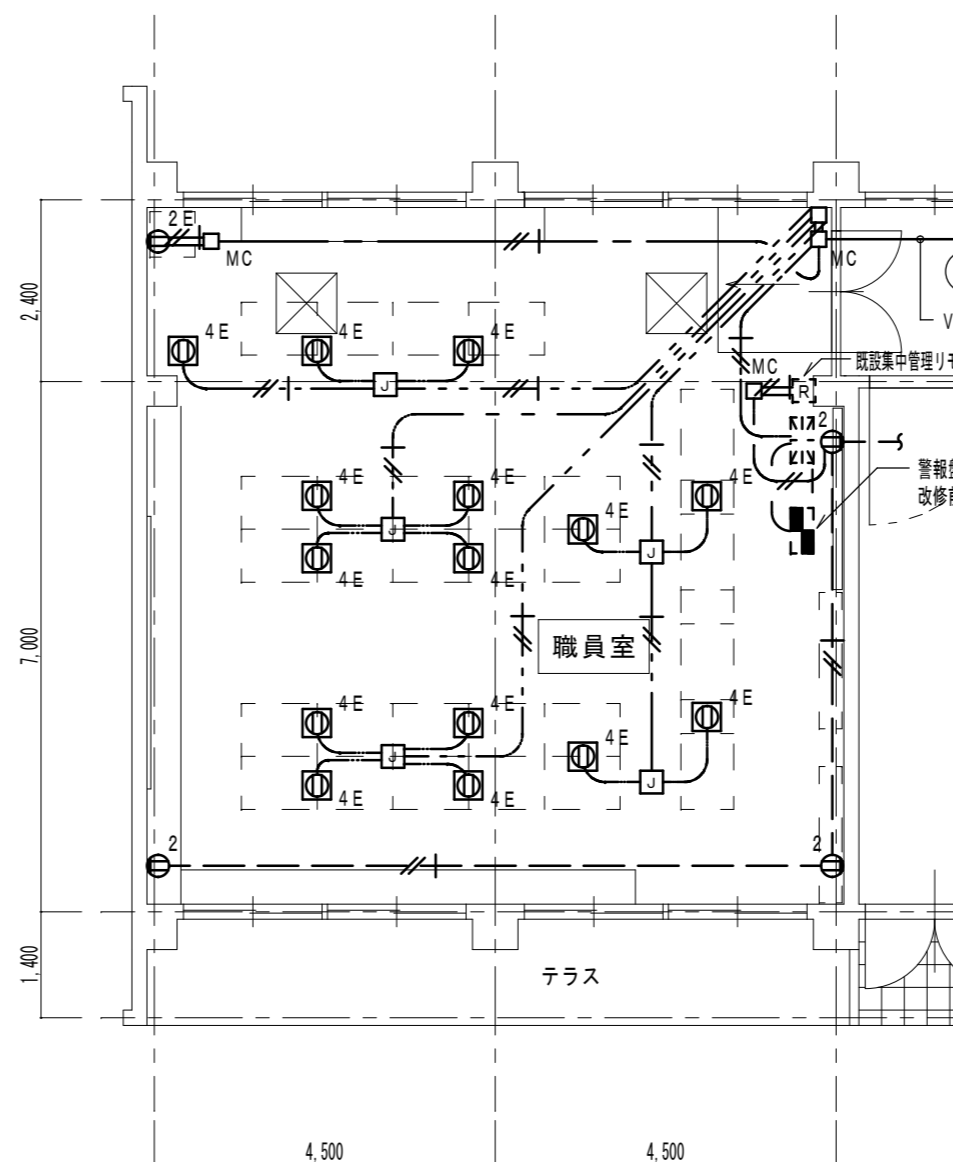
凡 例		
記号	名称	備考
⊖2	2P15Ax2	撤去

特記事項

1. 図中記入なき配線は下記とする

— / — IV2.0x2(19) 配線のみ撤去

コンセント設備平面図（改修前） 1/100



凡 例		
記号	名称	備考
⊖2	2P15Ax2	新設
⊖2E	2P15Ax2, E付	新設
⊖4E	2P15Ax4, E付, リード3m	新設
⊖	ハーネスジョイントボックス 4分岐	新設
□ MC	メタルモールコーナーボックス	新設

特記事項

1. 図中記入なき配線は下記とする

— / — VVF2.0-3C(107-ス) 天井転がし

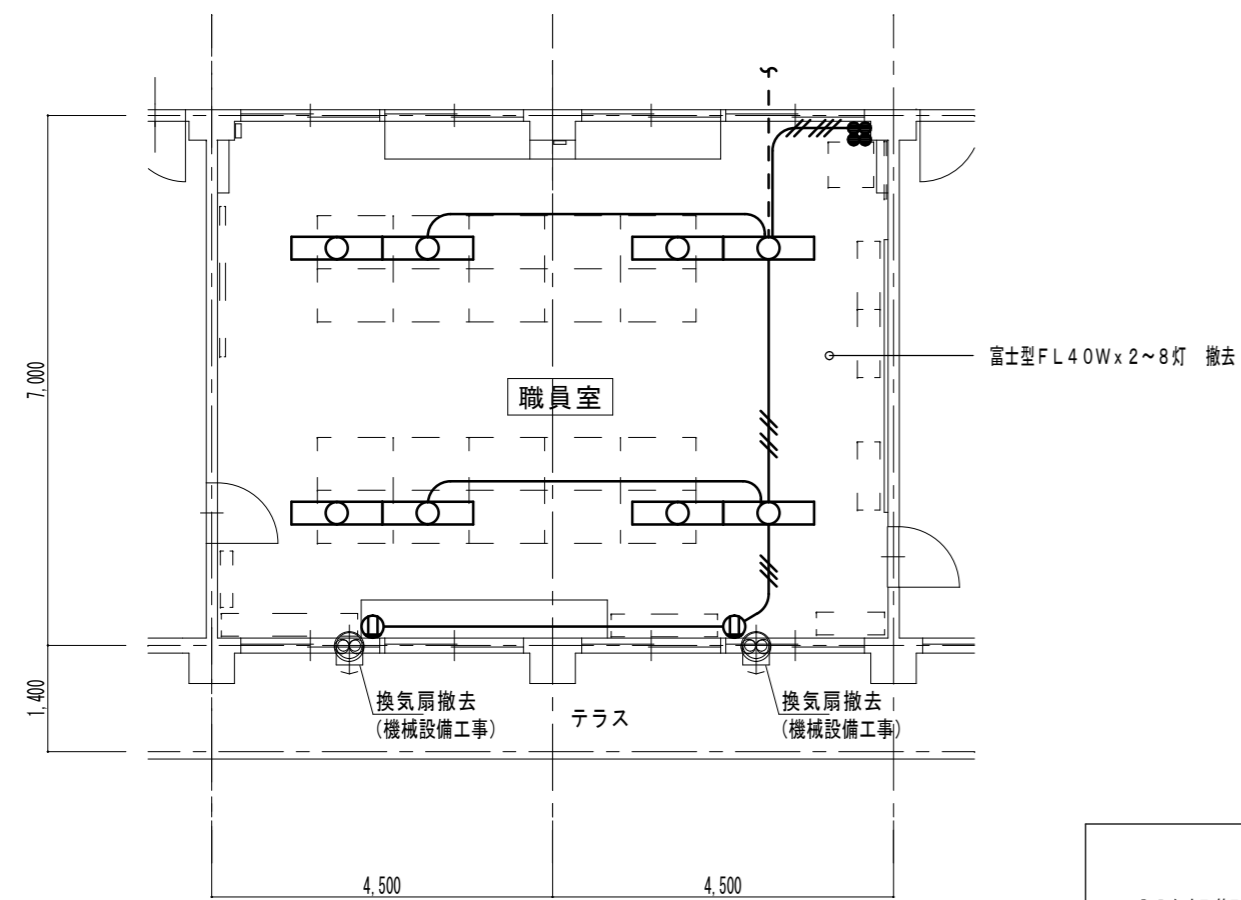
— / — IV2.0x2, E2.0 配線更新 既設配管(19)に入線

— / — VVF2.0-3C(107-ス) 床転がし

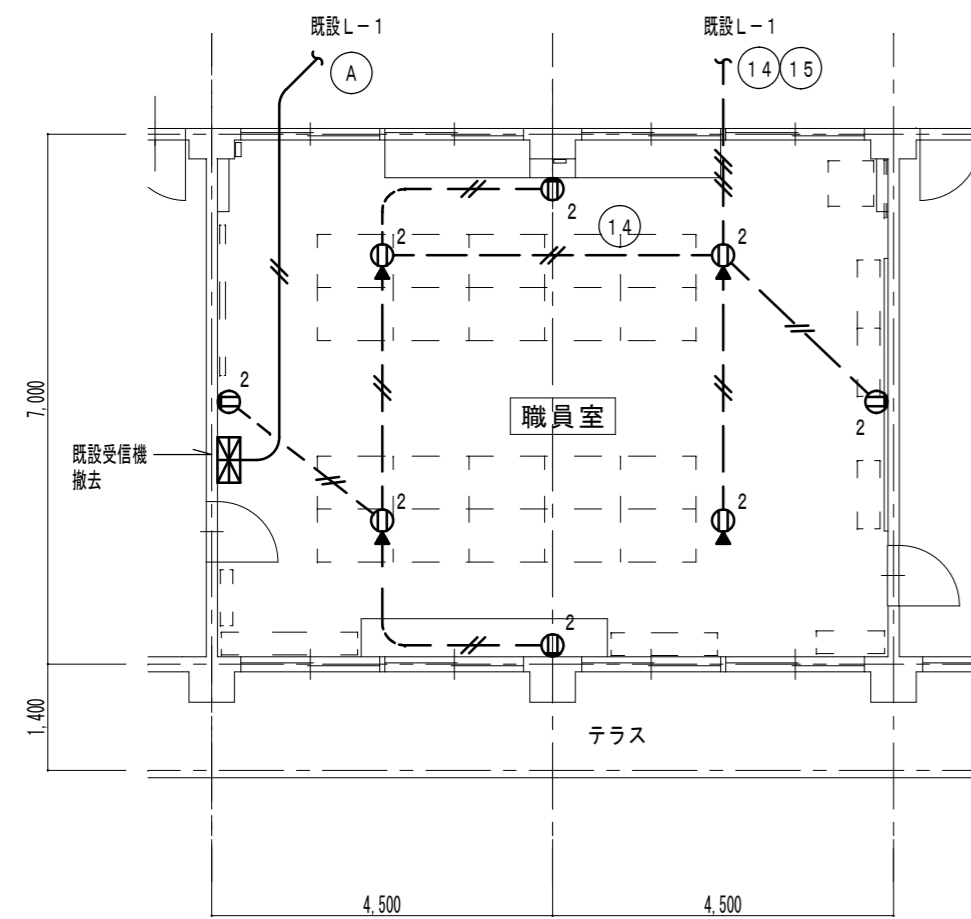
— / — VVF2.0-3C(107-ス) MM 露出

コンセント設備平面図（改修後） 1/100

改修前



改修前  
1階平面図 1/100



改修前  
1階平面図 1/100

特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする

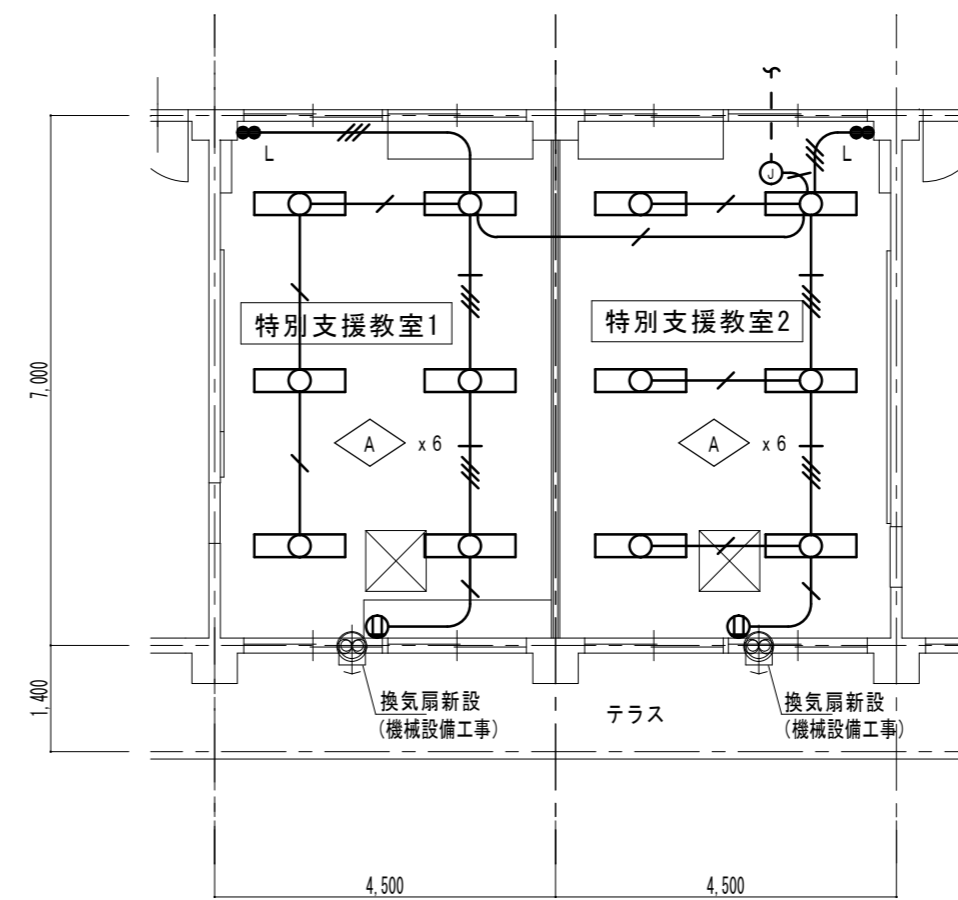
	1.6x2 (19)
	1.6x3 (19)
	1.6x4 (25)
	1.6x5 (25)
	2.0x2 (19)
	2.0x4 (25)

2. 凡例

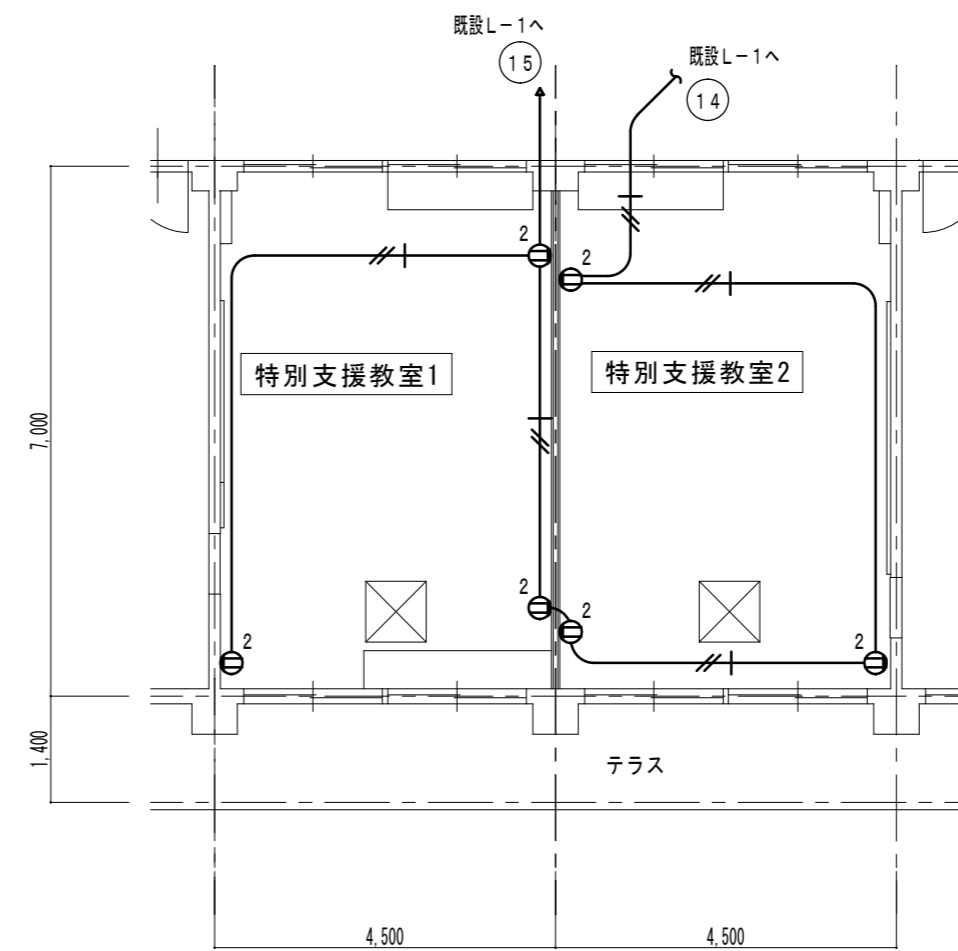
実線は撤去を示す  
実線の配管配線については配線のみ撤去とする  
点線は既存のままを示す

- ⊖ : 埋込コンセント 2P15A x 1
- ⊖ 2 : 埋込コンセント 2P15A x 2
- ⊕ 2 : フロアコンセント 2P15A x 2
- ⊖ : 埋込スイッチ 1P15A x 4

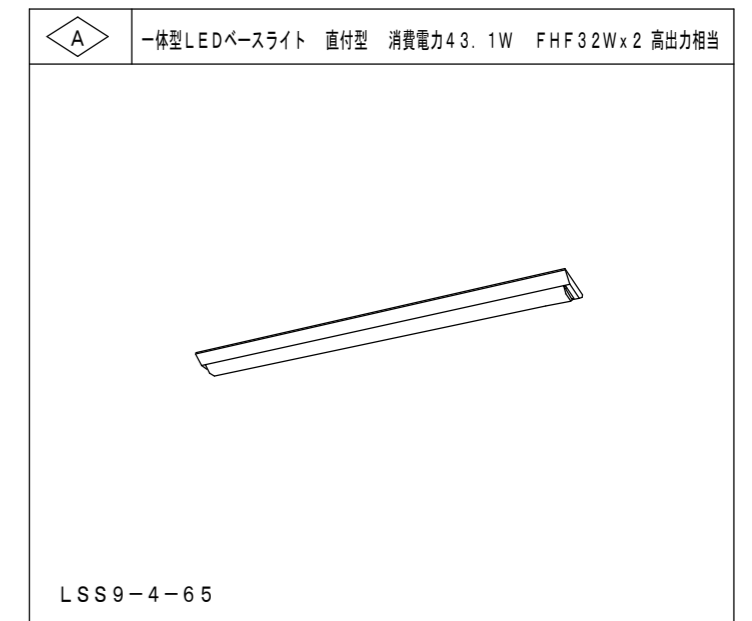
改修後



改修後  
1階平面図 1/100



改修後  
1階平面図 1/100



特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする

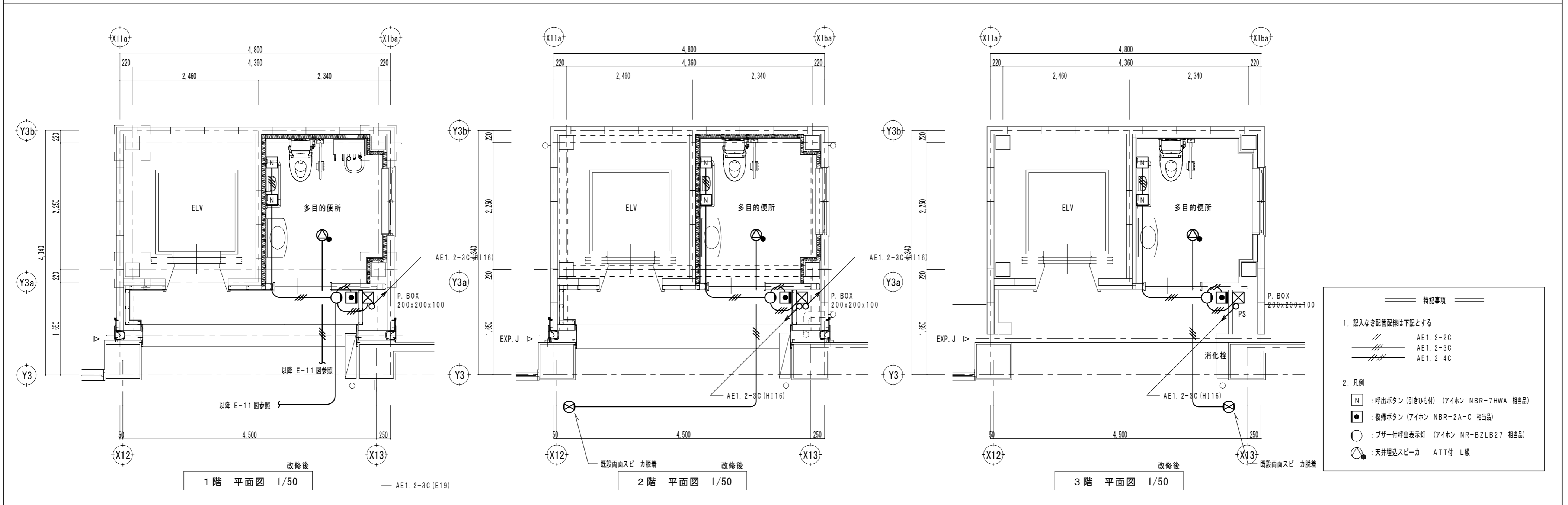
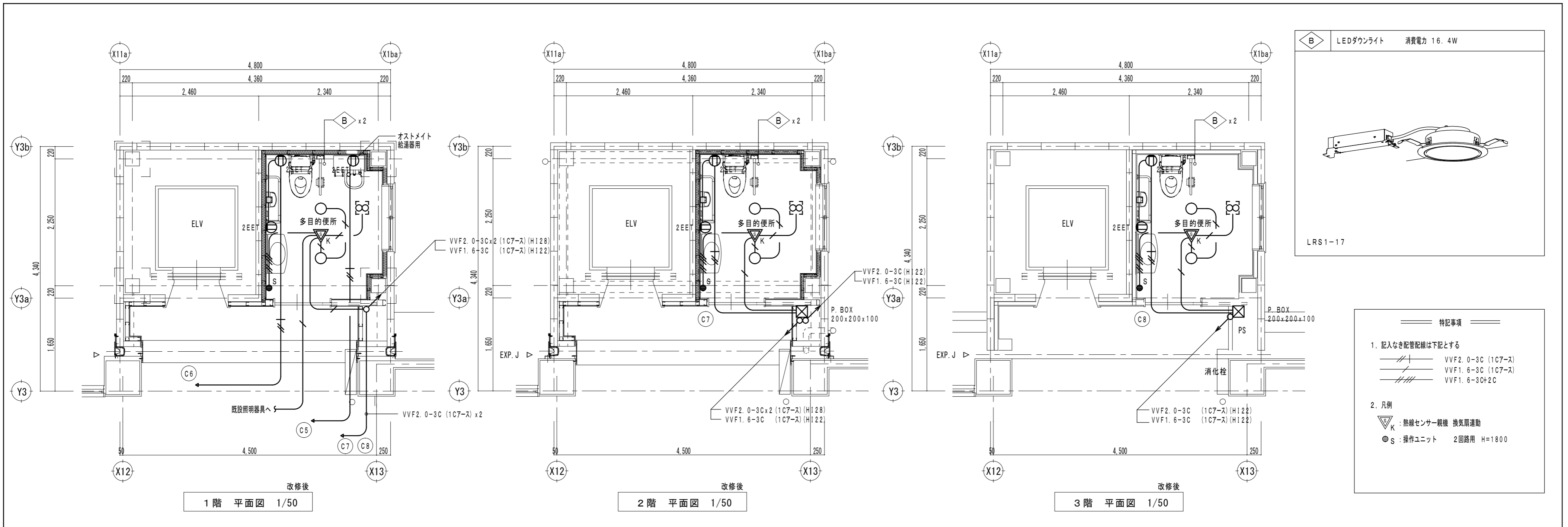
	VVF2.0-3C (107-ス)	天井こがし
	VVF1.6-2C	天井こがし
	VVF1.6-3C (107-ス)	天井こがし
	VVF1.6-2Cx2 (107-ス)	天井こがし
	VVF1.6-3C+2C (107-ス)	天井こがし
	VVF1.6-3Cx2	天井こがし

※壁面立下げはPF管にて保護とする

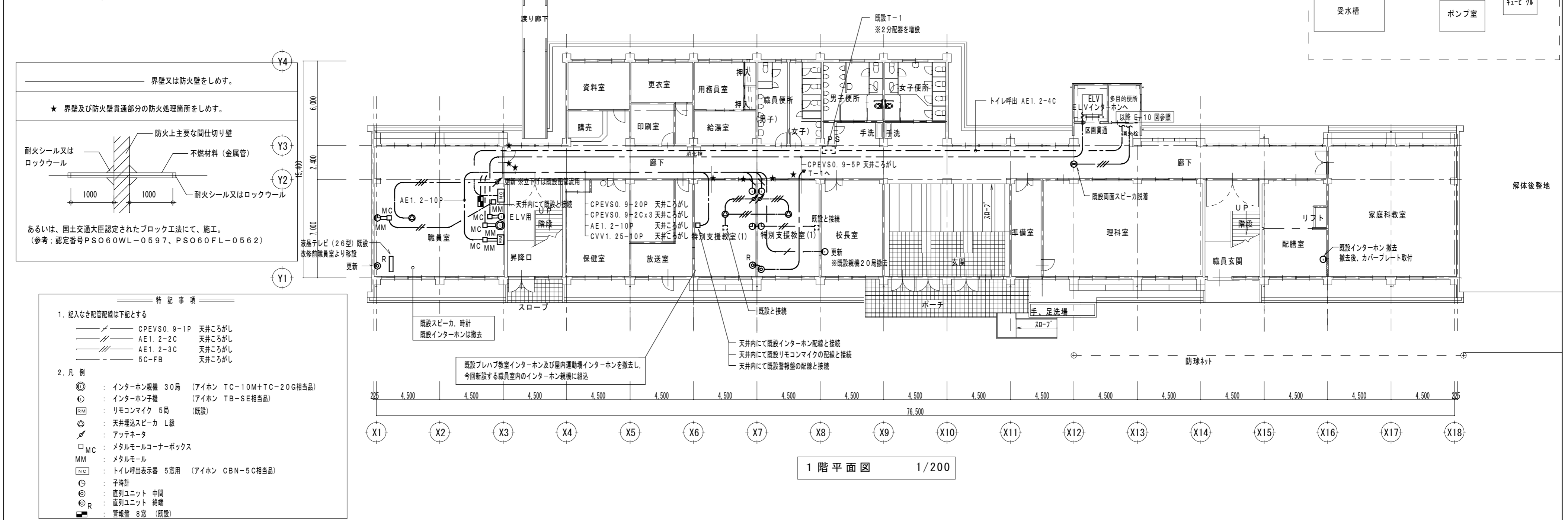
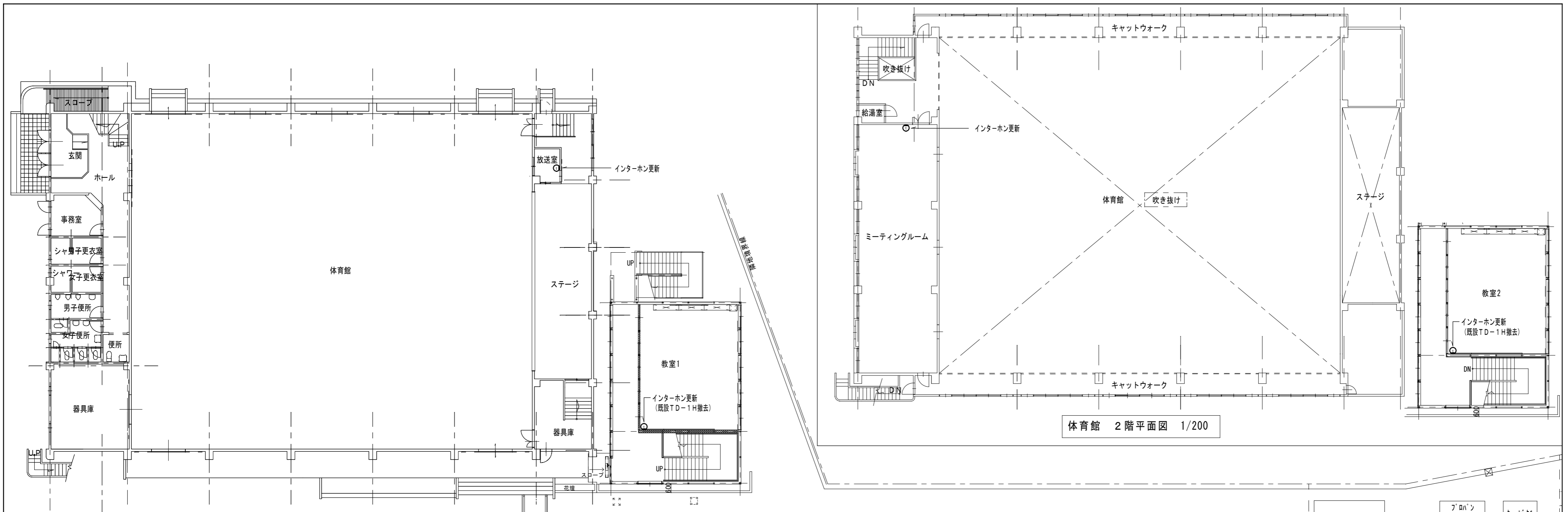
2. 凡例

実線は新設を示す  
点線及びキ印は既存のままを示す

- ⊖ L : 埋込スイッチ 1P15Ax1+Lx1
- ⊖ : 埋込コンセント 2P15Ax1
- ⊖ 2 : 埋込コンセント 2P15Ax2

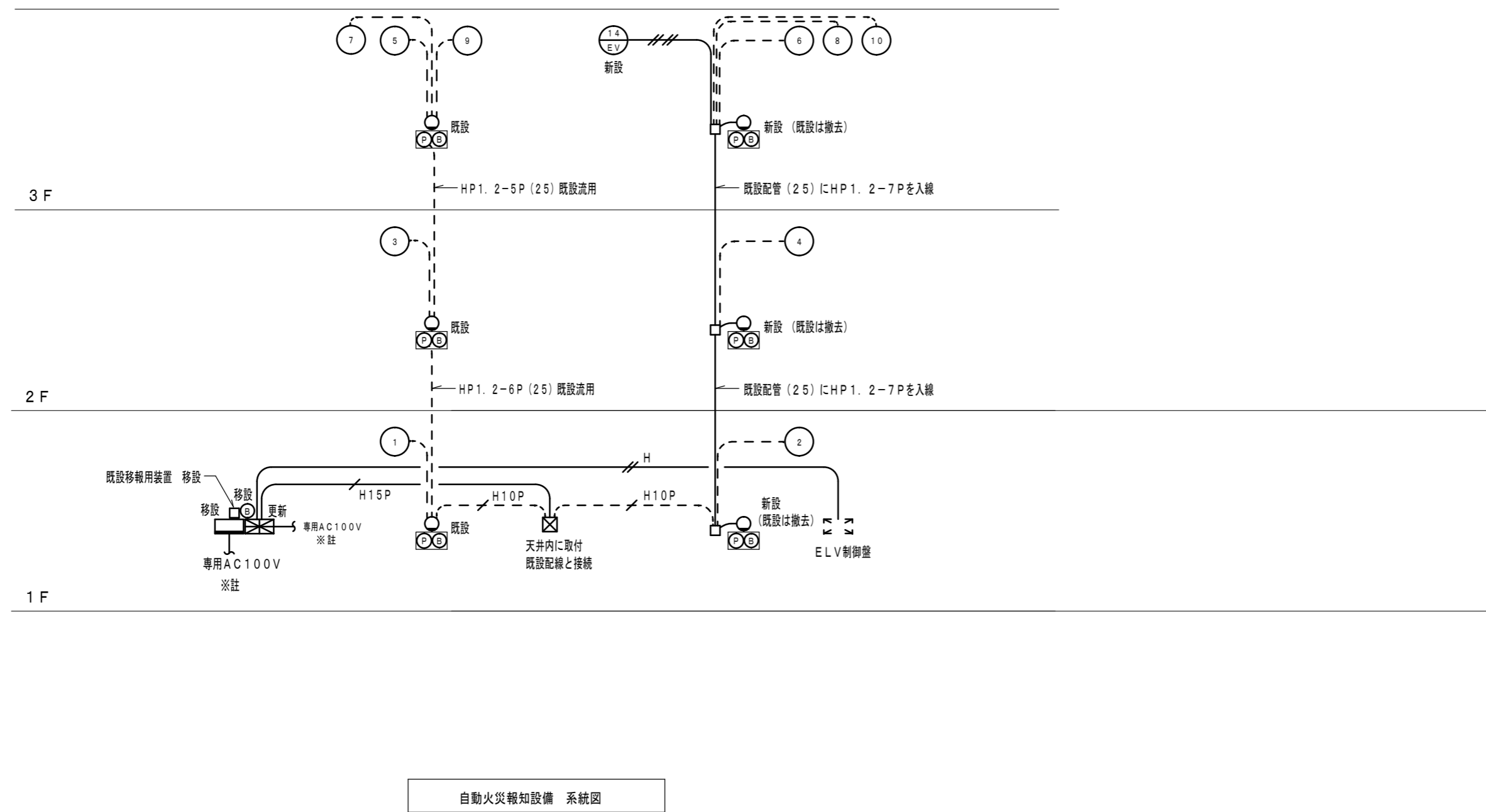


特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 電気設備 E L V 棟 平面詳細図	N0. E-10 ** 原図: A2
				設計	A2:1/50 A3:1/71			



特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 弱電設備 1階平面図 改修後	N0. E-11 ** 原図:A2
				設計	A2:1/200 A3:1/283			





凡 例			
記号	名称	仕様	備考
	受信機	P型1級20L	更新
	機器収納函	② ③ 消火栓BOX組込	
	機器収納函	② ③ 消火栓BOX組込	
	表示灯	AC24V LED	
	発信機	P型1級	
	電鈴	DC24V	
	差動式スポット型熱感知器	2種 露出型	
	定温式スポット型熱感知器	防水 1種 露出型	
	光電式スポット型煙感知器	2種 露出型	
	光電式スポット型煙感知器	2種 露出型	点検ボックス付
	火災通報機	119用	
	専用電話機		
	警戒区域番号		
	警戒区域境界線		
	電路		

(注記事項)

1、記入なき配管配線は、下記とする。

- HP1.2-4C
- H5P HP1.2-5P
- H10P HP1.2-10P
- H15P HP1.2-15P

壁面は配管にて保護とする。

2、防火壁貫通部分には防火処理を施すこと。(平面図参照)

3、※註：電灯盤の主幹ブレーカ1次側より専用回路にて電源供給とする

4、受信機仕様

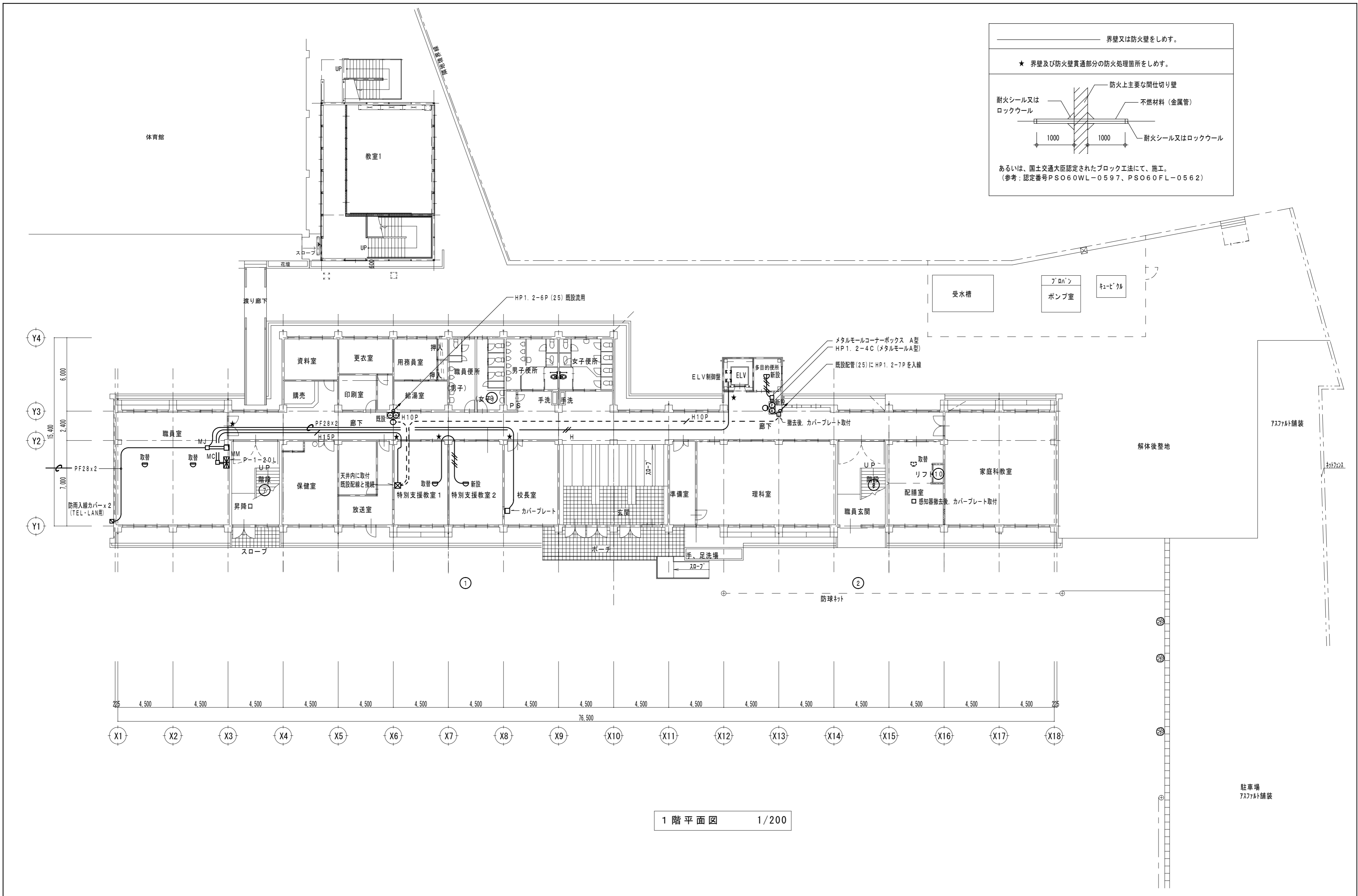
- 1) P型1級、壁掛型、窓式、主音響内蔵、蓄積式  
予備電源内蔵、自動断線警報機能付

2) 表示内訳

- ・火災表示 14L □ = 20L
- ・防火戸 6L

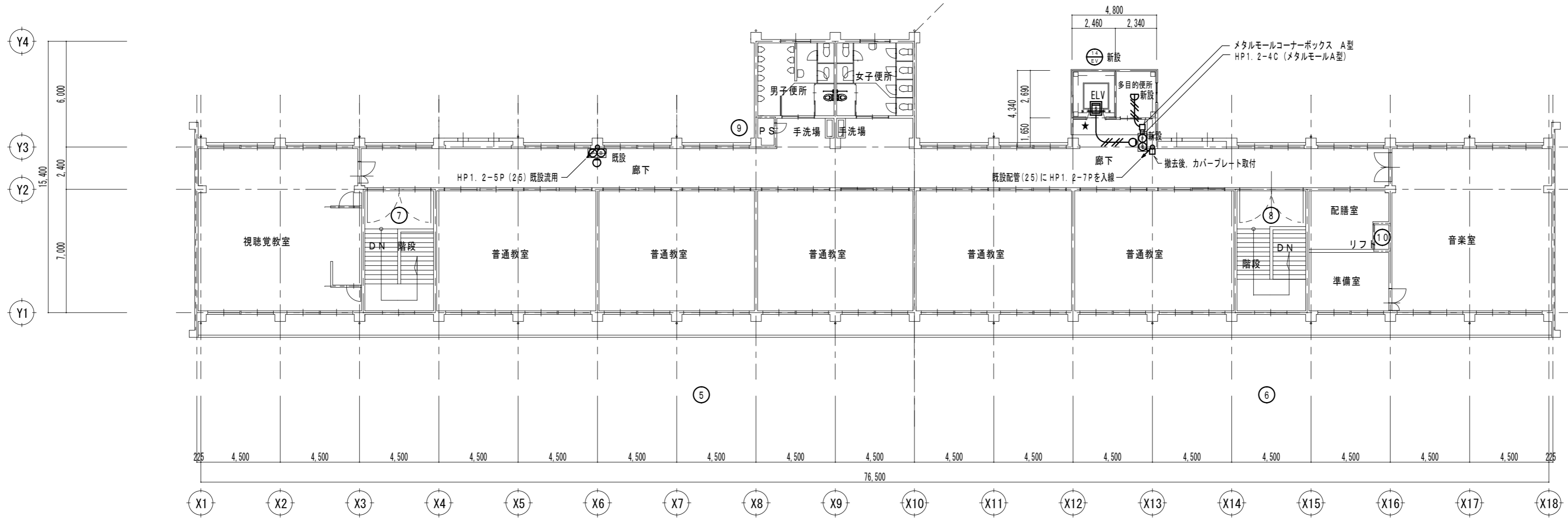
2) 移報内訳

- ・エレベータ制御盤へ火災代表信号移報 (無電圧, a接点, 1L)

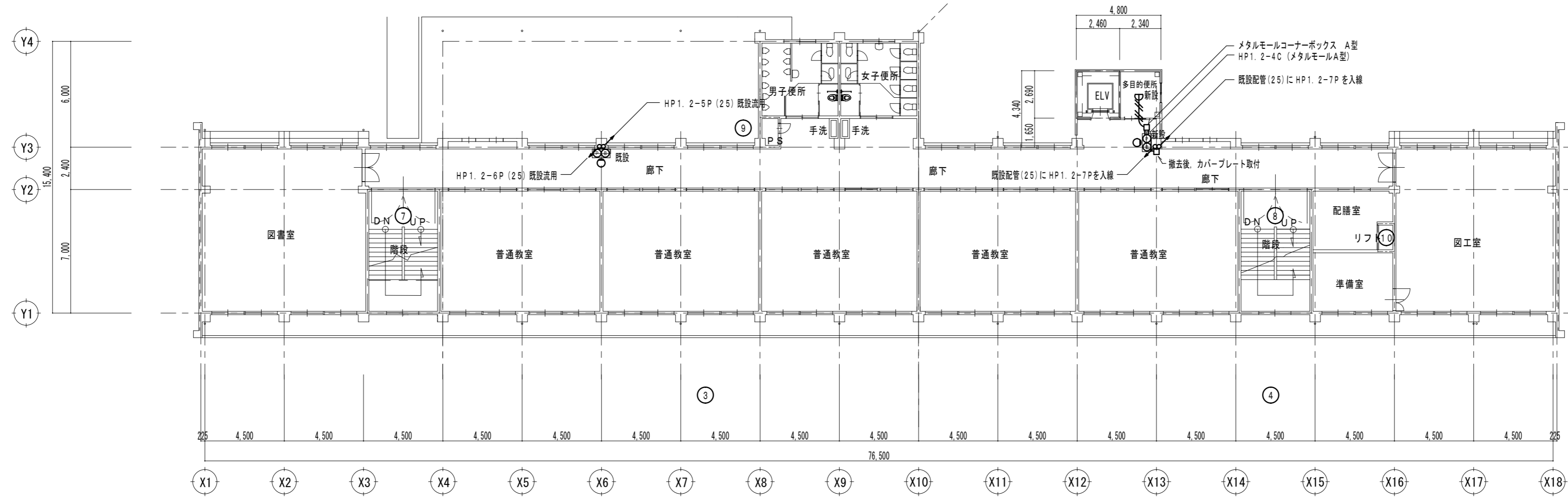


1階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 自動火災報知設備 1階平面図 改修後	N0. E-13 ** 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				A2:1/200 A3:1/283		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



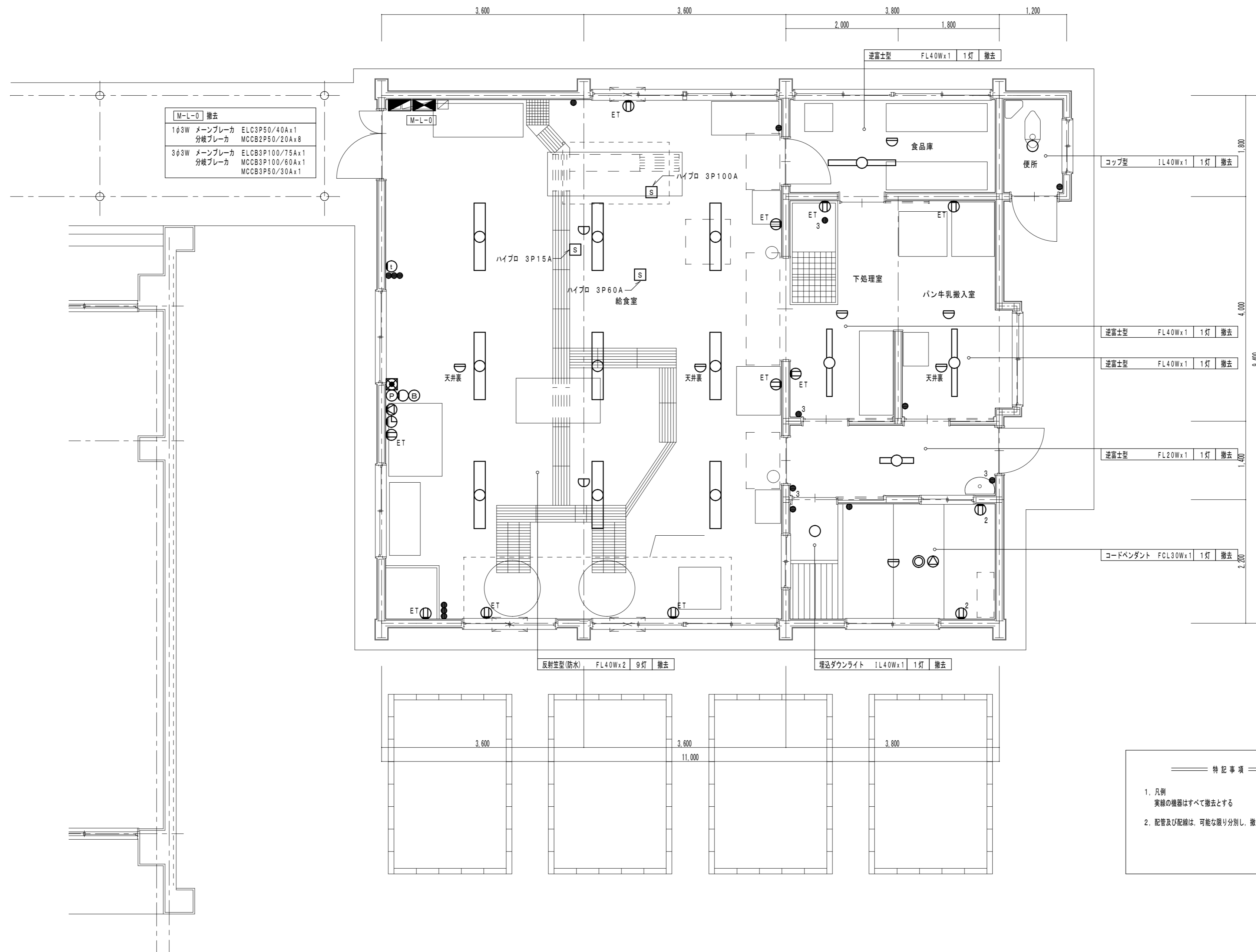
3階平面図 1/200



2階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 自動火災報知設備 2階・3階平面図 改修後	N0. E-14 ** 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				A2:1/200 A3:1/283		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					





特記事項

- 凡例  
実際の機器はすべて撤去とする
- 配管及び配線は、可能な限り分別し、撤去とする

参考

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 電気設備 1階平面図 給食棟解体	N0. E-16 ** 原図:A2
				設計	A2:1/50 A3:1/71			



※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	-	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	-	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鋳鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鋳鉄管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。  
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下  
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付Z18以上
  - ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- アングルフランジ工法
  - 共板フランジ工法
  - スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- 山形鋼 JIS G 3101
  - SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- スパイラルダクト
  - 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
- 給水管  排水管  給湯管  温水管  蒸気管  冷水・冷温水管  冷媒管  (屋外等)
- 給湯管  温水管  蒸気管  冷水・冷温水管  冷媒管
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、プランケット (防火区画貫通部等) 1号 JIS A 9504
- 給水管  排水管  給湯管  温水管  蒸気管  冷水・冷温水管  冷媒管  消火管
- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
- 給水管  排水管  冷水・冷温水管  冷水管 (2~4℃)  プライン管  (屋外等)
- 給水管  排水管  給湯管  冷水・冷温水管  プライン管  消火管
- 合成樹脂調合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種 (露出)
- 給水管  排水管  通気管  ドレン管  ガス管  消火管  油管  冷却水管
- ダクト (垂鉛鉄板製) □ ダクト (鋼板製)
- さび止めベイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めベイント) 2種 (露出)
- 蒸気管 (住)  ダクト (鋼板製)

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯 膨張・温水・消火管	~80A	100~150A	-	200A~	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部 (ロックウール)	
75mm	煙導 (ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7mm <sup>2</sup> 5mm <sup>2</sup> 取仕上
天井内・P S内	7mm <sup>2</sup> 5mm <sup>2</sup> 化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ビツト内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7mm <sup>2</sup> 5mm <sup>2</sup>
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビツト内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。  
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。  
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ビツト内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別  
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク					カラー垂鉛鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・還水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ					カラー垂鉛鉄板 (屋内)
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室				アルミガラスクロス化粧保温板
	屋内隠蔽、D S内				アルミガラスクロス粘着テープ
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室				アルミガラスクロス化粧保温板
	屋内隠蔽、多湿箇所				アルミガラスクロス粘着テープ
サブライチャンパー	紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網	
消音チャンパー、エルボ	紙	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道	フランケ	鉄線	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。  
※ 2) 煙道プランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による垂鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S02による防錆処理を施した平ラソ0号で外面補強したものを使用。  
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	合成樹脂調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
2. EA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
3. RA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
4. OA
- 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
- チャンパー内貼施工
- 内貼あり ( mm )  内貼なし  図面による  その他 ( )

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。  
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。  
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。  
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防ま形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持食物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあつてはアンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
  - ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもちたせる。
  - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
  - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
  - ・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビツト等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 18) 建設発生土は場外自由処分とすること。

空調機器表(新設)					
記号	形式・名称	仕様		台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力：7.1(3.2~8.0)Kw	暖房能力：8.0(3.8~9.5)Kw	2	防振ゴム ワイヤレスリモコン
	天吊型	3相200v	冷房定格消費電力：2.10kW 暖房定格消費電力：2.25kW		
ACP-2	パッケージエアコン	冷房能力：7.1(3.2~8.0)Kw	暖房能力：8.0(3.8~9.5)Kw	1	防振ゴム ワイヤードリモコン
	天吊型	3相200v	冷房定格消費電力：2.10kW 暖房定格消費電力：2.25kW		
ACP-3	パッケージエアコン	冷房能力：20.0(10.1~22.4)Kw	暖房能力：22.4(10.1~28.0)Kw	1	防振ゴム ワイヤードリモコン
	天吊型 同時ツイン	3相200v	冷房定格消費電力：6.81kW 暖房定格消費電力：6.15kW		
集中管理リモコン		ON/OFFリモコン		1	転倒防止金物
特記事項：運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値、インバーター能力は参考とする。					
空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。					
室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。					
リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。					
機器は同等品以上とする。機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。					

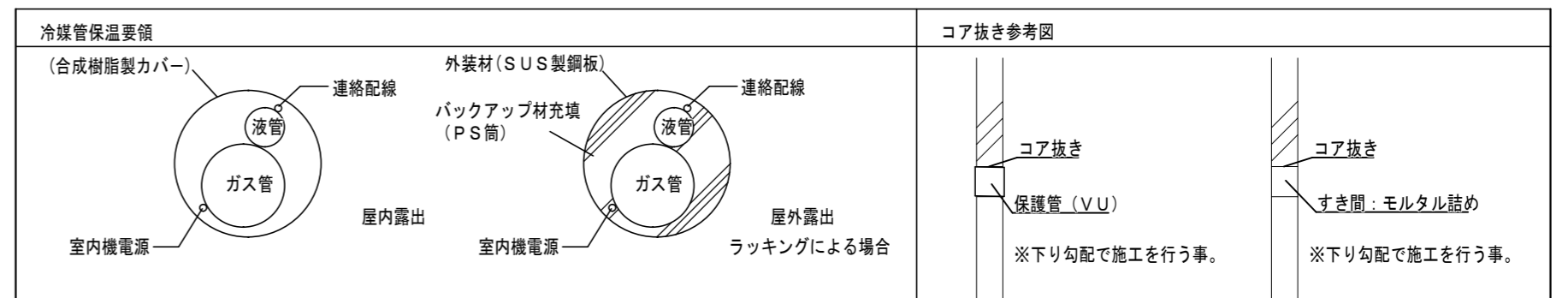
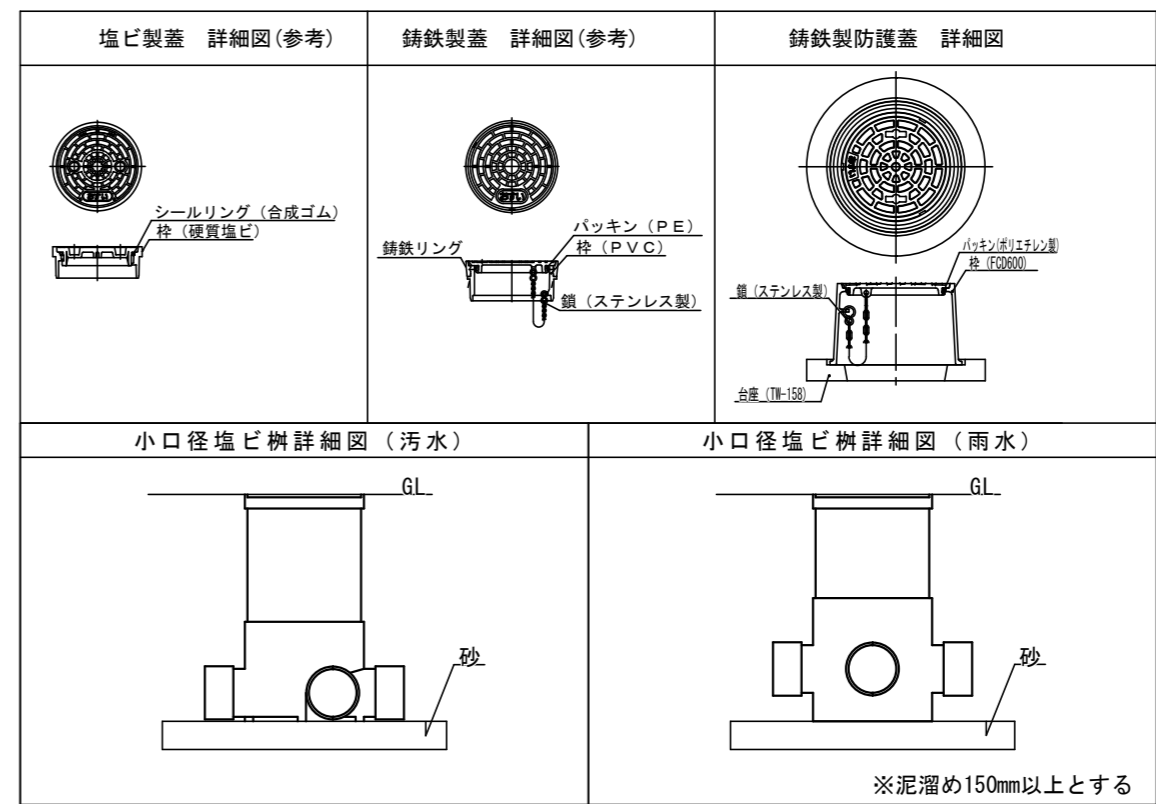
換気機器仕様								
記号	形式	風量 CMH	機外静圧 Pa	電源	消費電力 kw	備考	参考型番	数量
VF-1	天井扇 (低騒音)φ150	150	60	単相100V	0.0235	天吊金具 SUS製フード(ガラリ付)	VD-17ZSC10	3
EF-1	壁付扇 (窓枠付)φ250 24H運転対応	600 200(24H)		単相100V	0.0235	SUS製ウェッジ-カバー コントロールスイッチ 防鳥網 化粧枠アタッチメント	EX-25SC3	5
特記事項 1、消費電力は参考値とする。								

建築基準法に基づく24時間換気										
学校										
階	部屋名	室面積 m2	天井高 (又は平均高さ) m	気積 m3	エリア計 m3	換気回数 回/h	必要換気量 m3/h	設計換気量 m3/h	機器記号 (機器表参照)	備考
1	職員室	84.6	3.05	258.1	258.1	0.3	78	400	EF-1×2台	
	特別支援教室A	31.5	3.05	96.1	96.1	0.3	29	200	EF-1	
	特別支援教室B	31.5	3.05	96.1	96.1	0.3	29	200	EF-1	

衛生器具表														
名称	仕様・参考型番						E V 棟			管理棟	合計			
	L I X I L						T O T O			1階多目的便所	2階多目的便所	3階多目的便所	配膳室	
洋風便器	BC-P110S、DQ-PA150CH、他一式		CF-63HST(紙巻器)		CFS497B、TCF5840AUPR、他一式		YH702(紙巻器)		1	1	1		3	
L型手すり	KF-920AE70D12、他一式						T1120L11、他一式		1	1	1		3	
跳ね上げ手すり	KF-481EHP70、他一式						T112HP7、他一式		1	1	1		3	
背もたれ	KFC-275T1U、他一式						EWC283CR、他一式		1	1	1		3	
埋込手洗器	LSE570APR、他一式						LSE570APR、他一式		1	1	1		3	
カウンター一体形壁掛洗面器	L270C、TEN77G1(自動水栓・単水栓 AC100V-0.6W)、T7PW1、TL220D						L-275FCR、AM-211V1(自動水栓・単水栓 AC100V-0.6W)、LF-275PAU、SF-10E、KF-30DN		1	1	1		3	
化粧鏡	YM4510FAC(450×1000:ア形)						KF-W450H1000AH(450×1000:ア形)		1	1	1		3	
コックストリートバット	PTOM-A210TRW、他一式 電気温水器、水石融入、停電時洗浄レバー						UAS81RSB1W#SC1、他一式 電気温水器、水石融入、停電時洗浄レバー		1				1	
混合水栓	SF-WM435SY 壁付シングルレバー						TKS0531J 壁付シングルレバー					1	1	
電気温水器	EHPN-KA12ECV2(飲料・洗い物用)、貯湯量12L、電源AC100V、消費電力1.1kW ワイヤータイマー、自動給排水、開放式ネット、アングル止水栓、他一式						REKB12A12(飲料・洗い物用)、貯湯量12L、電源AC100V、消費電力1.1kW ワイヤータイマー、自動給排水、開放式ネット、アングル止水栓、他一式					1	1	

凡例			
図示記号	名称	図示記号	名称
———	給水管	●	排水金物
——— ———	給湯管	○	床上掃除口
———	排水管	⊗	弁類
-----	通気管	EA	排気ダクト
———g———	ガス管	→ ≡ →	屋外フード(排気)
⊗	水栓金具	⊗	天井換気扇
~~~~~	フレキシブルジョイント	⊗	壁付扇

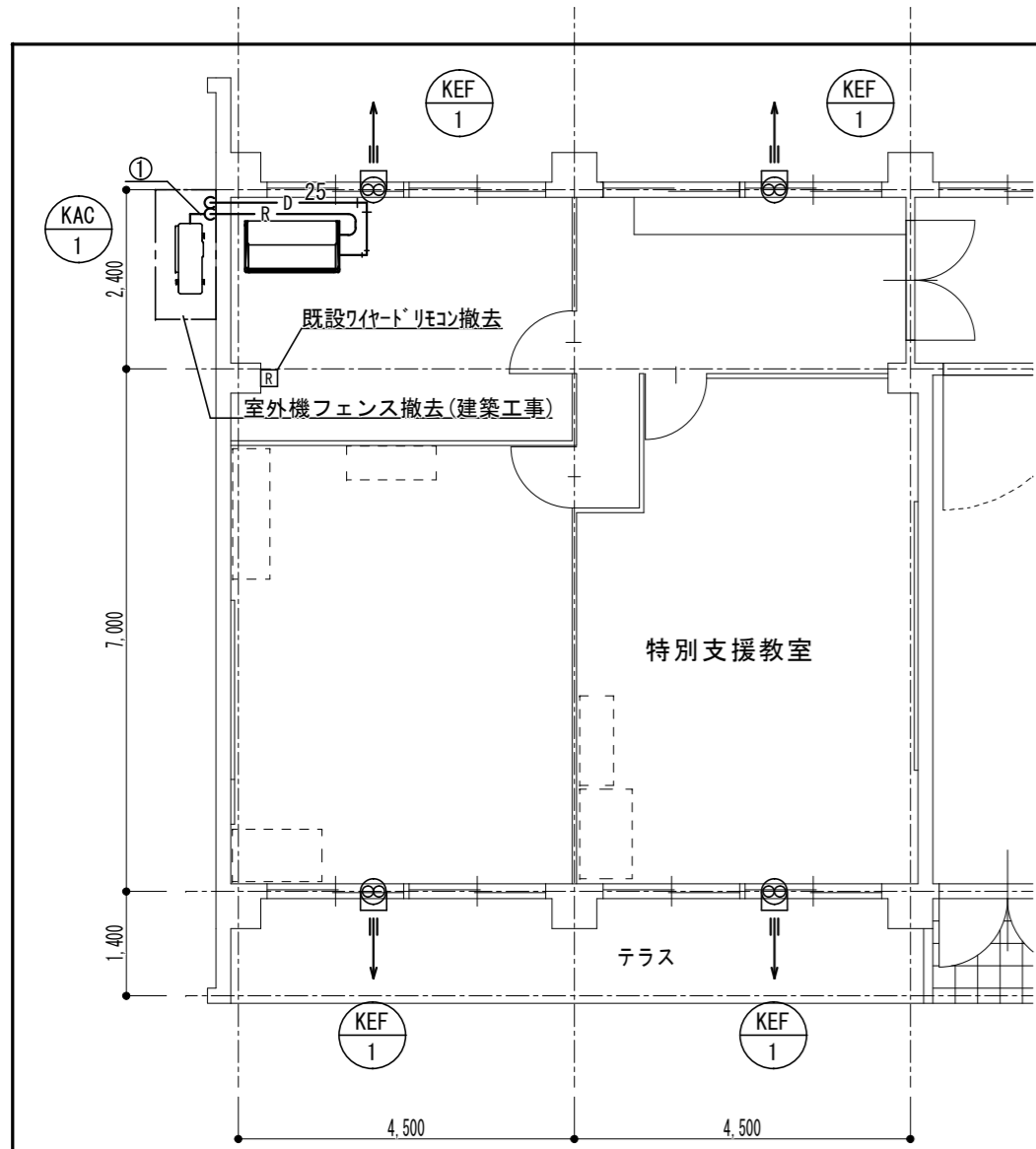
樹リスト ※管底は建築地盤高さを基準とし参考とする。					
記号	名称	寸法	蓋仕様	管底	備考
A	汚水樹	φ200	耐圧	-600	T-8
B	〃	〃	〃	-640	T-8
C	〃	〃	〃	-300	T-8
D	〃	φ300	〃	-750	T-8
E	雨水樹	600×600	RC-3	-1200	
F	〃	φ300	耐圧	-1000	T-8
G	〃	φ300	〃	-1100	T-8



凡例			
図示記号	名称	配管材料	防露塗装仕様
———R———	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋内露出：配管化粧カバー 屋外露出：ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
———D———	ドレン管	保温付VP ※屋外はVPとする	

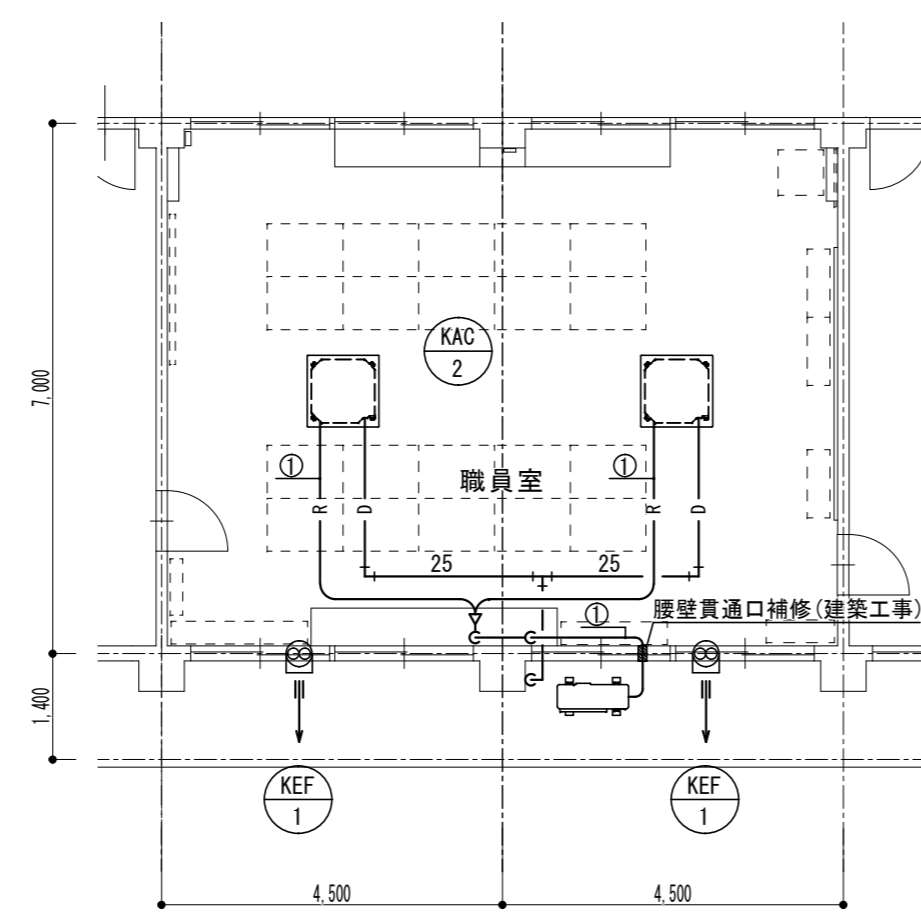
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0.	
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897							M-03
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計					**
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				空調・換気設備機器仕様 衛生器具表	原図:A2	





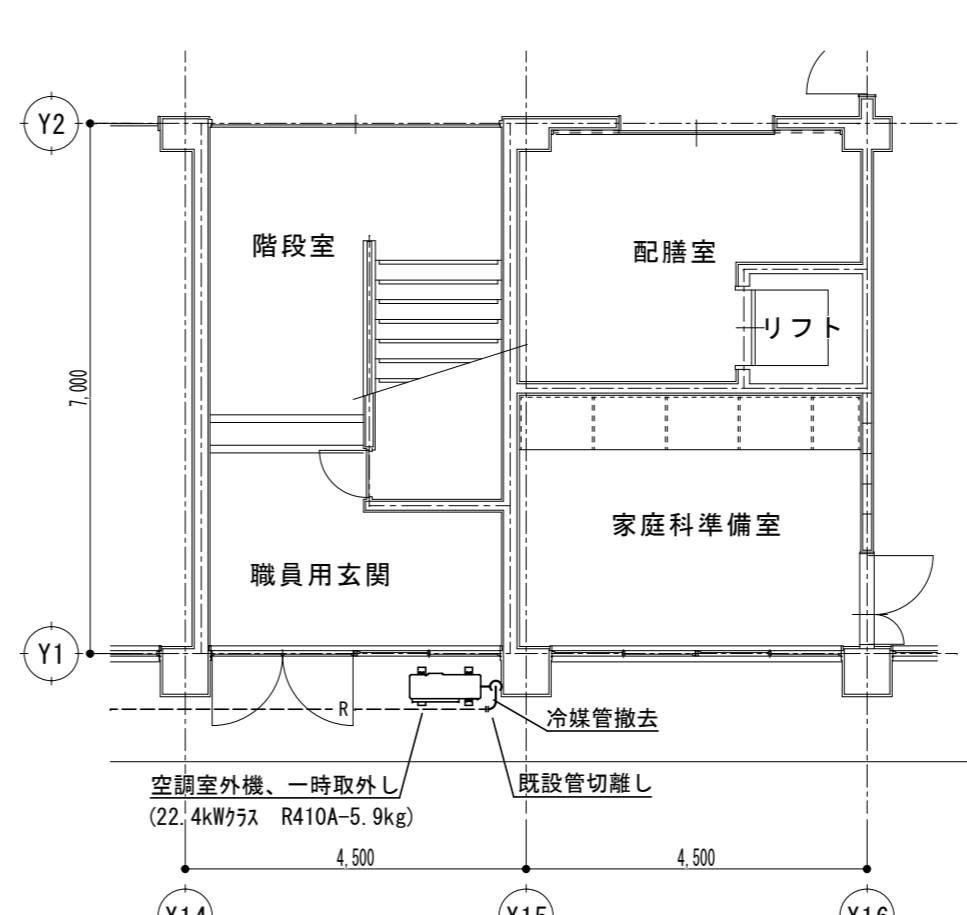
撤去 機器仕様			
記号	名称	仕様	数量
KAC-1	パッケージエアコン	8.0kW 標準ペ7	1
KEF-1	壁付換気扇	φ250 フードとも	4

改修前  
1階 平面図 1/100

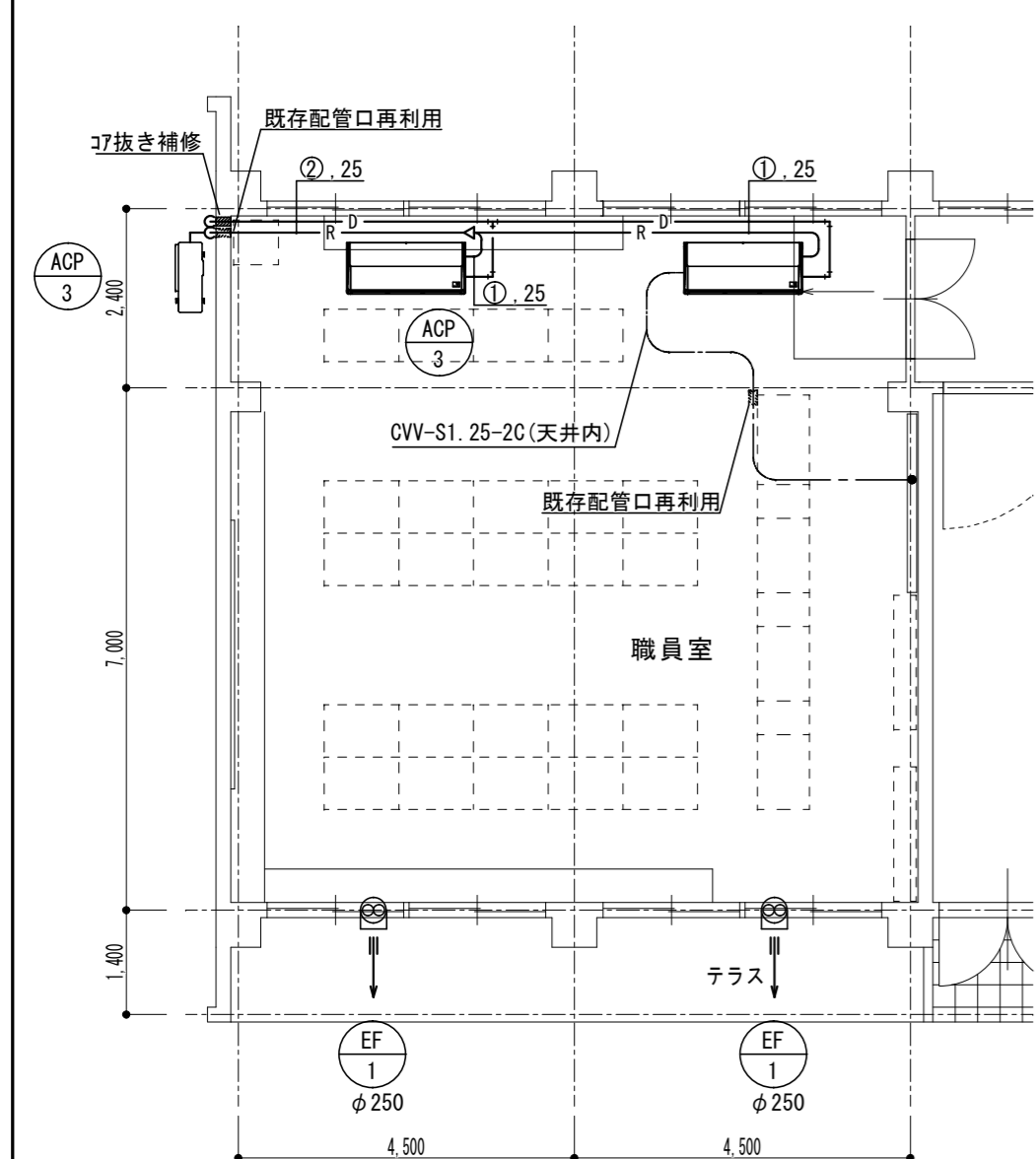


撤去 機器仕様			
記号	名称	仕様	数量
KAC-2	パッケージエアコン	14.0kW 同時タイ	1
KEF-1	壁付換気扇	φ250 フードとも	2

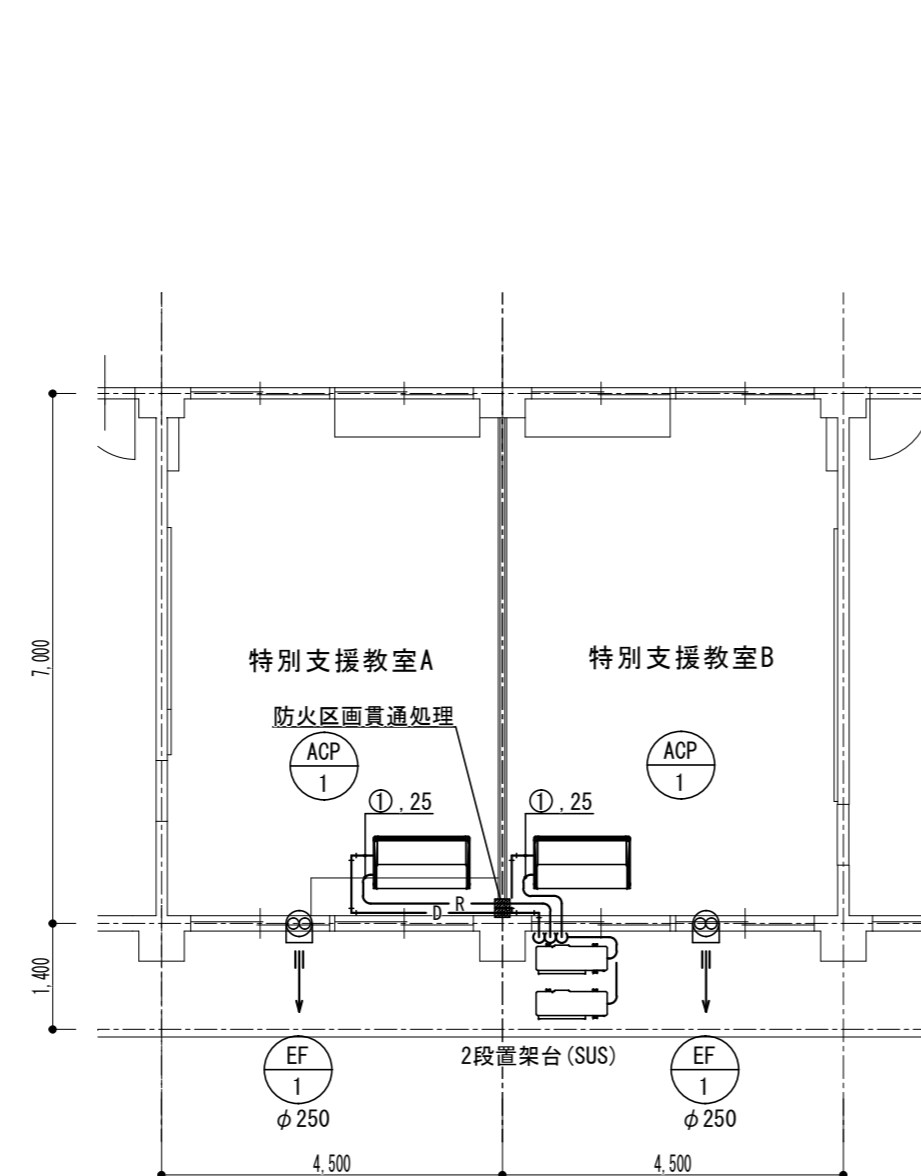
改修前  
1階 平面図 1/100



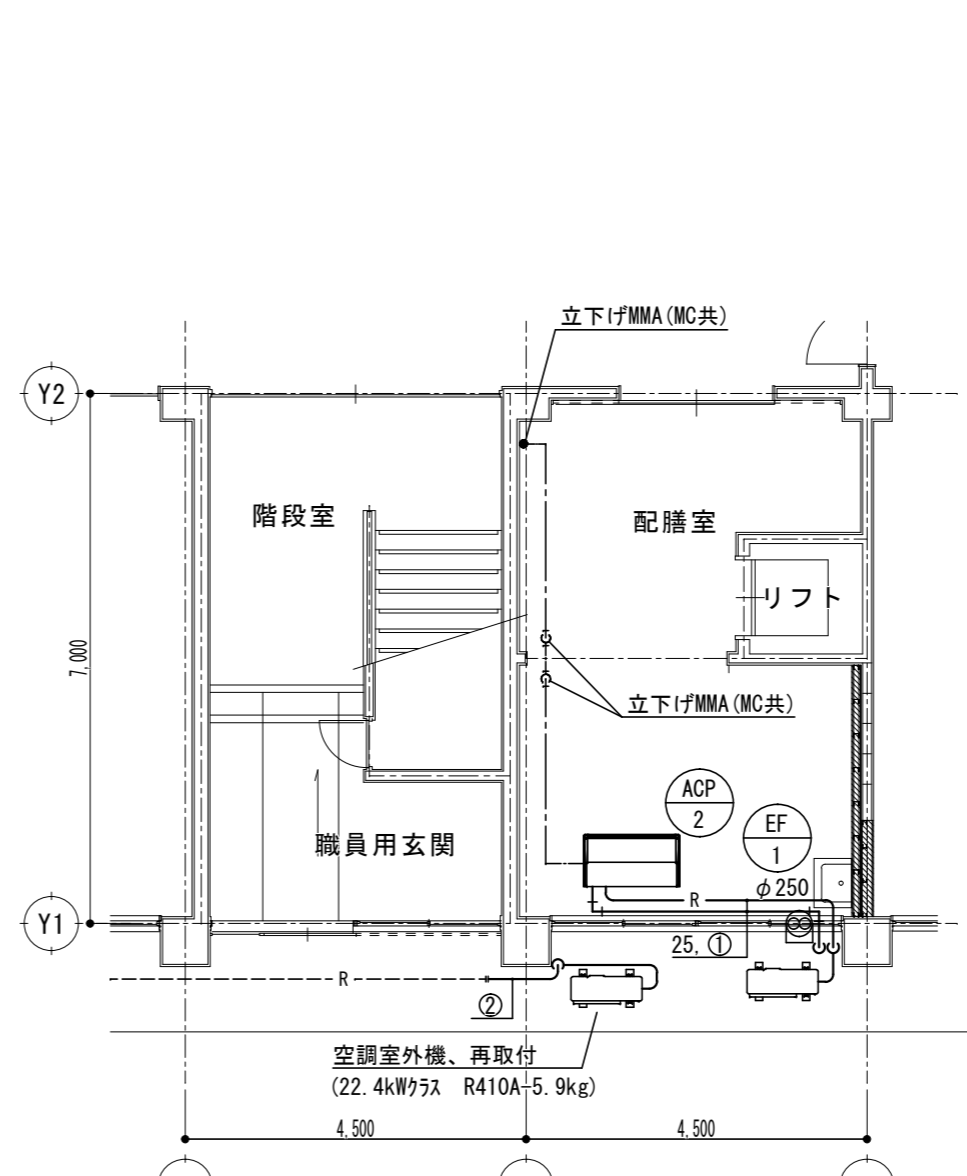
改修前  
1階 平面図 1/100



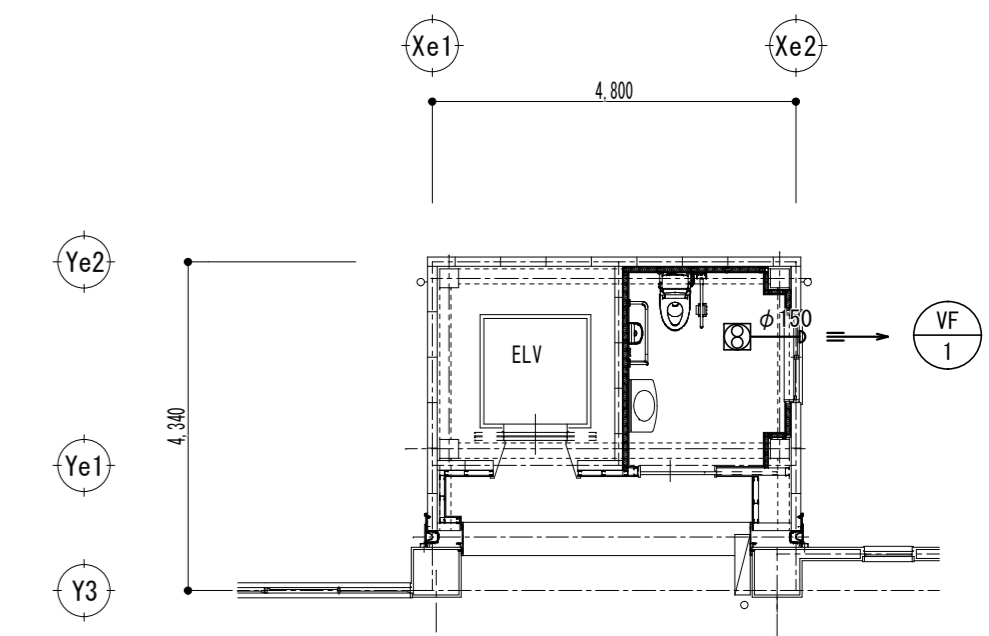
改修後  
1階 平面図 1/100



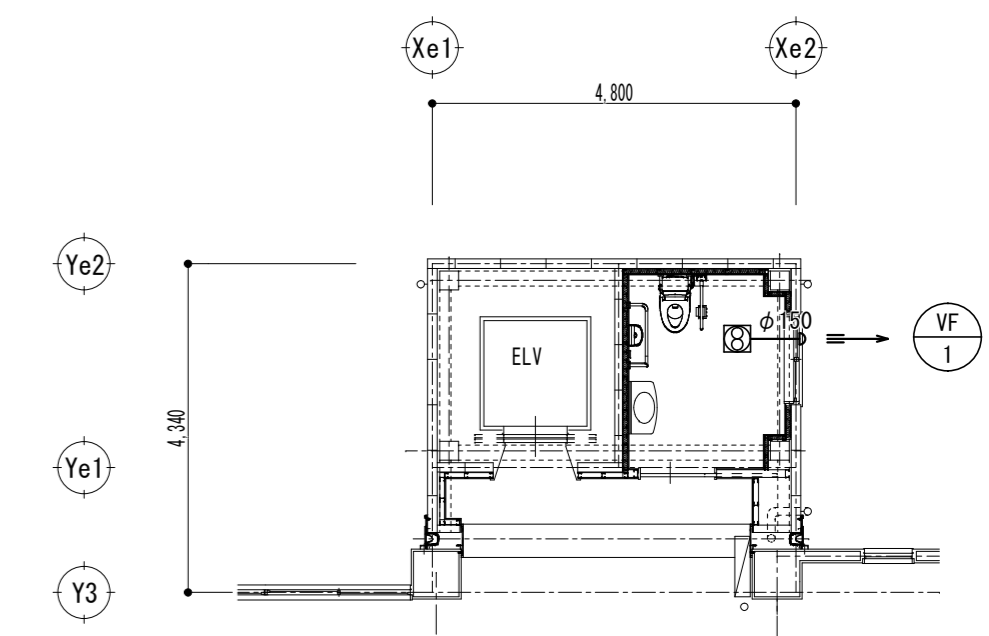
改修後  
1階 平面図 1/100



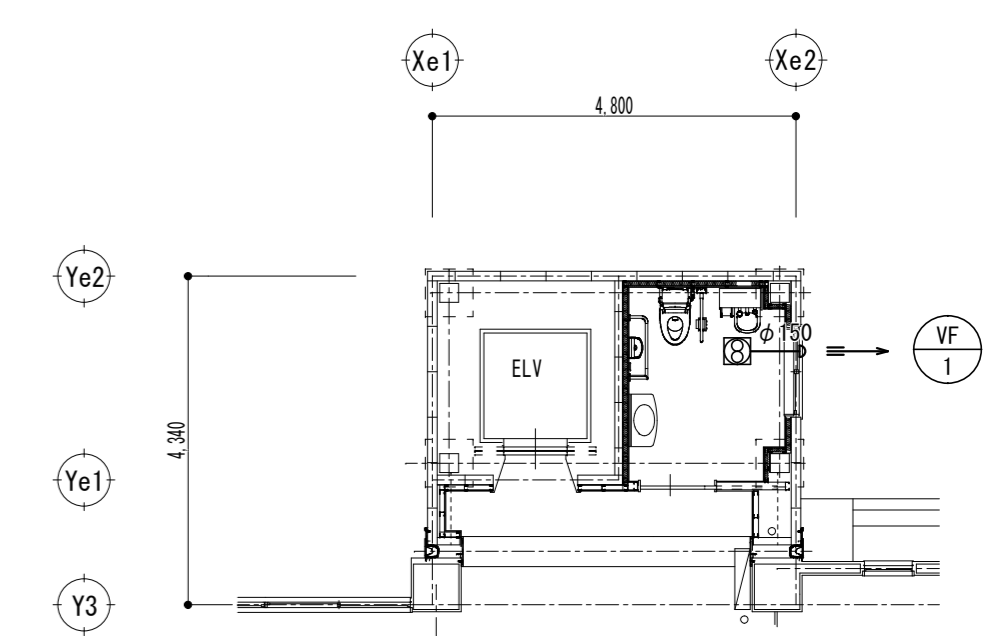
改修後  
1階 平面図 1/100



改修後  
3階 平面図 1/100



改修後  
2階 平面図 1/100



改修後  
1階 平面図 1/100

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
①	φ9.5	φ15.9
②	φ9.5	φ19.1
記号	室内外連絡線	
⑤	VVF 2.0-3C	

※連絡線Sは冷媒管共巻とする。

特記

月: 日

U 建築設計  
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897  
一級建築士事務所 一級建築士第248160号  
登録番号(1)第2118号 内田 貴之

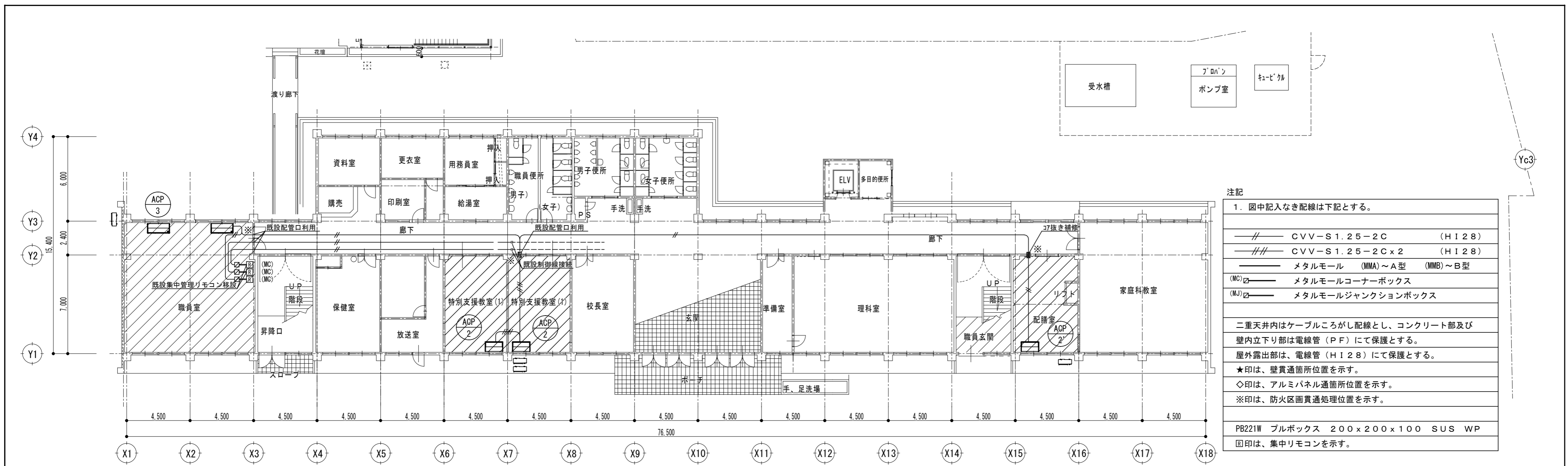
設計番号 年月日 縮尺

設計 1/100

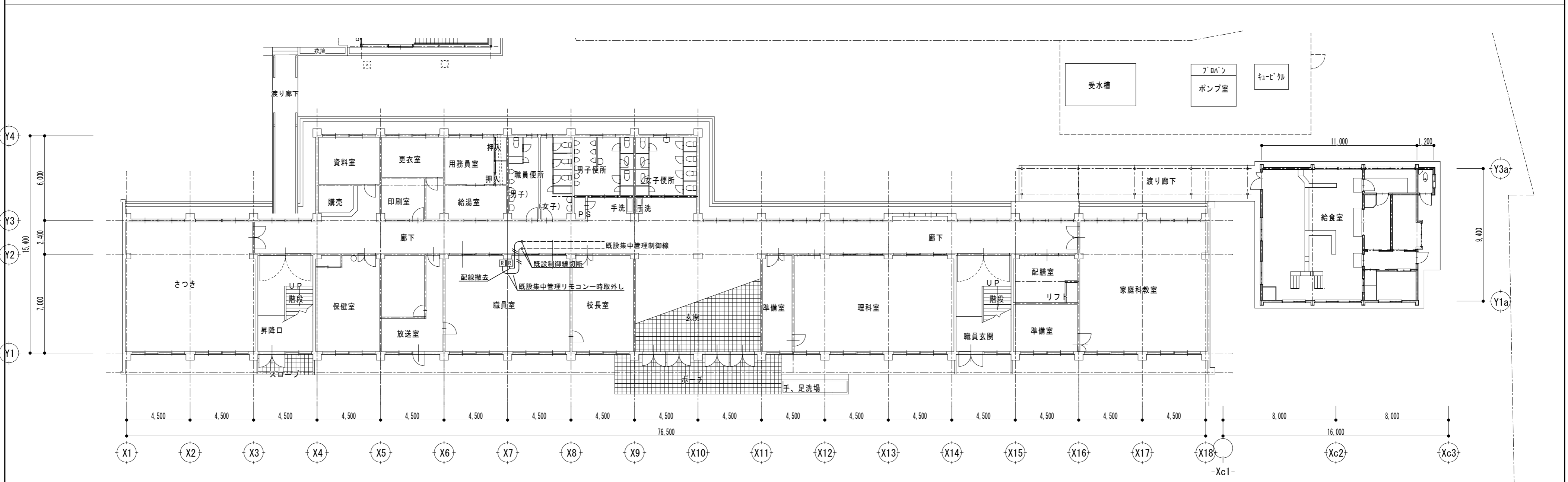
津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事

空調設備 職員室・特別支援教室・E/V棟 平面図

N0. M-04  
\*\* 原図:A2



改修後 平面図 1/200



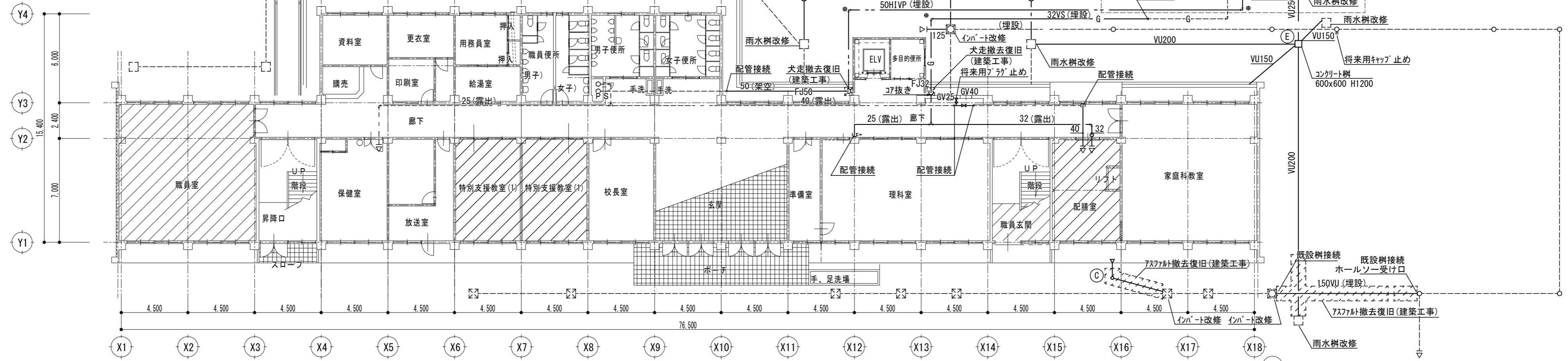
改修前 平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. M-05 **
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	1/100		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					原図:A2

(改修) 配管図示記号	
	新設配管
	現状維持配管(継続使用する)
	既設配管・新設配管接続部分
	既設配管プラグ止め部分

地中埋設表示	
	鉄ピン
	コンクリート杭

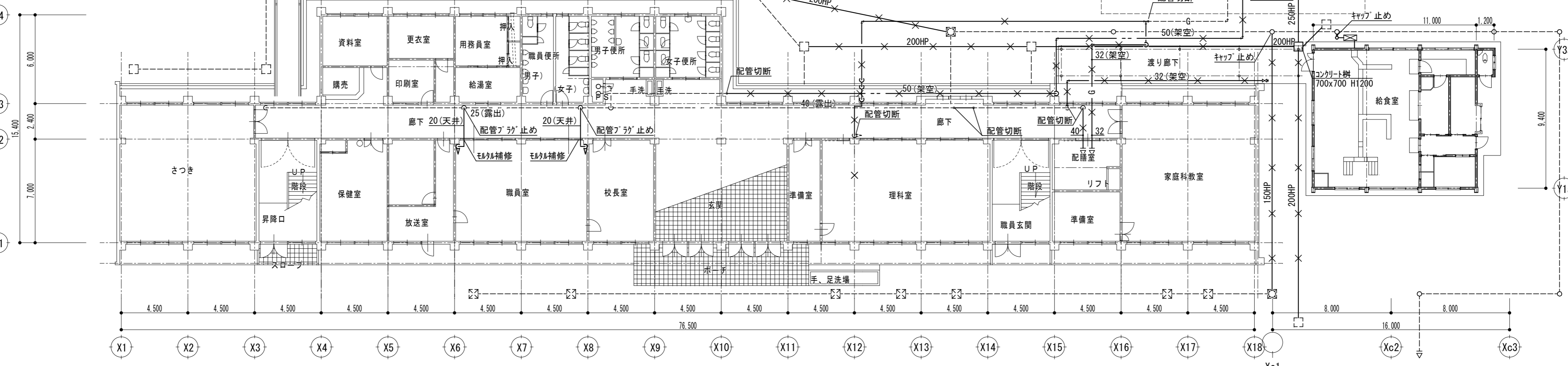
※埋設配管には埋設表示テープを布設すること。



改修後 平面図 1/200

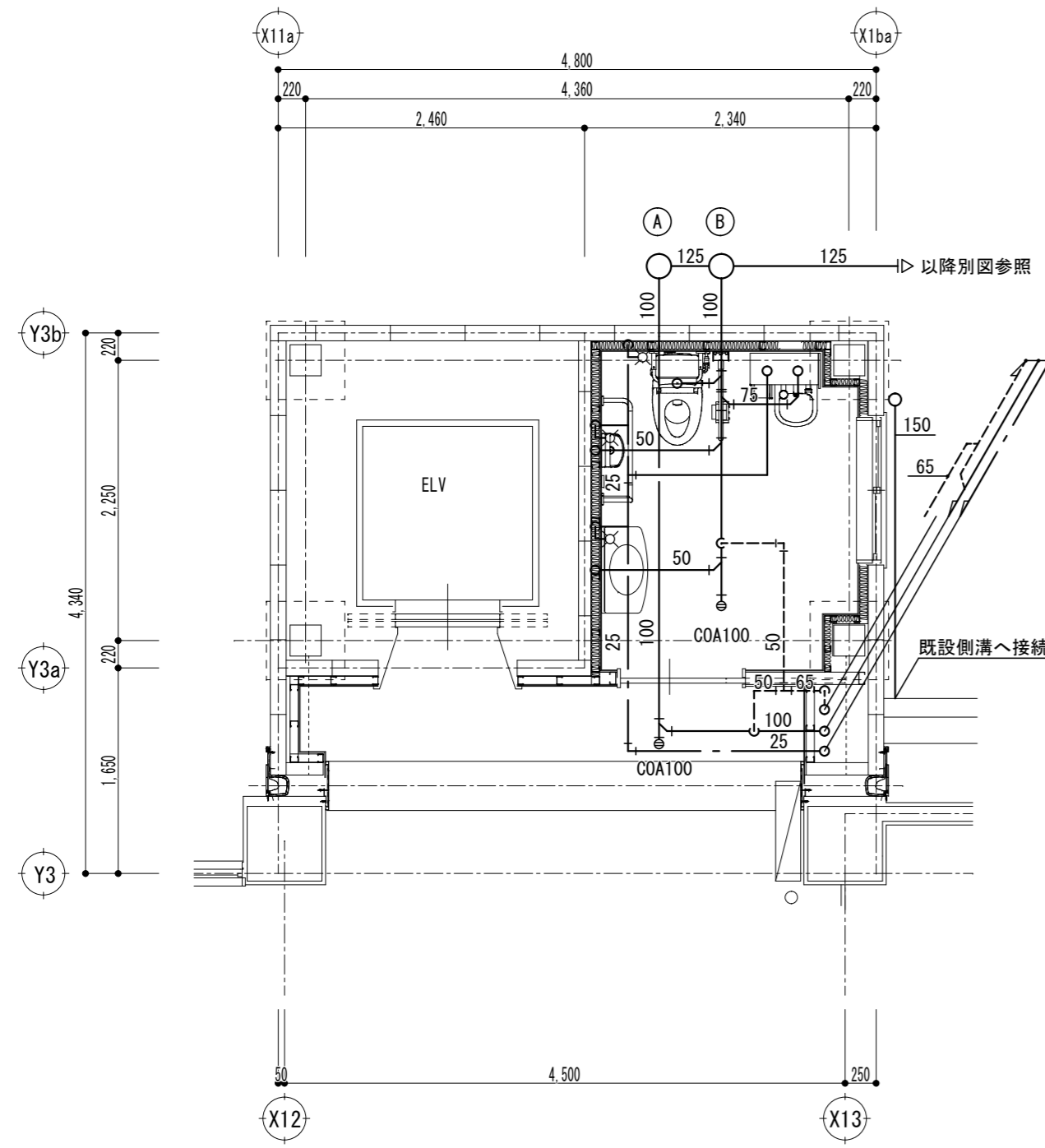
(撤去) 配管図示記号	
	撤去配管
	既設配管(継続使用する)
	既設配管・撤去配管切断部分
	既設配管プラグ止め部分

※各所排水木の配管切断部は適切に閉鎖処理を施すこと。

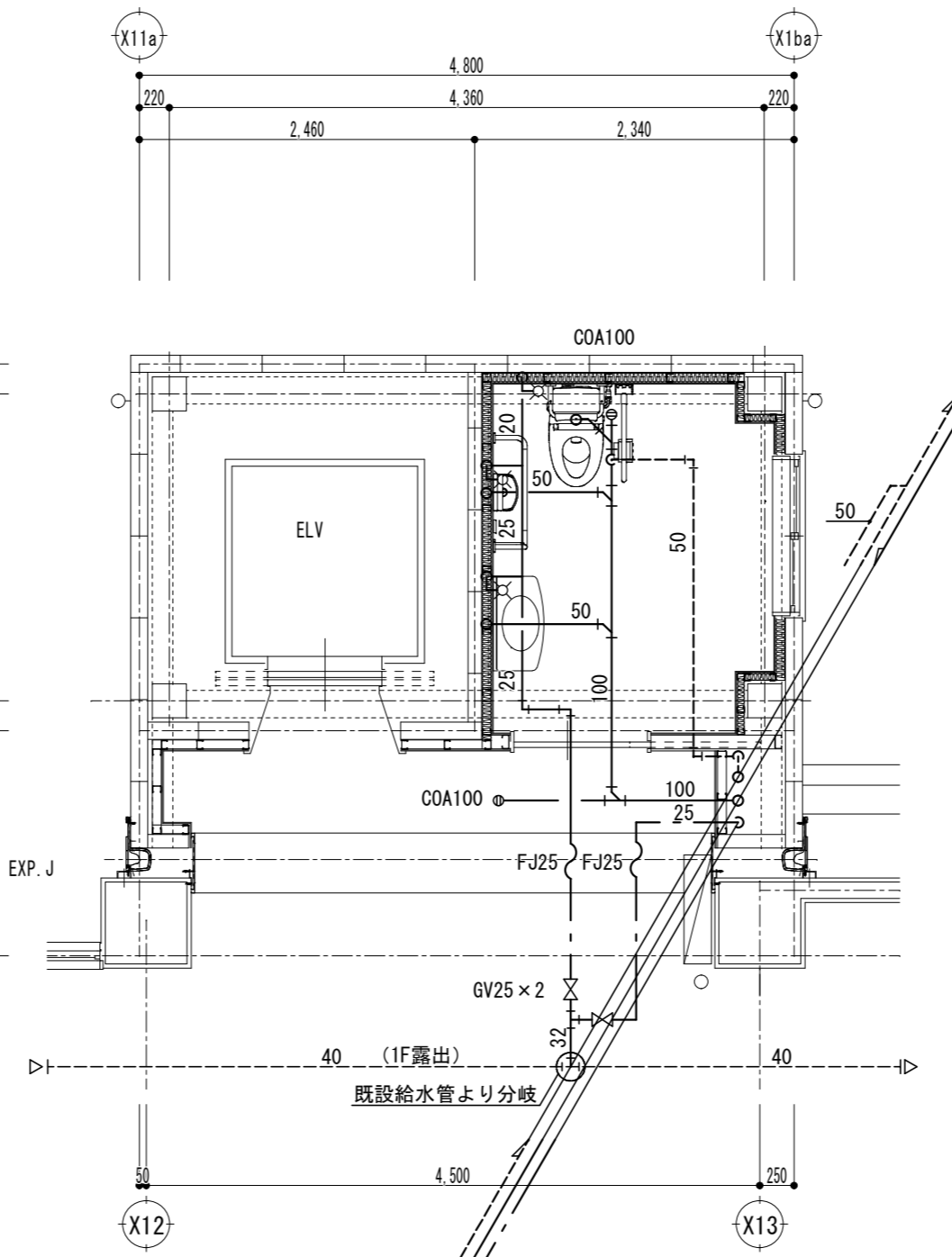


改修前 平面図 1/200

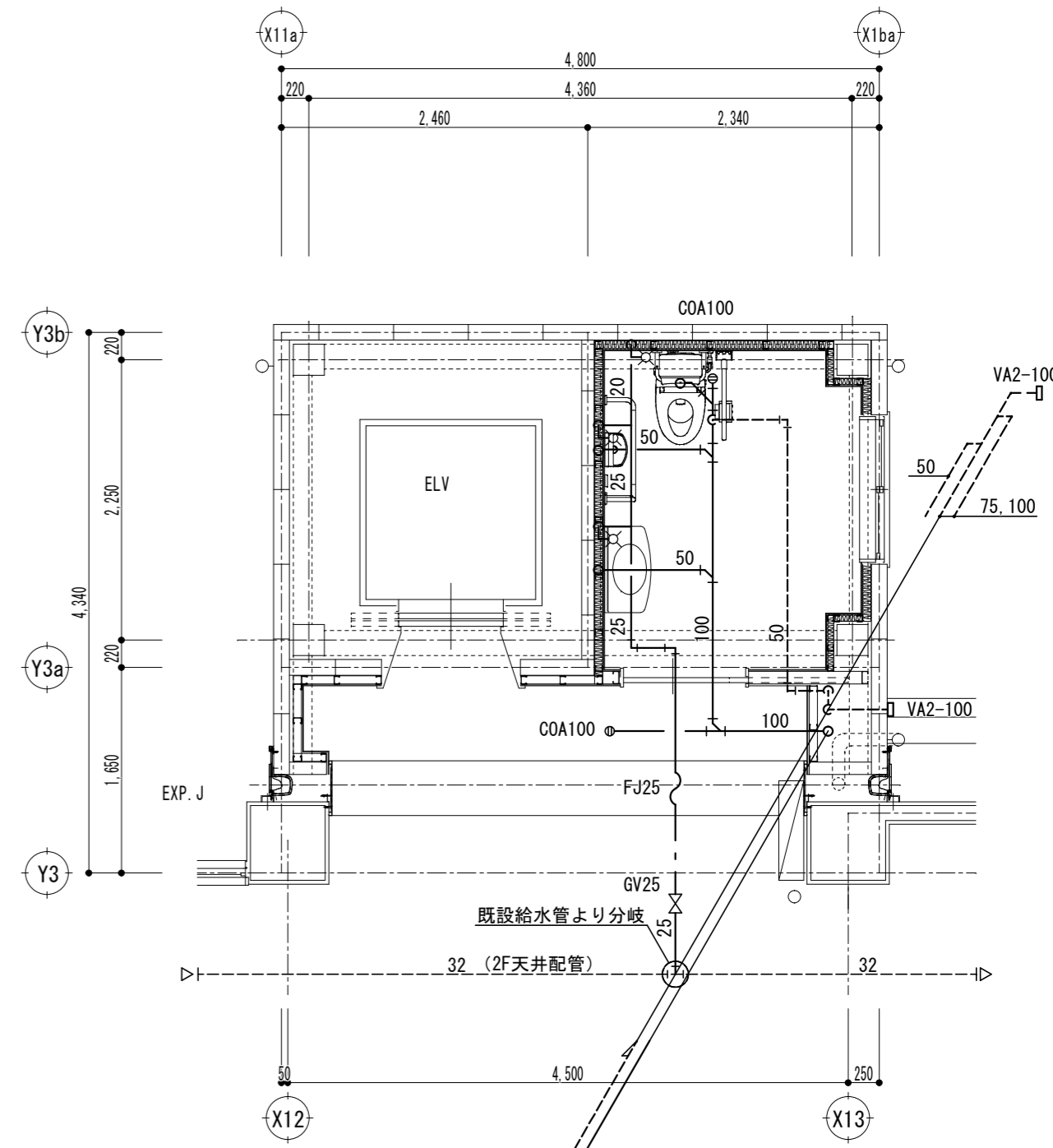
特記	月: 日	U 建築設計	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	No. M-06 ** 原図: A2
		三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897			1/200		
		一級建築士事務所 一級建築士第248160号	設計				
		登録番号(1)第2118号	内田 貴之			給排水衛生設備 1階 平面図	



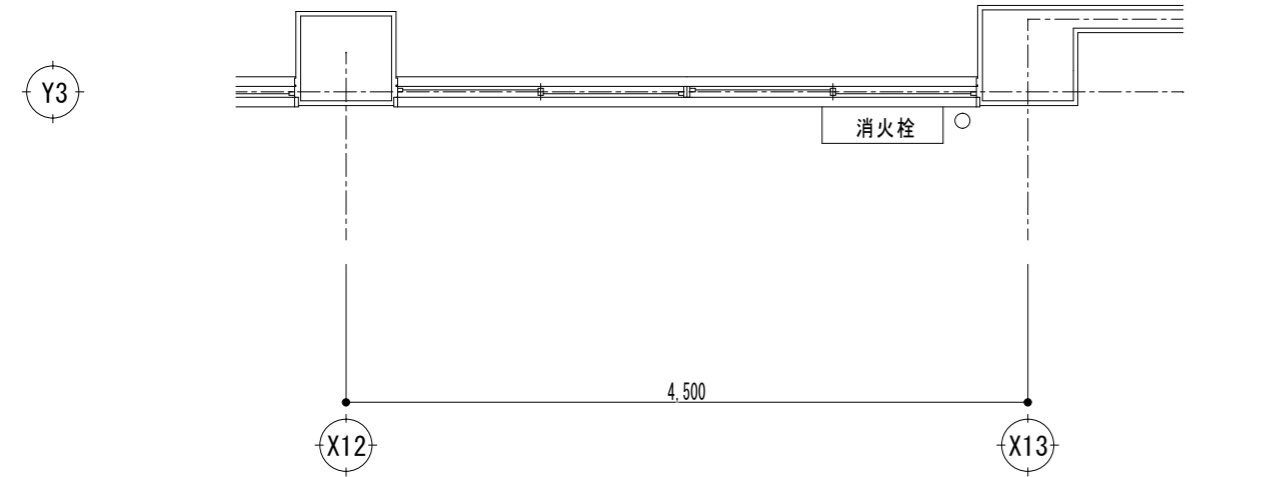
改修後  
1階 平面図 1/50



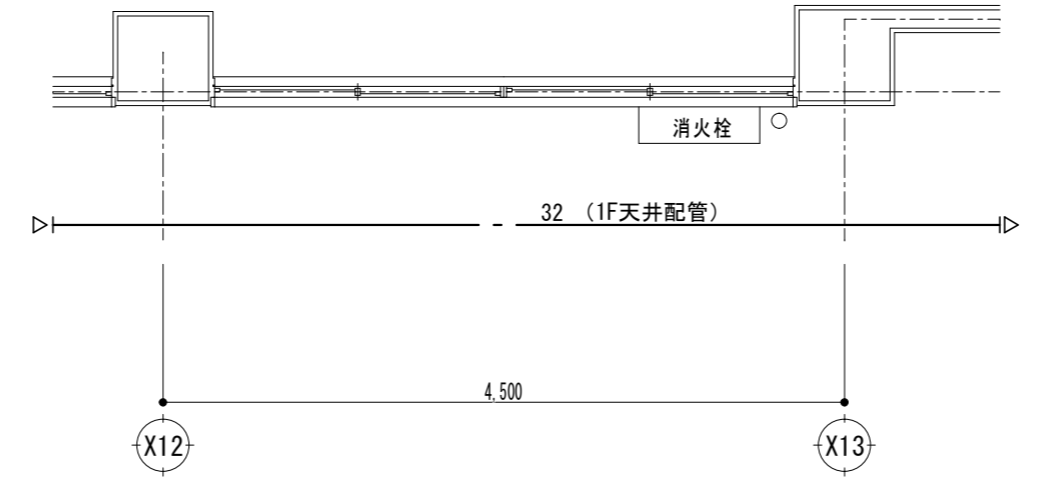
改修後  
2階 平面図 1/50



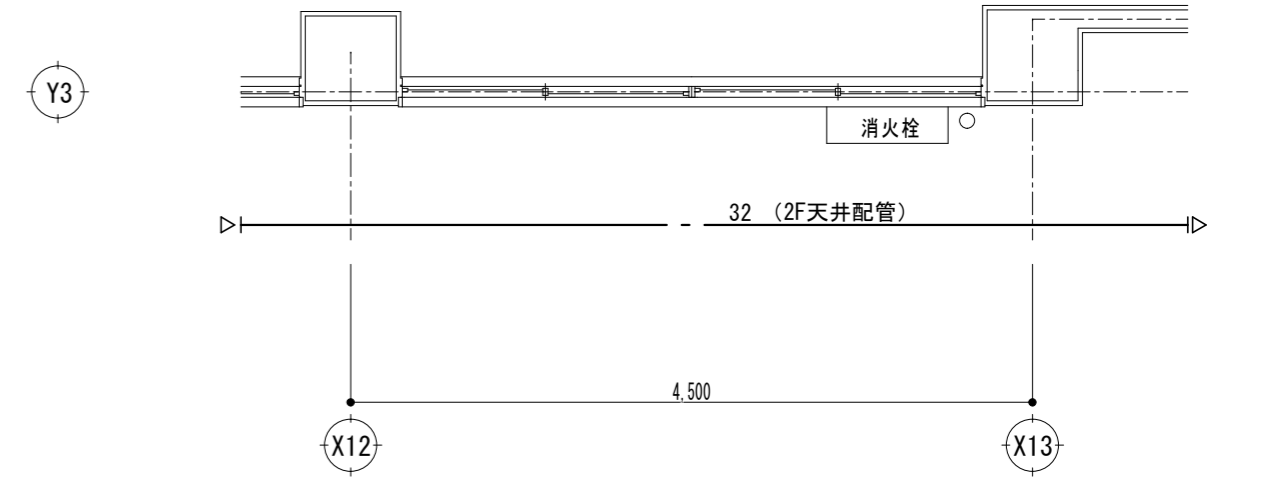
改修後  
3階 平面図 1/50



改修前  
1階 平面図 1/50



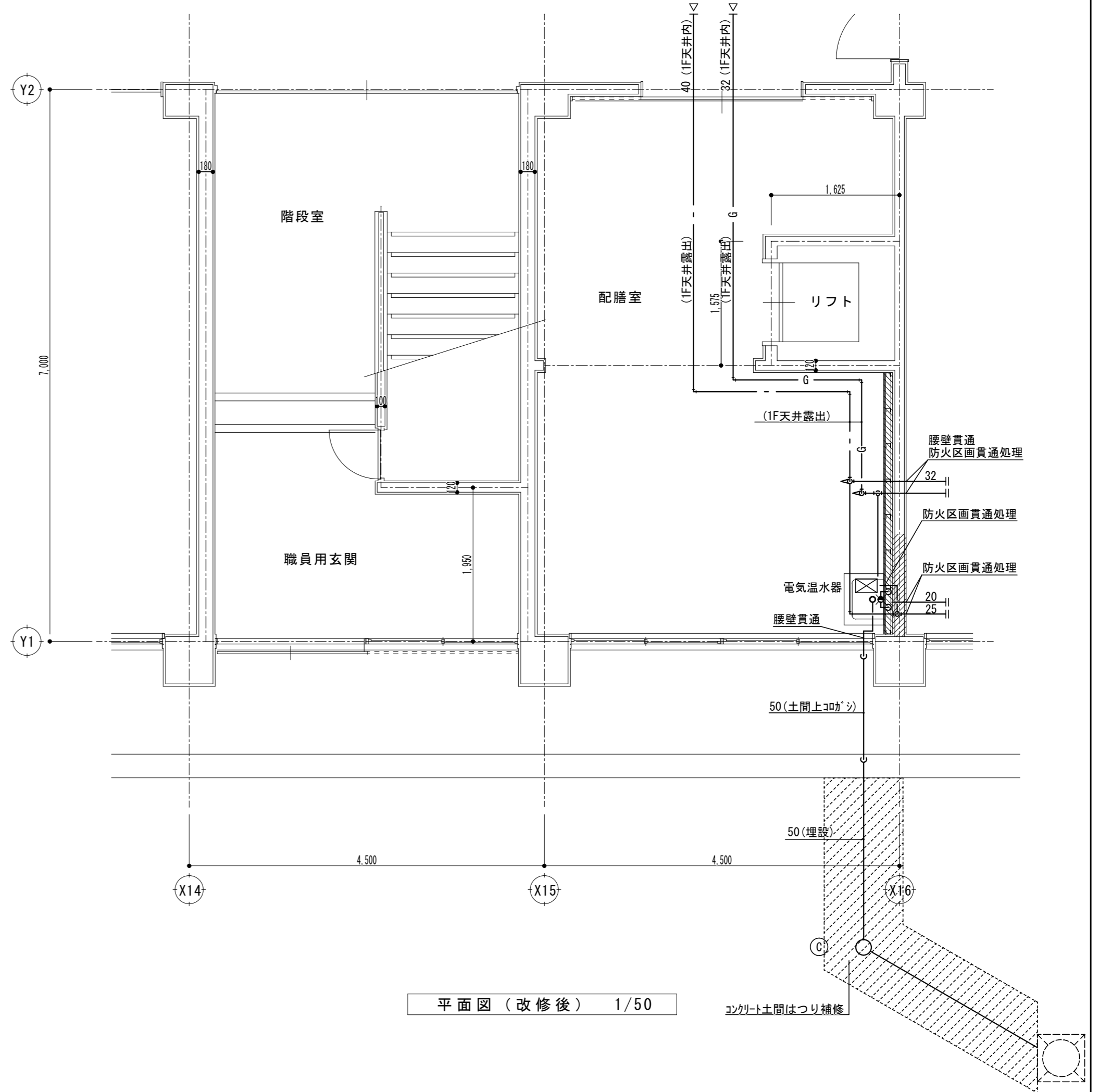
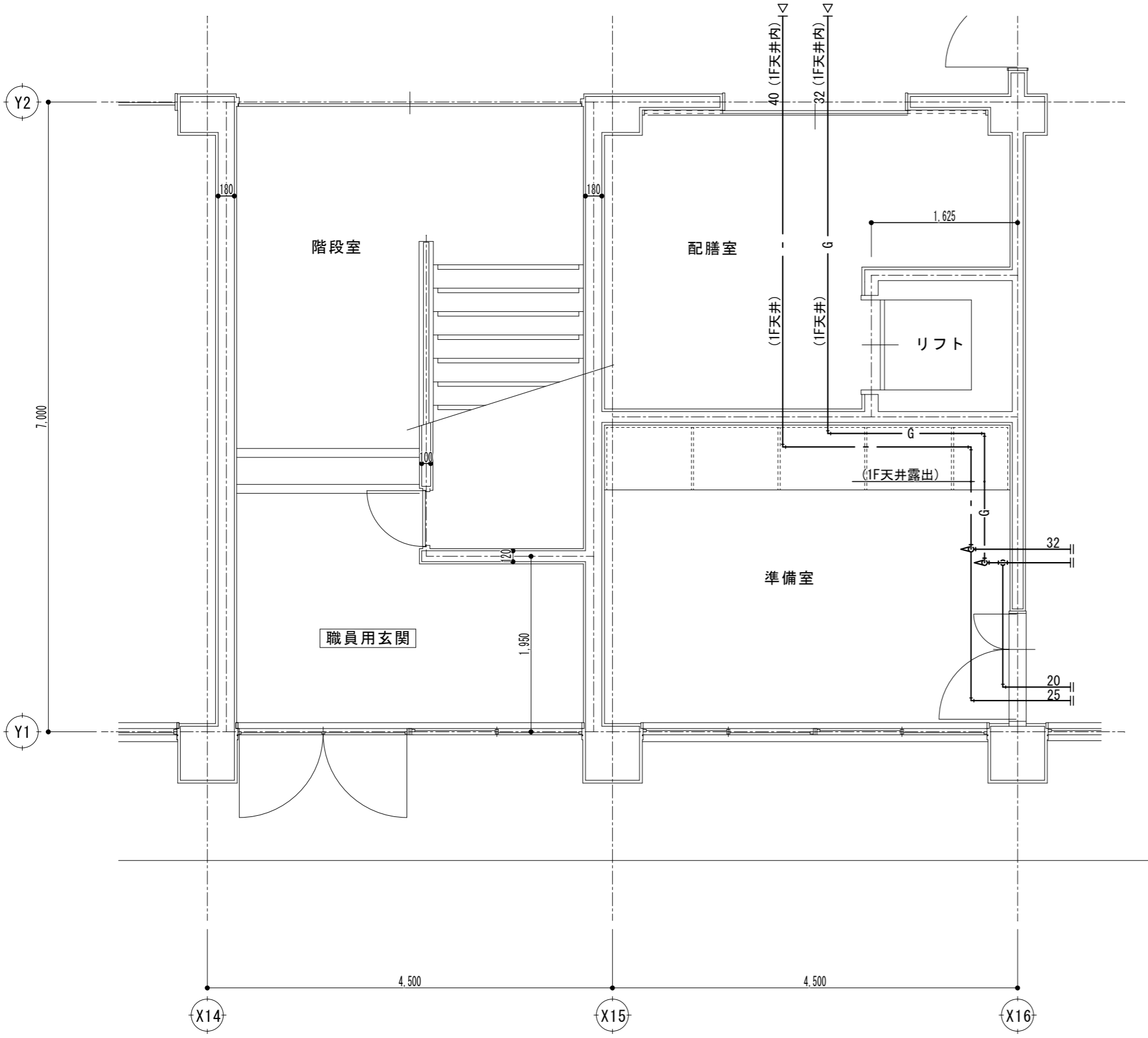
改修前  
2階 平面図 1/50



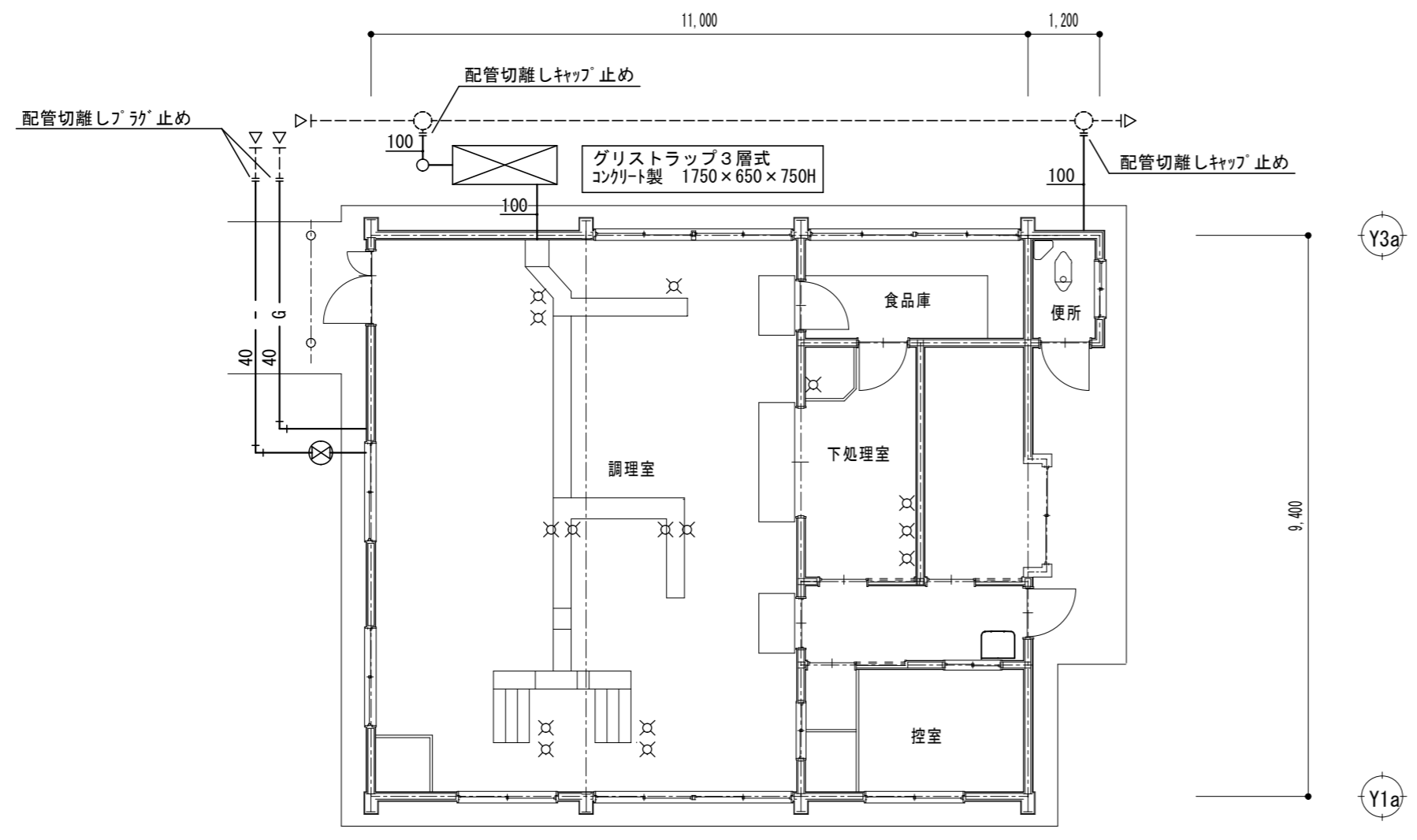
改修前  
3階 平面図 1/50

特記	月	日	<b>U 建築設計</b> 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 給排水衛生設備 EV棟 平面詳細図	N0.
				設計		1/50		M-07
								**
								原図:A2

(改修)配管図示記号	
———	新設配管
-----	現状維持配管(継続使用する)
---+---	既設配管・新設配管接続部分
---+---	既設配管プラグ止め部分



特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. M-08 ** 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				給排水衛生設備 理科準備室 平面図	



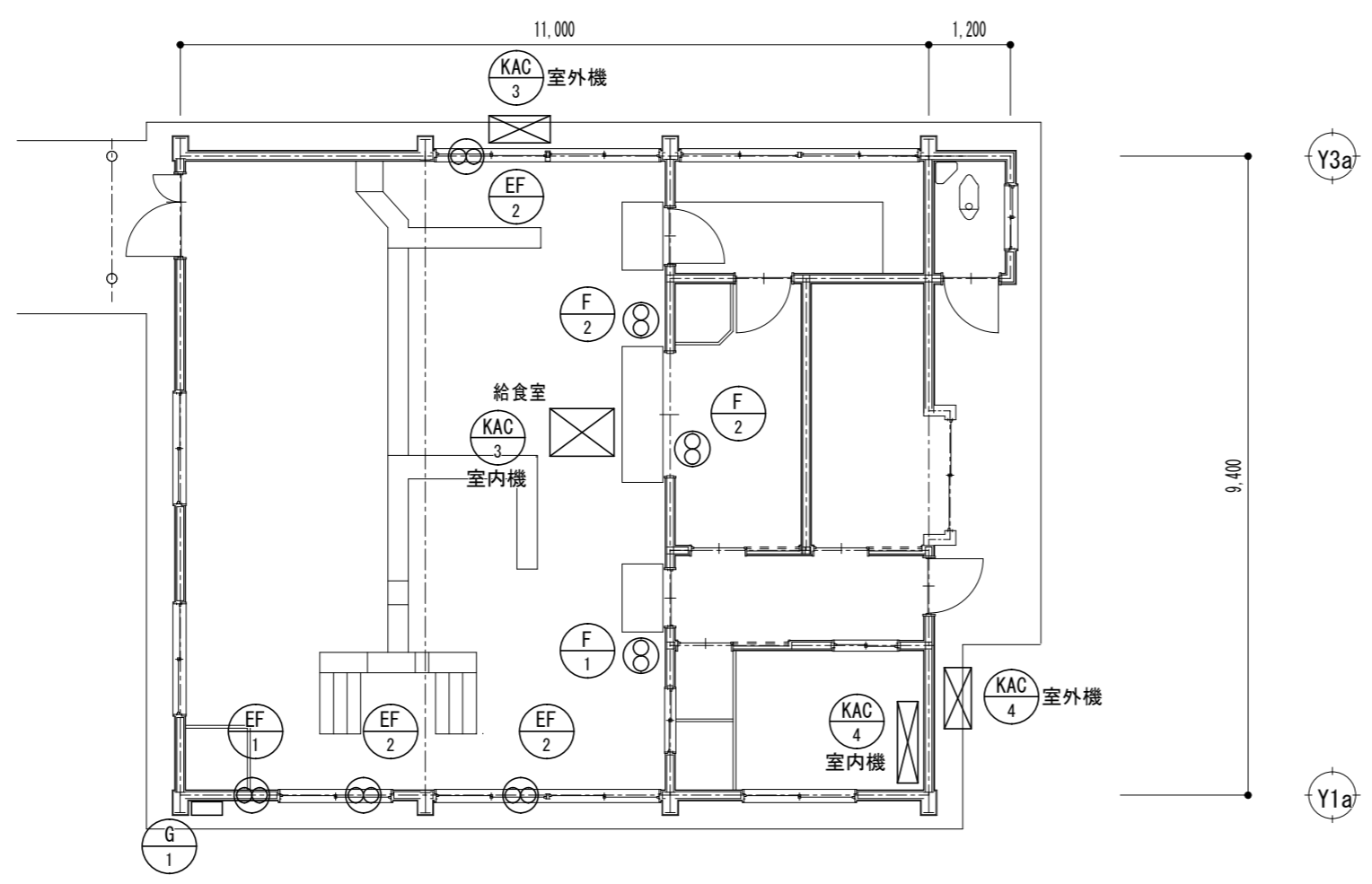
平面図（給排水衛生設備） 1/100

撤去 衛生器具表（便所）

名称	仕様	数量
和風便器	ロータンク 紙巻器	1

撤去 衛生器具表（調理室・前室・下処理室）

名称	仕様	数量
手洗い器	単水栓	1
水栓金具	13A 湯・水	15



平面図（空調換気設備） 1/100

撤去 給湯器仕様

記号	名称	仕様	数量
G-1	ガス給湯器	50号 GQ-5011WZ-2	1

撤去 空調機器仕様

記号	名称	仕様	数量
KAC-3	厨房用エアコン	8.0kW 標準^7	1

取外し 空調機器仕様

記号	名称	仕様	数量
KAC-4	ルームエアコン	2.8kW 標準^7	1

撤去 換気機器仕様



記号	名称	仕様	数量
F-2	サイクルファン	壁付	2
EF-1	壁付換気扇	φ250 フードとも	1
EF-2	有圧換気扇	φ300 フードとも	3

撤去 換気機器仕様

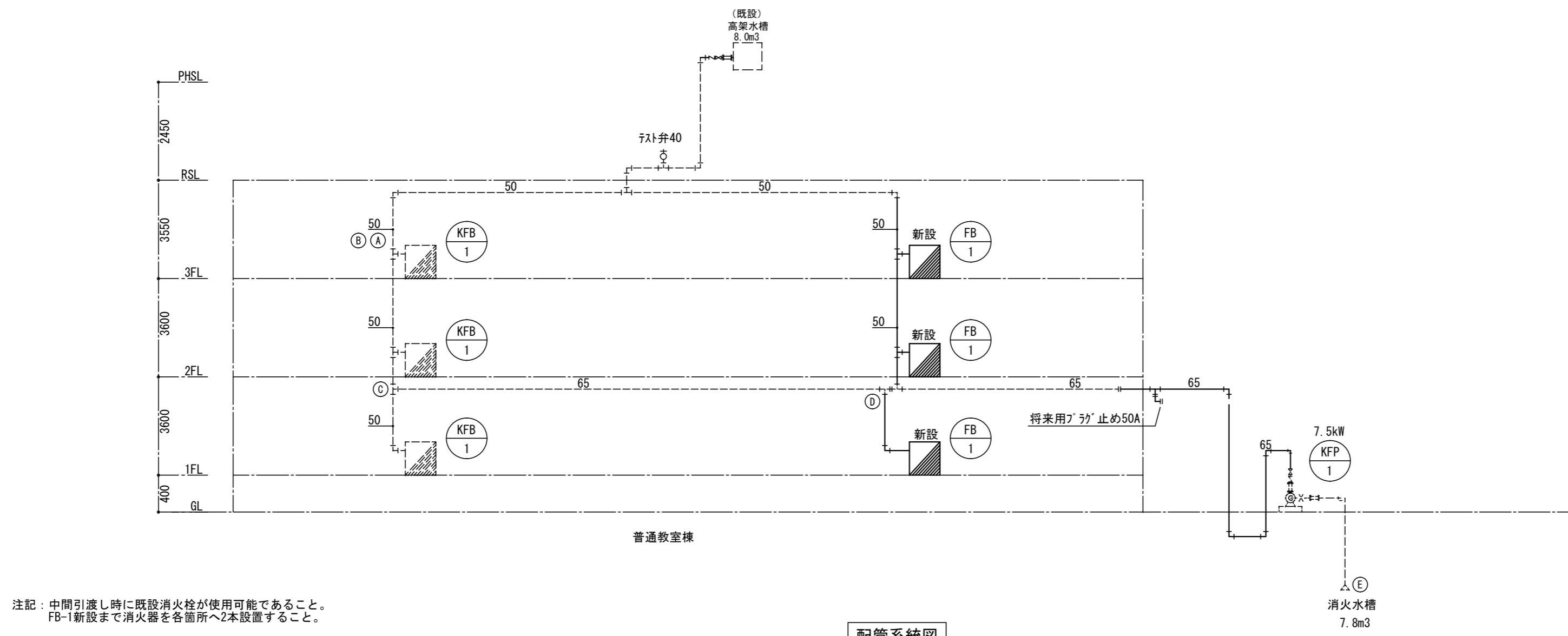
記号	名称	仕様	数量
F-1	サイクルファン	壁付	1

注記：取外した機器は学校内にて保管

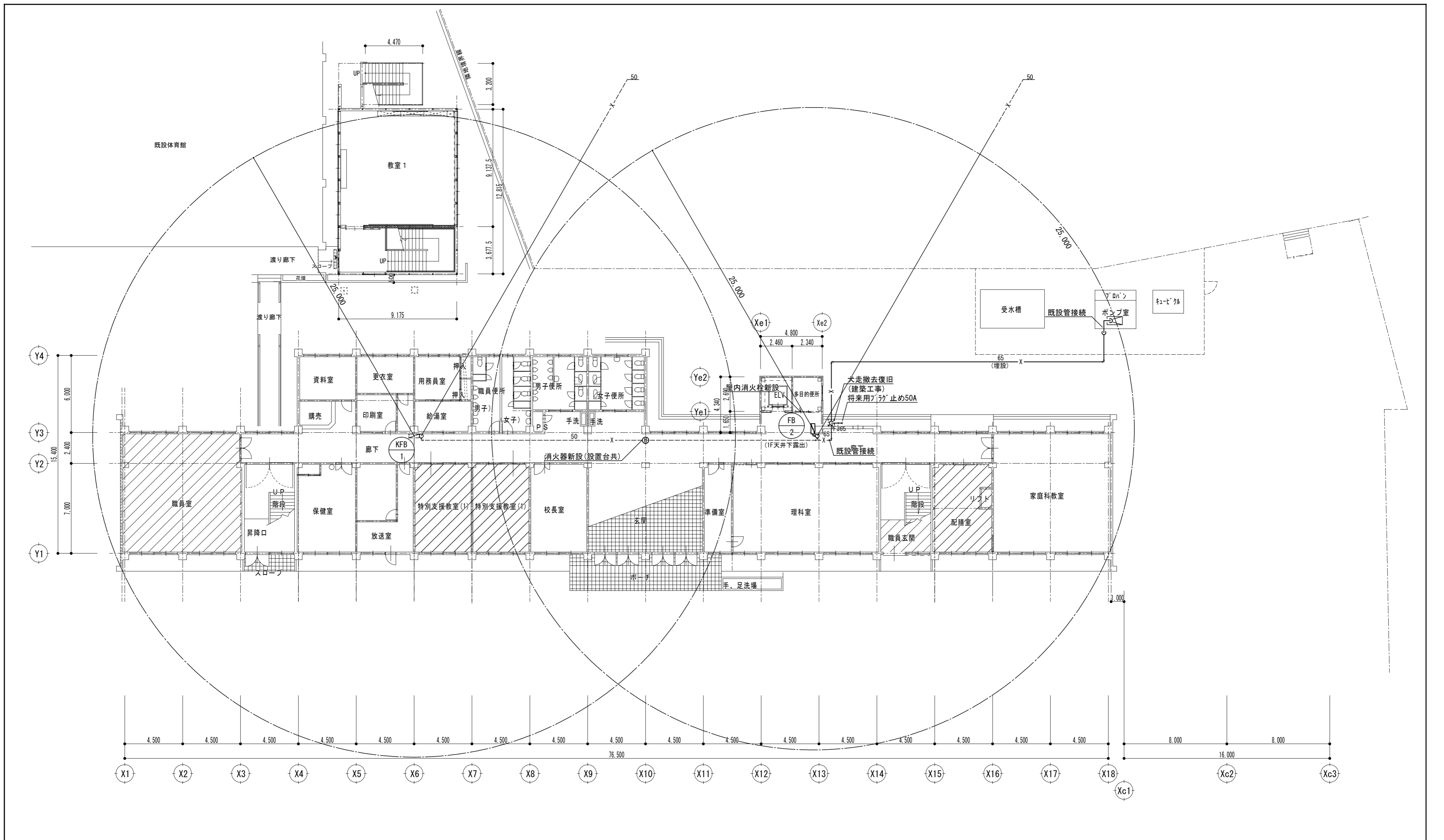
機器表								
記号	名称	仕様	台数	電気容量			設置場所	備考
				φ	V	kW		
KFP-1	(既設) 屋内消火栓ポンプユニット	三相 200V 7.5kW 450L/min 50mAq	1	3	200	7.5	ポンプ室	

凡例			
FB-1		屋内1号消火栓 露出型 消防認定品	片袖扉 その他付属品一式
KFB-1		(既設) 屋内1号消火栓	

屋内消火栓計算書																				
1、配管摩擦損失水頭																				
区間	流量 L/min	管径 mm	直管長 m	90° エルブ		チーズ・クロス		仕切弁		逆止弁		アングル・フット弁		消火栓弁 数 1個当りの相当長						
				数	1個当りの相当長	数	1個当りの相当長	数	1個当りの相当長	数	1個当りの相当長	数	1個当りの相当長							
A-B	150	40	0.3		1.3		2.5		0.3		3.5		7.0	1	19.0	19.0	19.3	0.1230	2.3739	
B-C	150	50	5.2		1.6	2	3.2		0.3		4.4		8.9			6.4	11.6	0.0382	0.44312	
C-D	150	65	31.0	2	2.0	1	4.1		0.4		5.6		11.3		8.1	39.1	0.0113	0.44183		
C-D	300	65	42.0	10	2.0		4.1	1	0.4	1	5.6	1	11.3		37.3	79.3	0.0408	3.23544		
合計																		6.49429		
2、全揚程(H)																				
全揚程 = 摩擦損失水頭 + 実揚程 + ノズルの放水圧力水頭 + 消防ホースの摩擦損失水頭															= 6.49429 + 10.6 + 17.0 + 3.6 = 37.69429 = 37.7m					
3、ポンプ吐出量(Q)																				
吐出量 = 150 × N      N: 同時使用個数															= 150 × 2 = 300L/min			既設ポンプ流量450L/min: OK		
4、ポンプ所要動力																				
所要動力 = (0.163 × Q × H / E) × K      E: ポンプ効率      K: 伝達効率(1.1)															= (0.163 × 0.3 × 37.7 / 0.5) × 1.1 = 4.1kW			既設ポンプ動力7.5kW: OK		
5、水槽容量																				
QT = 2.6 × N      N: 同時使用個数															= 2.6 × 2 = 5.2m <sup>3</sup> 以上(実容量)			既設水槽容量7.8m <sup>3</sup> : OK		



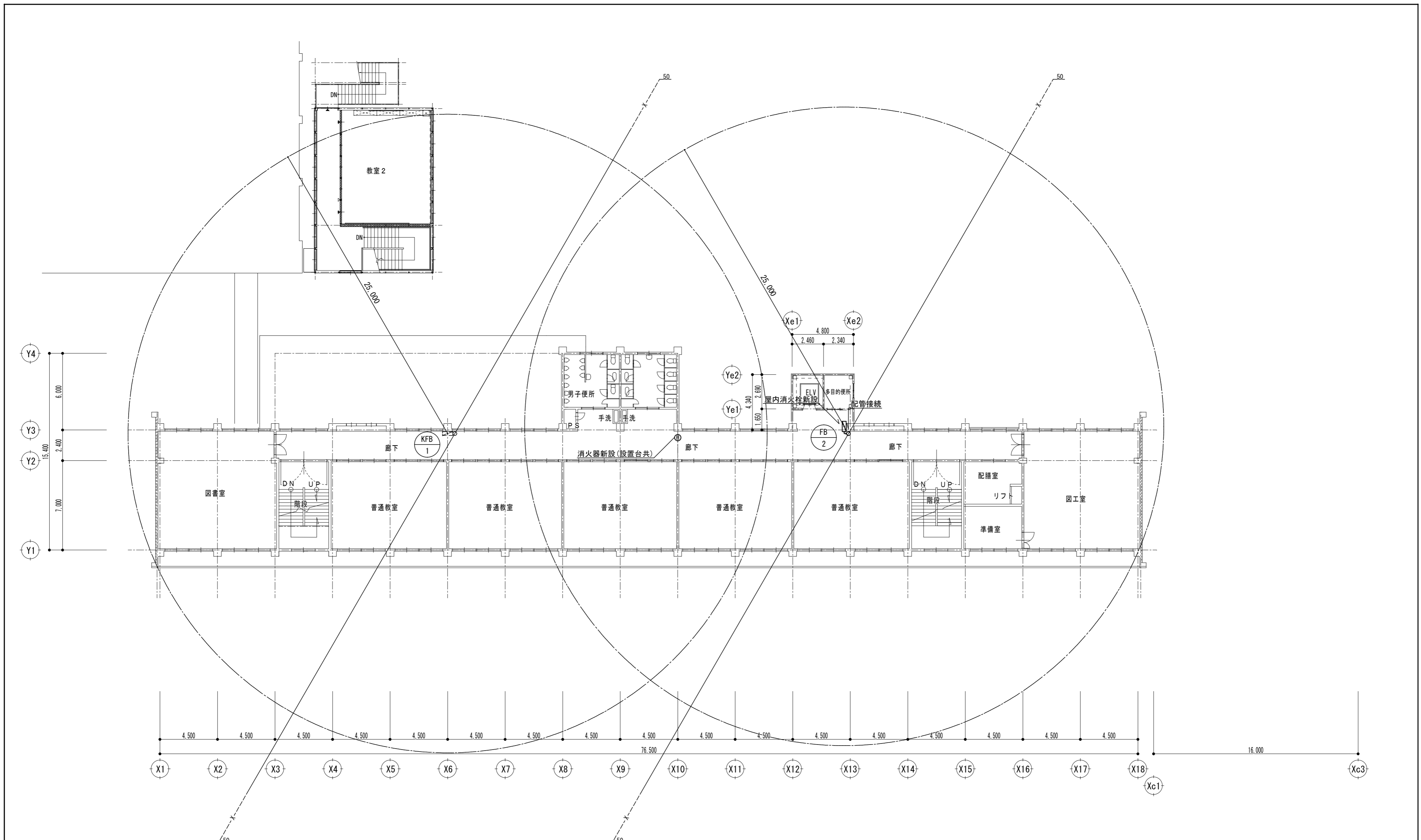
配管系統図



1階平面図 1/200

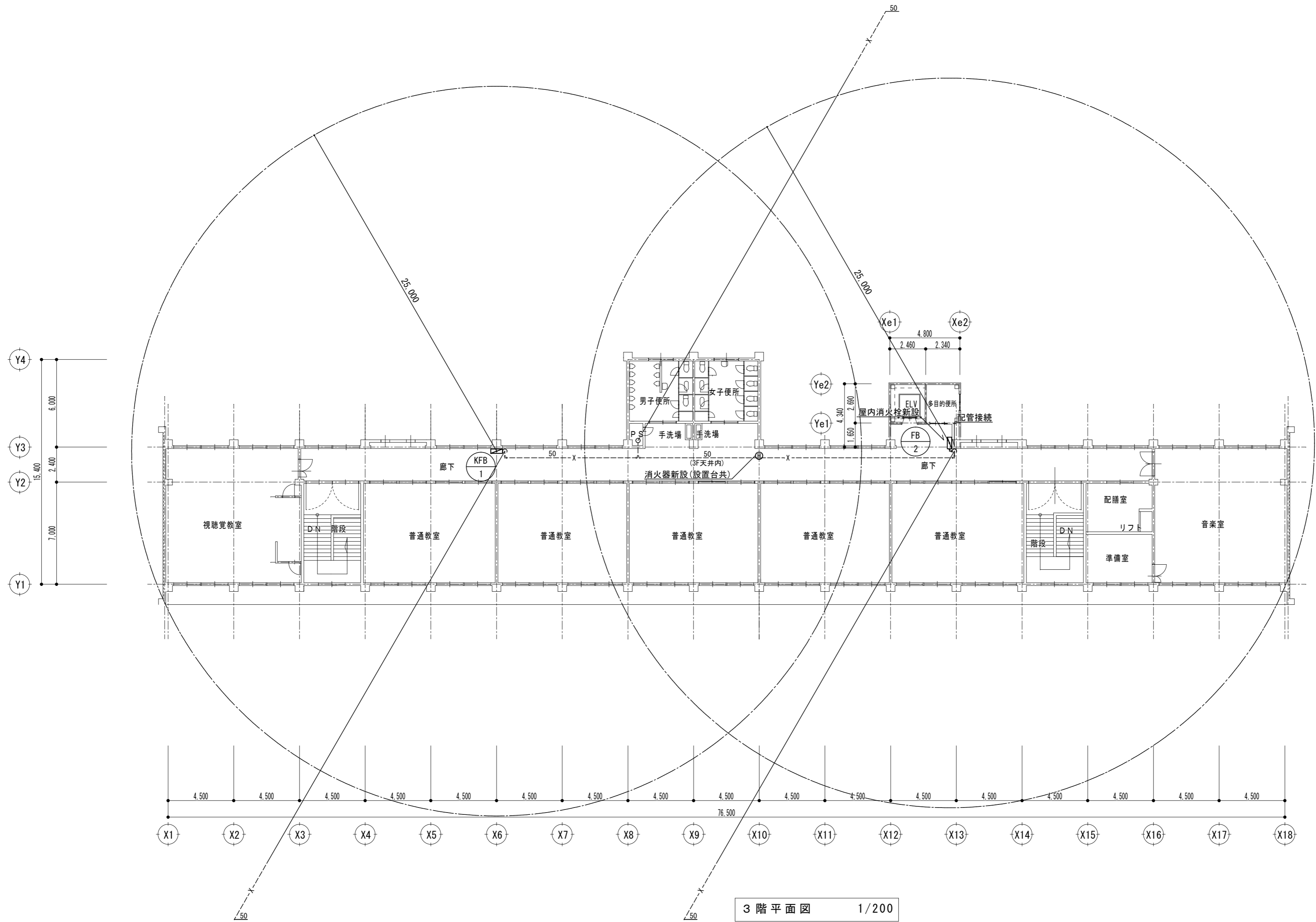
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	No. M-11
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	1/200		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				改修後	原図:A2





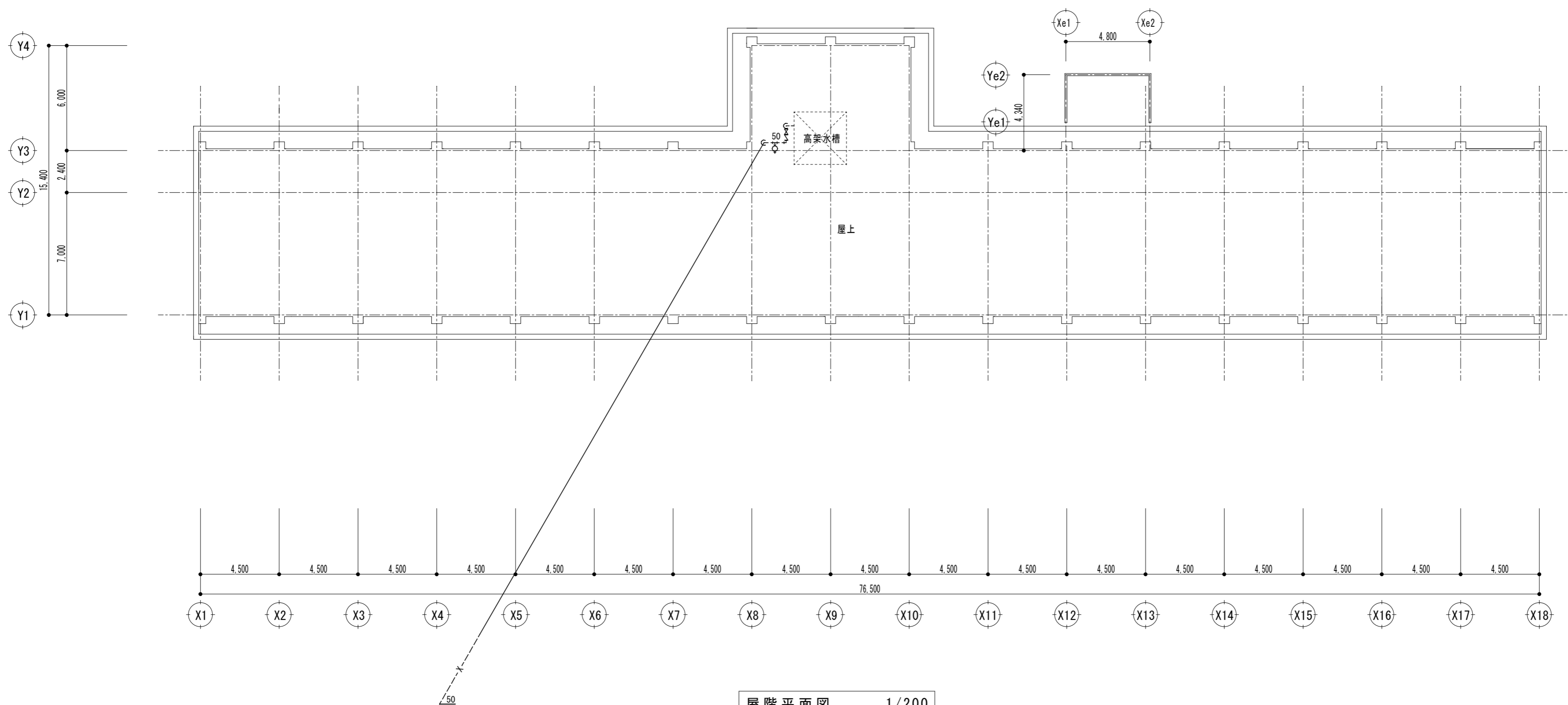
2階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計			1/200		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号				消火設備 2階 平面図	**
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				改修後	原図:A2



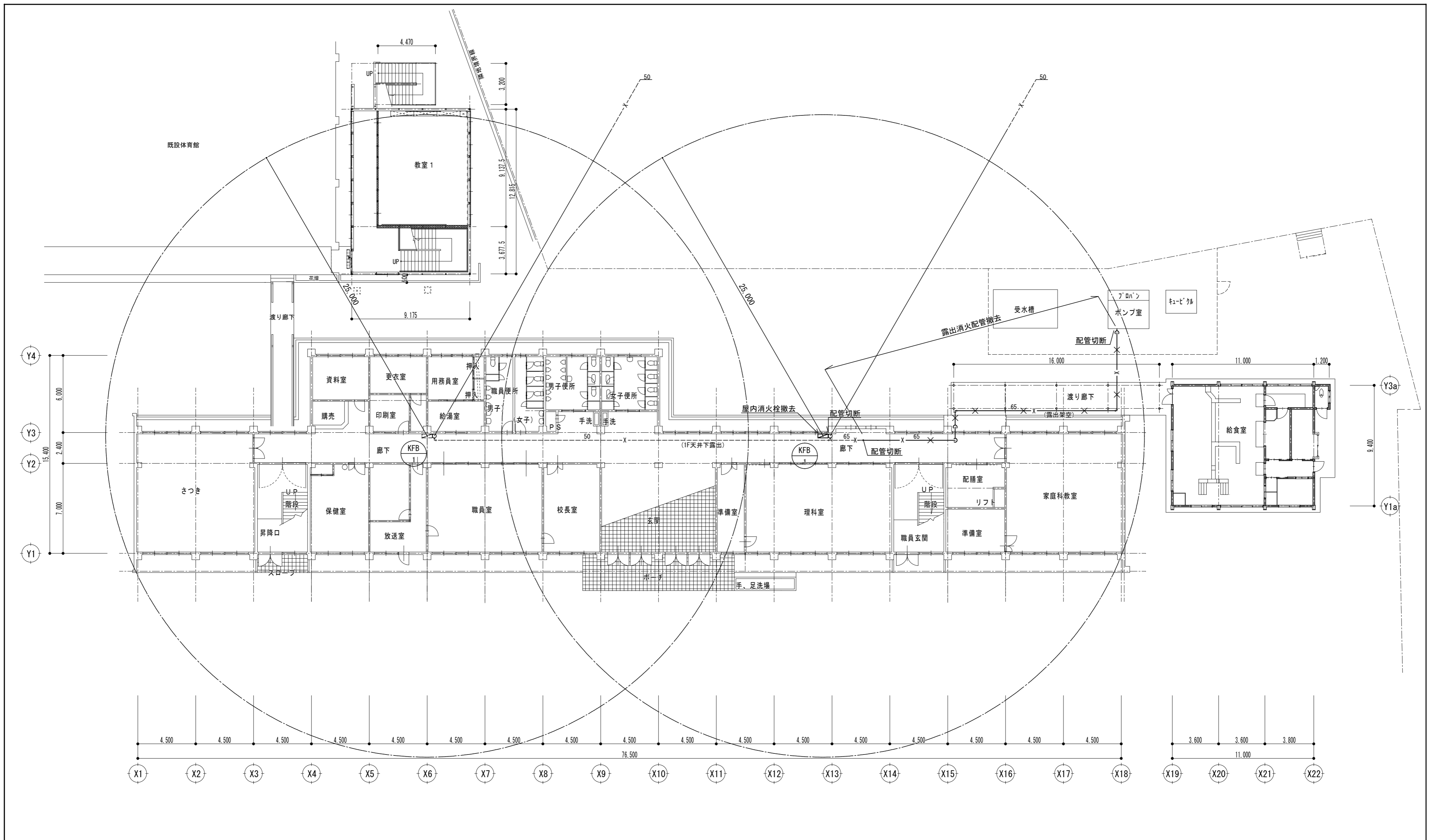
3階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N0. M-13 ** 改修後 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



屋階平面図 1/200

特記	月:	日:	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	N.O. M-14
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200		
				一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		消火設備 屋上 平面図	**
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				改修後	原図:A2

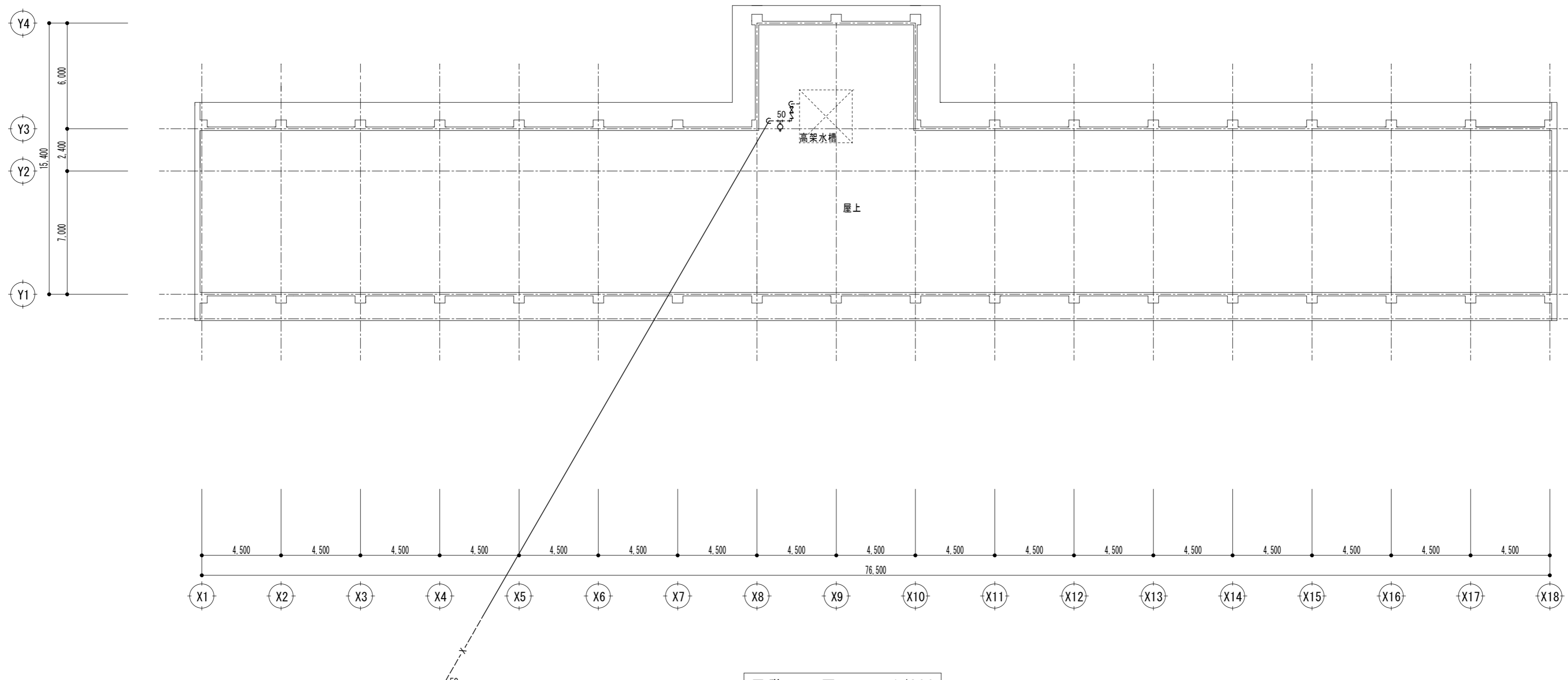


1階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事 消火設備 1階 平面図 改修前	N0. M-15 ** 原図:A2
				設計		1/200		







屋階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立桃園小学校昇降機棟増築その他工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計			消火設備 屋上 平面図	**
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				改修前	原図:A2